



土木研究所資料

第⁸⁶⁵~~856~~号

軟弱路床上舗装の実態調査結果について

昭和49年3月

建設省土木研究所

目 次

ま え が き	1
1. 調査の概要	4
2. 調査結果	6
2.1 施工状況	6
2.2 路床土	7
2.3 路盤、基層および表層の材料と厚さ、工法	8
2.3.1 A交通区分	8
2.3.2 B交通区分	17
2.3.3 C交通区分	18
2.3.4 D交通区分	18
2.4 現況	20
2.5 軟弱路床上舗装の設計、施工に対する意見	21
3. 解 析	24
あ と が き	25
資 料	26

まえがき

周知のように、アスファルト舗装の構造設計は、路床土の設計CBRと設計輪荷重に基づいて行なうこととされ、所要のTAおよびH、が規定され、標準的な構成も例示されている。しかし、設計CBRが2未満のいわゆる軟弱路床上における舗装構成については、次のような工法や考え方を利用して設計を行なっている。

- ① 良質な材料(CBR 3以上のもの)による路床(約1 m)置換あるいは盛土工法。
- ② ステージコンストラクション工法。
- ③ サンドイッチ工法。
- ④ 設計CBRとTA、H、の関係(アスファルト舗装要綱付録5の式(1)、(2))をCBR 2以下の路床についても適用する。

しかし、サンドイッチ工法のように弾性理論を応用する工法では計算が複雑であり同時にきまった方法もないこと、また所要のTAとH、を満足する舗装構成とする場合でも材料の等値換算係数の推定などに問題があるなど、十分な解決をみているとはいえない。

したがって、最も確実な工法は従来の施工例を参考にしながら舗装構成を決めることであり、過去に施工された軟弱路床上舗装の構造や供用性についての資料を収集することができれば、今後の設計施工に、あるいは基準の作成に際して貢献するところが非常に大きい。この意味から軟弱路床上舗装の実態調査を実施したが、本文はその結果をとりまとめて報告するものである。

道路局地方道課 舗装係長 成 田 保 三
舗装研究室 室長 南 雲 貞 夫
小 島 逸 平
坪 内 昭 雄

軟弱路床上舗装の実体調査表

調査年月日 _____

作成者所属氏名 _____

1. 施工場所 _____ 県 _____ 市・郡 _____ 町・村 _____

2. 路線名 _____

3. 幅員・延長 幅員 _____ m 車線 _____ 延長 _____ m

4. 施工年度 昭和 _____ 年 _____ 月

5. 現在の交通量 合計交通量 _____ 台/日・1方向

大型車交通量 _____ 台/日・1方向

6. 路床土 自然含水比 _____ %, 設計CBR _____ %

土工指針による統一分類記号 _____

7. 路盤・中間層・基層及び表層の材料と厚さと工法

	材 料	工 法	厚 さ (cm)	備 考 (アスファルト量, セメント量, 一軸強度など)
下層路盤				
上層路盤				
中間層・ 基 層				
表 層				

舗装合計厚 _____ cm, TA _____ cm

8. 現 況

1) ひびわれ率 ☐ 50%以上 ☐ 20~50% ☐ 5~20% ☐ 5%以下

2) シールコート率 ☐ 50%以上 ☐ 20~50% ☐ 5~20% ☐ 5%以上

3) ポットホール・パッチング率 ☐ 20%以上 ☐ 10~20% ☐ 0~10% ☐ 0%

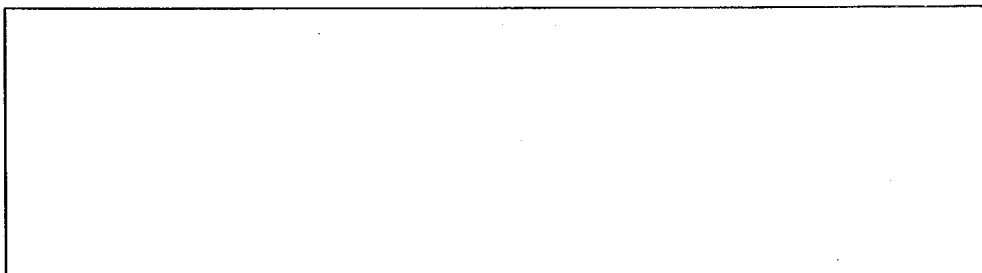
4) 流動 ☐ 多い ☐ 少ない ☐ 全くない

5) 排水の良否 ☐ 良 ☐ 否 地形 _____

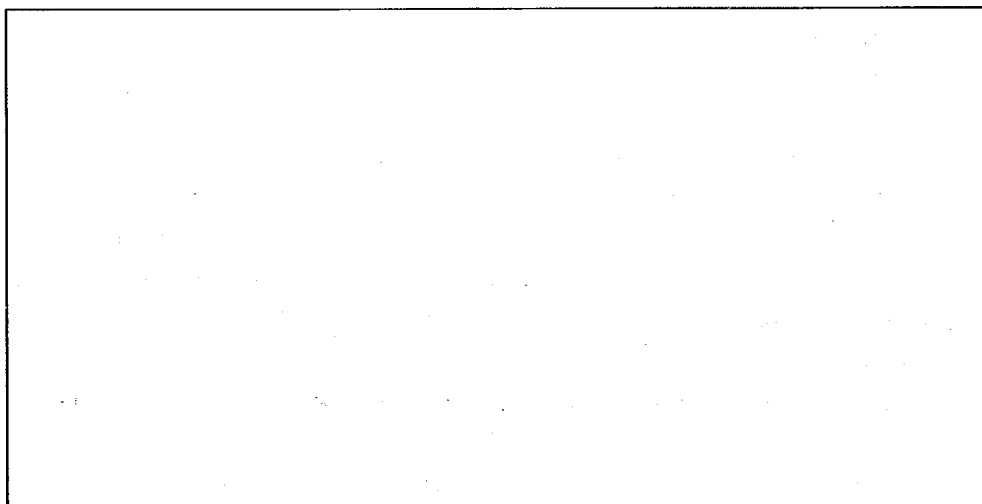
6) たわみ量 測定年月 _____ たわみ量 _____ mm, (輪荷量 _____ ton)

9. 軟弱路床上舗装の設計施工に対する意見

10. 調査区間位置見取図



11. 舗装断面図



12. 地盤改良 概要

工費

_____ 円/m²

	含水比 %	L L %	P L %	貫入試験, N 値 一軸圧縮強さ C B R など	ベンケルマンたわみ量 K 値など
改良前	(自然)				
改良後	(平均)				

1. 調査の概要

調査の対象となる舗装は昭和42年度以降の施工によつた軟弱路床上のものに限定した。調査では表1に示すような調査カードを各県の道路建設課に送付して記入を依頼し、カードは調査期間2ヵ月を経た後これを回収してとりまとめを行なった。カードには以下に示す12項目のデータが記録された。

- (1) 施工場所
- (2) 路線名
- (3) 施工年度
- (4) 幅員、延長
- (5) 現在の交通量

昭和47年度に観測された交通量を記入する。

昭和47年度の観測結果がない場合には前年度の調査データを基に推定値を記入する。

- (6) 路床土

路床土の性状を土工指針による統一分類記号により記入する。路床を地盤改良（ドレーン、コンパクション、生石灰パイルなどによる改良）した場合は12項にその内容を記入する。

- (7) 路盤、中間層、基層、表層の材料と厚さと工法

- ① 材料

路盤工……アスファルト舗装要綱4-3に示すスラグ、碎石などの分類による使用材料名を記入する。

表層、基層（中間層）……歴青材料の針入度別（60～80など）、混合物の粒度（粗粒度、密粒度など）を記入する。

- ② 工法

路盤工……アスファルト舗装要綱4-5に示す粒度調整工法、マカダム工法など各工法名を記入する。

表層、基層（中間層）……加熱混合、常温混合、浸透などの各工法を記入する。

- ③ 施工厚

路盤工……路盤各層の施工厚を記入する。2層以上で仕上げている場合は下層より上層の順序で何cm厚で何層であるかを記入する。

表層、基層（中間層）……表層、基層の別で施工厚を記入する。

- (8) 現況

- ① ひびわれ率……シールコートを施工してある場合にはその場所にも適用する。

- ② シールコート率

- ③ ポットホール、パッチング率

- ④ 流動……主として路盤の支持力不足が原因で生じる路面の凹凸、わだち堀れの多少を記入

する。

⑤ 排水の良否……路面および路床の排水条件を総合的に評価した結果を記入する。

⑥ たわみ量……輪荷重5.0 t, タイヤ空気圧6.5 kg/cm², タイヤサイズ10.0 × 20.0, 14
PLYによるものとする。

(9) 軟弱路床上舗装の設計施工に対する意見

軟弱路床上舗装の設計施行に関する一般的意見, または採用した特殊工法の効果などに対する意見を記述する。

(10) 調査区間見取図

(11) 舗装断面図

(12) 地盤改良

2. 調査結果

調査の対象となった舗装は全体で449件にのぼった。このうち路床土の設計CBRが不明なもの63件を除いた386件をとりまとめた対象とした。更にCBRが2未満のいわゆる軟弱路床上舗装としての条件を満たしたものは285件(63.5%)であった。

2.1 施工状況

路床上の設計CBRが2未満の軟弱路床上舗装285件のうち、地盤改良を行なったものは110件(38.6%)であった。したがって、地盤改良を行わない残りの60%近くの軟弱路床上舗装は舗装要綱に示されたTAとHを求める関係式に従って計算した所要のTAならばH(表2参照)を満足するような舗装構成を採用しているものと推定できた。

地盤改良をみると(図1参照)、置換工法が90件(74.4%)と最も多く、次いで石灰安定処理、盛土の順で適用されている。更にこの他特殊な工法としてはパイル工法、コンクリート版、鋼版などの利用が認められる。置換工法に使用されている材料では、山砂30件(33.3%)、良質土(CBR10以上)16件(17.8%)、の頻度が高く、これ等の材料が全体の過半数を占めている(図2参照)。この他の材料ではズリ、シラス、などの地方産材料が用いられている。

置換工法の平均施工厚は山砂で $68 \pm 2 \text{ cm}^{**}$ ($\bar{x} \pm t_{\phi, \alpha \sqrt{v/n}}$ 以下同様の表現である)、良質土 $70 \pm 20 \text{ cm}$ 、ズリ $90 \pm 15 \text{ cm}$ 、切込碎石 $74 \pm 21 \text{ cm}$ 、となっている。また、石灰安定処理は九州地区での頻度が高く、使用する石灰もFe石灰に限定されており、これらは $21 \pm 7 \text{ cm}$ の安

表2 CBRとTA, Hの関係

交通区分 TA H 設計CBR	A		B		C		D	
	TA	H	TA	H	TA	H	TA	H
0.5	31.1	138	43.1	169	58.2	204	75.5	240
1.0	25.3	91	35.0	111	47.3	134	61.3	158
1.5	22.4	71	31.0	87	41.9	105	54.3	124
2.0	20.5	60	28.4	74	38.4	89	49.8	104
2.5	19.2	52	26.6	64	35.9	78	46.6	91

注 アスファルト舗装要綱

付録5-(1), (2)式より計算

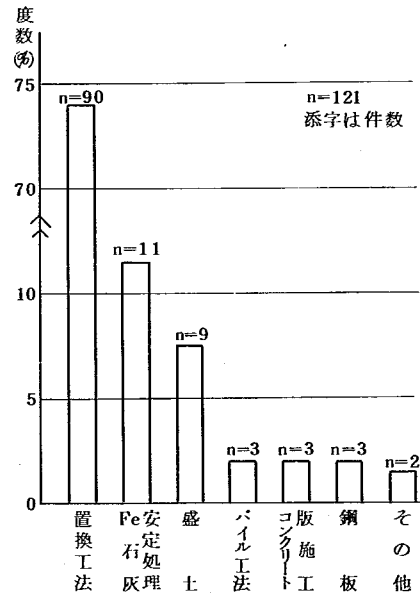


図-1 地盤改良の種別

定処理が実施されている。

各種の地盤改良工法の施工費を工法別にとりまとめて表3に示す結果を得た。これより単位 TA あたりの施工費を比較すると、置換工法が最も低く次いで石灰安定処理工法などがこれに続き、銅版などの施工はかなり割高であることがわかる。

2.2 路床土

路床土の土質分類によれば、粗粒土より細粒土が多く、中でも粘土(38.9%), 粘質土(31.0%), 砂質土(19.9%), の頻度が高い。これら路床土の設計CBRと自然含水比の関係は図3に示すとおりである。これより自然含水比が大きくなれば路床土の設計CBRは図中の双曲線に近似して小さくなる傾向が認められる。

土質で頻度の高いCL, CH, の自然含水比および設計CBRはそれぞれ36.6%, 1.4, 47.0%, 1.4, である。更に, 土質の自然含水比のバラツキ($\sqrt{v}$)はOH, CH, MH, などの粘土ではいずれも20以上であるので, このような路床土においては地域によって含水状態が大きく変化するので圧密沈下やその上にくる層の締固めに対する処置を十分に行なわなければならないことを物語っているものと思われる。

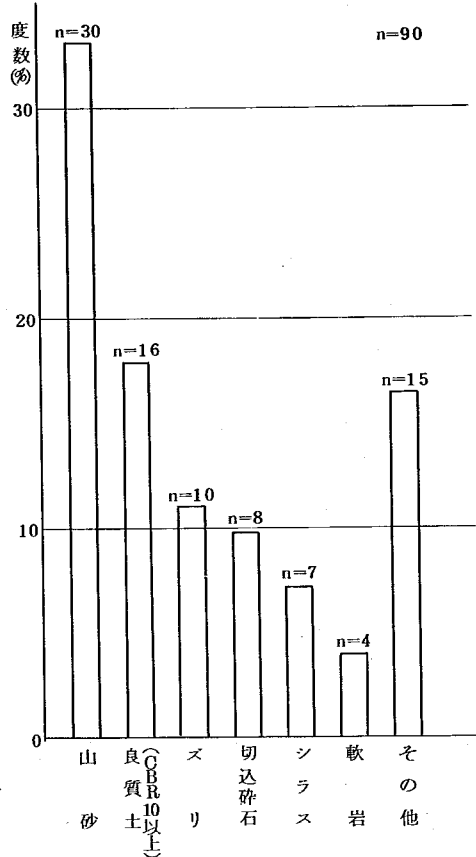


図-2 置換工法における材料の種類

表3 地盤改良工法別施工費

工 芸 名		施 工 費 円/m ²				円/TA
		n	max	min	x	
置換工法	シラス断層として荒目砂併用	6	789	442	565	40 ~ 85
	良質土	20	2000	339	1144	
	ズリ	13	1180	410	858	
	岩 砕	11	3500	256	1181	
	川 砂	49	4900	200	1028	
盛 土		18	4000	350	1566	100
コンクリート版		3	4560	1650	2770	200~260
石灰安定処理 (Fe 石灰)		13	1170	220	750	80
銅板 (1.6 mm厚)		4	3130	1392	2192	270
バイル工法 サンドまたはベークドレン		10	45000	1400	9093	

※ 銅板のTAに8.4として計算

2.3 路盤、基層および表層の材料と厚さ、工法

軟弱路床上舗装について地盤改良を行なったものと、そうでないものに分類し、それぞれについて交通区分別に舗装構成を整理したものを表4、表5、および図4、図5に示した。ここで交通区分の判定は次式によって計算される交通量を基に区別した。

$$N = N_0 + N_0 \alpha (5.0 - t)$$

ここで N_0 : 現在の交通量 (台/日・方向)

α : 交通量の伸び率

道路統計年報1973より $\alpha = 0.24$ /年

t : 舗装の供用年数 (年)

以下これ等についての特徴を述べる。

2.3.1 A交通区分

1) 地盤改良を行なった場合の舗装構成

下層路盤には大部分の場合、切込碎石(クラッシュラン)を使用しており、その施工厚は 20 ± 3 cm である。この他の材料としては山砂利、粒調碎石、切込砂利などを使用している。

下層路盤に期待する T_a は3~5の範囲にあり、舗装全体の16~18%を占める構成となっている。

上層路盤では、粒調碎石の使用が最も多く(69%)の他にアルファルト安定処理、粒調スラグなどの使用が目立っている。これらの施工厚は、それぞれ 11 ± 1 cm, 8 ± 8 cm, 13 ± 9 cm である。上層路盤に期待する T_a は4~13の範囲にあり、舗装全体に対して、23~46%を占める構成となっている。

基層の施工は全体で18%弱であり、大部分は上層路盤の上に直接表層を施工する構成となっている。

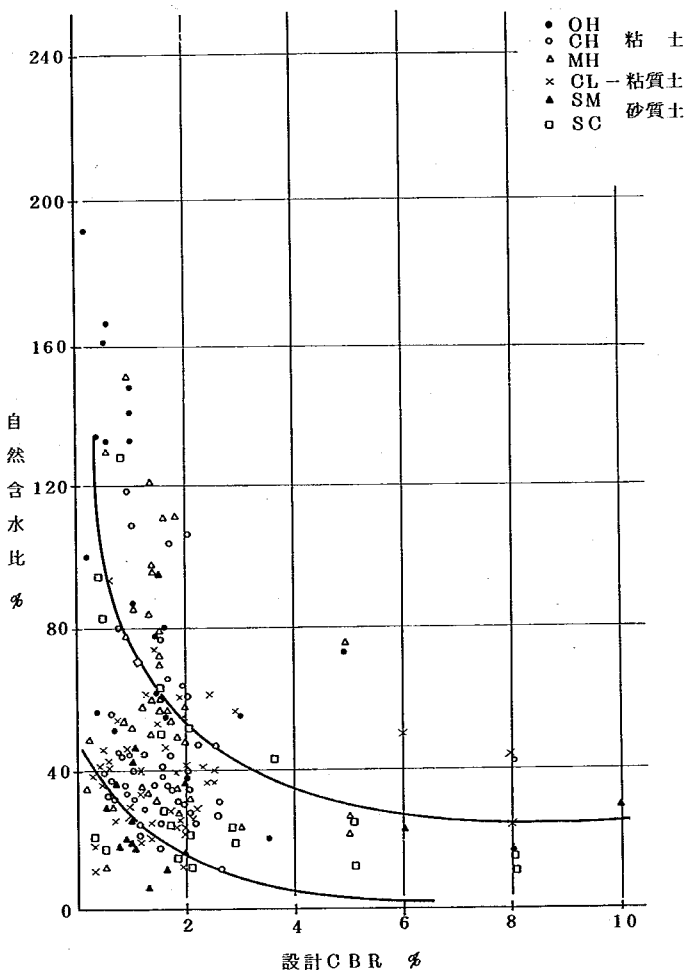


図-3 路床土の土質分類別 設計CBR-自然含水比の関係

表 4 交通区分別の舗装構成
(地盤改良を行なった場合)

交通 区分	舗装構成 路盤別	材 料 名	件数	頻度 (%)	施工厚, バインダー量の変動 cm %				TA	
					max	min	$\bar{x}$	$\sqrt{v}$		
A交通 n=28	下層路盤	切込碎石	22	78	15	10	20.5	7.74	5.1	
		山砂利	2	7	20	20	20		4.0	
		粒調碎石	2	7	11	4	7.5	4.95	2.6	
		切込砂利	1	4						
		鉋さい+切込碎石	1	4						
	上層路盤	粒調碎石	19	69	20	10	11.1	2.68	3.9	
		As 安定処理	3	10	12	5	8.3	3.51	6.6	
		粒調スラグ	3	10	16	9	13.3	3.79	7.3	
		粒調碎石+As 安定処理	2	7	20 15	10 5	15.0 10.0	7.07 7.07	5.3 8.0	13.3
	基 層	粗粒度アスコン	5	24	15	5	7.0	4.47	7.0	
		※As 量			5.8	4.5	5.2	0.42		
		開粒度アスコン	1	4						
		※As 量								
	表 層	密粒度アスコン	27	96	10	5	5.18	0.98	5.2	
		※As 量			6.6	5.6	6.1	0.21		
		コンクリート	1	4						
B交通 n=51	下層路盤	切込碎石	30	59	52	10	20.8	10.34	5.2	
		粒調碎石	2	4			30		10.5	
		切込砂利	3	6	30	10	20	10	5.0	
		玉石碎石	2	4			20		5.0	
		シラス+切込碎石	3	6	45 15	10 10	33.3 13.3	20.20 2.88		
		その他 切砕+Co+砂岩	} 4	8			10 15 10			
		鉋さい+切砕					5.20		2.8 5.0	
		玉砕+切砕					10.10		2.5 2.5	
	上層路盤	粒調碎石	16	31	15	10	10.9	2.02	3.8	
		As 安定処理	15	29	20	5	9.9	4.81	7.9	
		粒調碎石+As 安定	11	22	20 20	10 10	13.6 13.6	3.23 3.23	4.8 10.9	15.7
		粒調碎石+ソイルセメント	5	10	10 8	10 8	10 8	0 0	3.5 4.4	7.9
		その他 粒調鉋さい+As 安定 粒調鉋さい	} 4	8						

B 交通 n=51	基 層	粗粒度アスコン	23	45	11	5	5.5	1.59	5.5
		※As 量			5.8	4.5	5.07	2.41	
		密粒度アスコン	1	2			6		6.0
		※As 量					6.0		
		開粒度アスコン+粗粒アス	1	2			5 5		10.0
		※As 量					4 4.8		
	表 層	密粒度アスコン	43	84			5		5.0
		※As 量			6.8	5.7	5.95	0.93	
		修正トベカ	6	11	5	4	4.3	0.51	43
		※As 量			9.0	6.0	7.1	1.02	
C 交通 n=21	下層路盤	切込碎石	20	95	55	10	21.4	12.93	5.4
		玉石碎石	1	5			15.0		38
	上層路盤	As 安定処理	3	14	15	5	10.7	5.13	8.6
		粒調碎石	8	38	20	8	13.3	4.15	4.7
		粒調碎石 + As 安定	3	14	15 15	10 10	12.5 12.5	2.88 2.88	4.4 10 } 14.4
		その他 コンクリート + As 安定 セメント安定 粒調碎石 + ソイルセメント	7	34			20 12 15 10 8		8.3 3.5 4.4 } 14.4
	基 層	粗粒度アスコン	20	95	10	5	6.7	2.35	6.7
		※As 量			5.5	4.5	5.1	0.24	
	表 層	密粒度アスコン	21	100	5	4	4.9	0.30	4.9
		※As 量			7	5.5	6.1	0.36	
D 交通 n=10	下層路盤	切込碎石	7	70	43.0	15.0	31.6	8.99	7.9
		粒調碎石	3	30	35.0	25.0	28.3	5.77	9.9
	上層路盤	粒調碎石 + As 安定	2	20	30.0 15.0	10.0 12.0	20.0 13.5	14.14 2.12	7.0 10.8 } 17.8
		粒調鉄 さい	5	50	25	15	23	4.47	12.7
		As 安定処理	2	20	15	10	12.5	3.53	10.0
		セメント安定処理	1	10			15		8.3
	基 層	粗粒度アスコン	10	100	15	5	10.9	3.87	10.9
		※As 量			5.5	5.0	5.25	0.20	
	表 層	密粒度アスコン	9	90			5		5.0
		※As 量			6.2	5.8	5.98	0.16	

注. TA を計算するために用いた等値換算係数

鉄 さい (スラグ) 0.5 5

コンクリート版 1.2

石灰 安定処理 0.5 5

表 5 交通区分別の舗装構成
(地盤改良を行わない場合)

交通区分	舗装構成	材 料 名	件数	頻度(%)	施工厚 バインダー量の変動				TA
					max	min	$\bar{x}$	$\sqrt{v}$	
A 交通 n=67	しゃ断層	砂	14	20.8	30.0	15.0	20.4	5.16	
	下層路盤	切込碎石	49	73.1	70.0	10.0	31.6	18.3	7.9
		切込砂利	12	17.9	65.0	10.0	32.5	15.3	8.1
		スラグ	3	4.5	35.0	35.0	35.0	0	19.2
	上層路盤	粒調碎石	25	37.3	25.0	7.0	13.7	4.3	4.8
		AS 安定処理	10	14.9	15.0	5.0	7.9	4.2	6.3
		粒調碎石 + AS 安定処理	6	9.0	20.0	10.0	16.0	4.2	5.6 6.6 } 12.2
					12.0	5.0	8.2	3.5	
		スラグ	8	11.9	20.0	8.0	11.6	3.9	6.4
	基 層	粗粒度アスコン ※ AS 量	22	32.8	10.0	4.0	5.4	1.6	5.4
					5.6	4.0	5.2	0.4	
	表 層	密粒度アスコン ※ AS 量	40	59.7	5.5	3.5	4.9	0.4	4.9
					6.5	5.8	6.1	0.2	
		修正トベカ ※ AS 量	24	35.8	5.0	4.0	4.8	0.4	4.8
					8.0	6.9	7.2	0.4	
B 交通 n=63	しゃ断層	砂	17	27.0	50.0	15.0	24.8	11.4	
	下層路盤	切込碎石	35	55.6	60.0	10.0	28.9	13.4	7.2
		切込砂利	14	22.2	60.0	20.0	35.0	12.1	7.0
		スラグ	3	4.8	40.0	35.0	36.0	2.88	19.8
		切込碎石 + セメント安定処理	4	6.3	15.0	14.0	14.7	0.50	5.1 11.0 } 16.1
					25.0	15.0	20.0	4.08	
	上層路盤	粒調碎石	22	34.9	25.0	10.0	16.1	7.23	5.6
		粒調 + AS 安定	11	17.5	20.0	10.0	14.5	4.16	5.1 8.2 } 13.3
					15.0	5.0	10.3	3.79	
		スラグ	6	9.5	15.0	10.0	10.8	2.00	5.9
		アスファルト安定処理	17	27.0	15.0	5.0	9.7	3.04	7.8
		セメント安定 + 粒調 + AS 安定	3	4.8			15.0		8.2 5.8 8.5 } 22.5
							16.6	2.58	
							10.6		
	基 層	粗粒度アスコン ※ AS 量	44	69.8	9.0	4.0	5.3	0.76	5.3
					6.0	4.7	5.2	0.24	
		密粒度アスコン ※ AS 量	45	71.4	5.0	5.0	5.0	0	5.0
					6.5	5.0	6.0	0.24	
		修正トベカ ※ AS 量	15	20.6	5.0	3.0	4.5	0.6	4.5
					9.0	6.2	7.3	0.8	

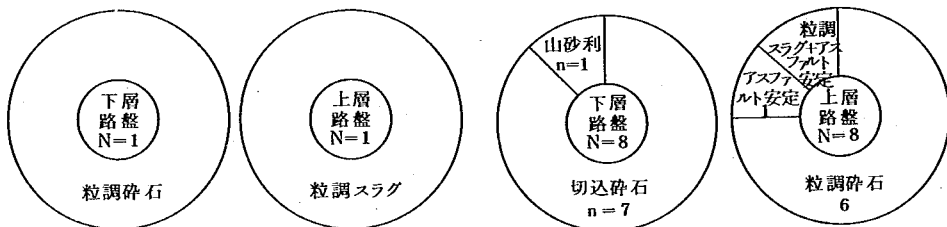
C交通 n=23	しゃ断層	砂	2	8.7			30.0		
	下層路盤	切込碎石	15	65.2	65.0	10.0	30.2	1.46	7.6
		切込砂利	2	8.7			45.0		9.0
		その他 鉱さいなど	2	8.7			25.0		13.7
	上層路盤	粒調碎石	5	21.7	15.0	10.0	12.6	2.5	4.4
		粒調碎石 + AS 安定	10	43.5	20.0	5.0	14.0	4.69	4.9
					20.0	5.0	10.9	3.39	8.7
		セメント安定処理 + 粒調 + AS 安定処理	2	8.7	18.0	15.0	17.3	1.50	26.1
					20.0	13.0	14.8	3.54	
		AS 安定処理	4	17.4	20.0	10.0	11.3	3.32	9.0
	基 層	粗粒度 アスコン	23	100.0	15.0	5.0	7.0	2.54	7.0
		※ AS 量			6.0	4.8	5.3	0.31	
	表 層	密粒度 アスコン	15	65.2	5.0	4.0	4.9	0.35	4.9
		※ AS 量			6.9	6.0	6.2	0.34	
		修正トベカ	8	34.8	5.0	3.0	4.2	0.48	4.2
		※ AS 量			7.0	6.0	7.4	0.97	
D交通 n=11	下層路盤	切込碎石	8		80.0	24.0	39.8	18.2	9.9
		スラグ	2		55.0	45.0	50.0		27.5
	上層路盤	粒調碎石 + AS 安定処理	6		30.0	5.0	19.2	8.6	6.7
					30.0	10.0	25.8	8.0	20.6
		アスファルト安定処理	2		22.0	15.0	18.5	4.95	14.8
		セメント安定処理 + 粒調碎石 + AS 安定	2				18.0		9.9
							13.0		4.6
							16.0		12.8
	基 層	粗粒度 アスコン	11		18.0	5.0	12.7	4.54	12.7
		※ AS 量			5.4	5.0	5.2	0.16	
	表 層	密粒度 アスコン	11		5.0	4.0	4.9	0.34	4.9
		※ AS 量			6.3	5.9	6.0	0.18	

注. T_A を計算するために用いた等値換算係数

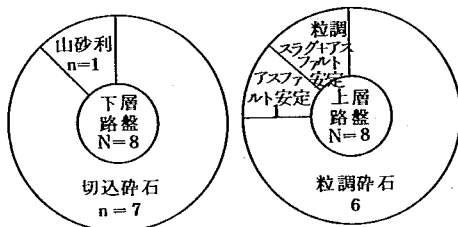
鉱さい (スラグ) 0.55

コンクリート版 1.2

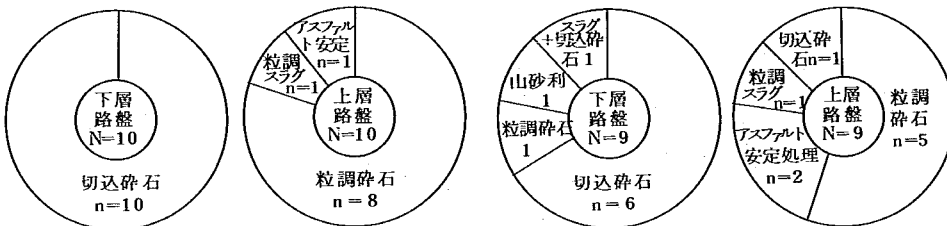
石灰安定処理 0.55



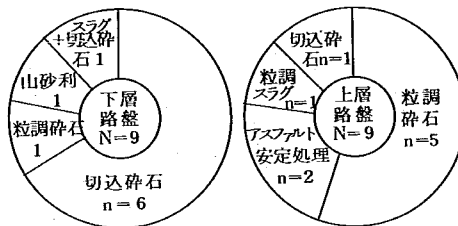
CBR 0.5%以下



CBR 0.5~1.0%



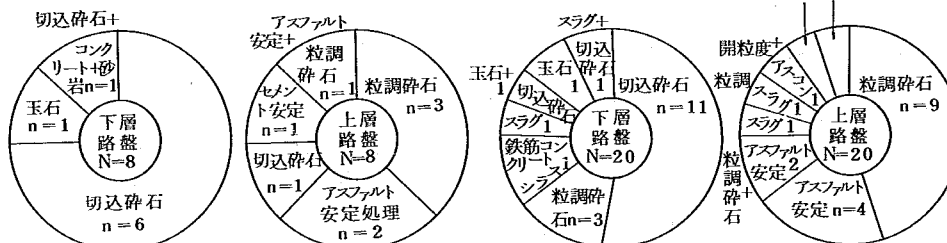
CBR 1.0~1.5%



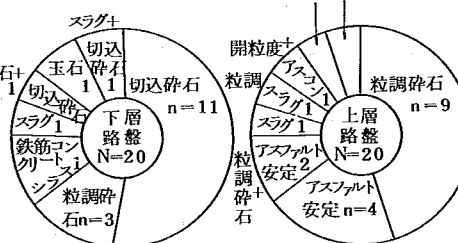
CBR 1.5~2.0%

A 交通区分 (路盤改良を行なったもの)

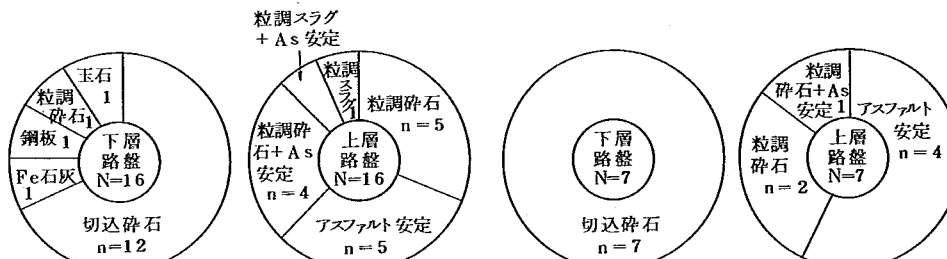
図-4 (1) 路盤の構成



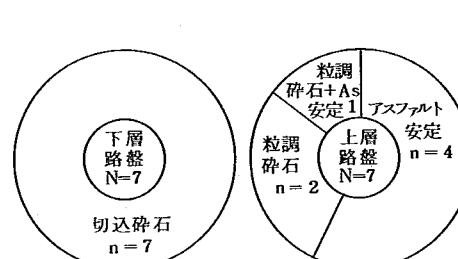
CBR 0.5%以下



CBR 0.5~1.0%



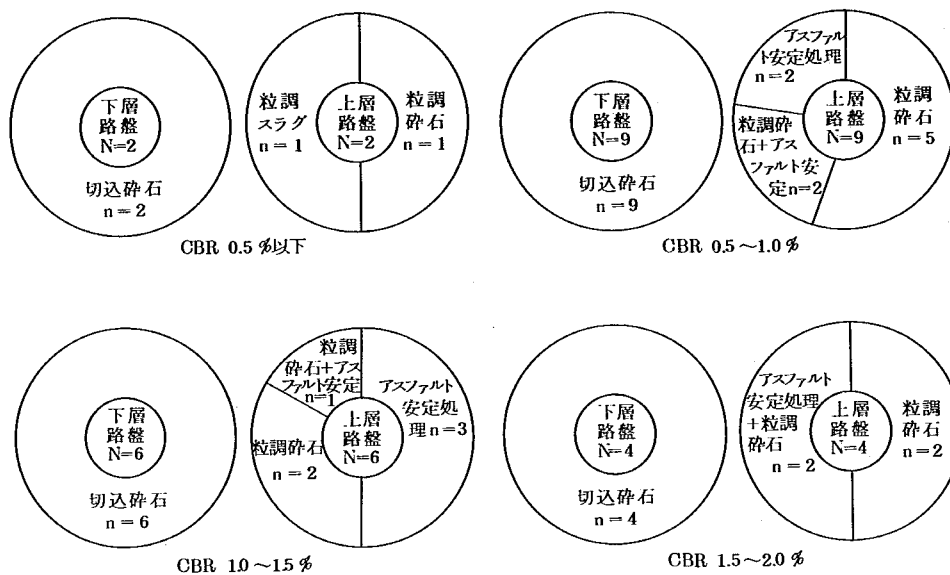
CBR 1.0~1.5%



CBR 1.5~2.0%

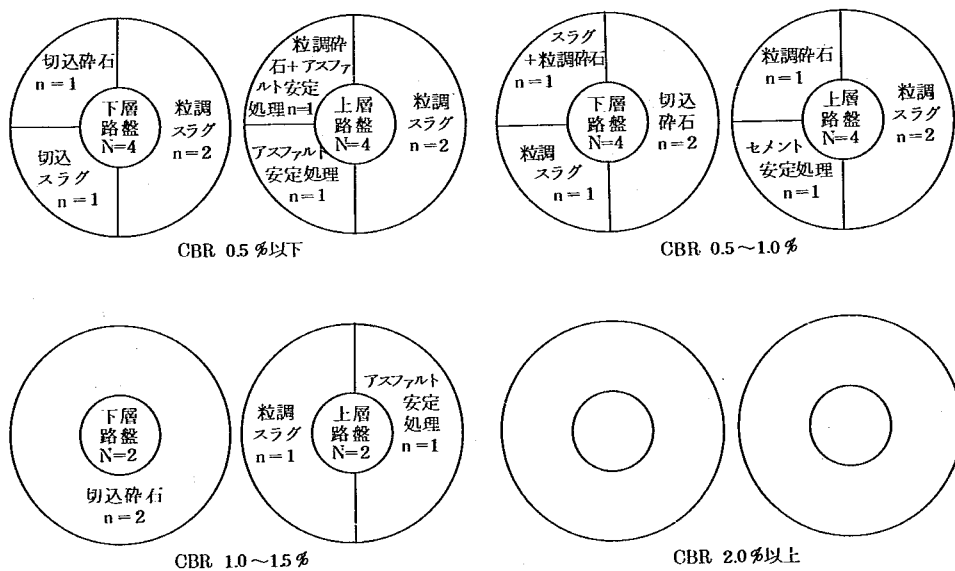
B 交通区分 (路盤改良を行なったもの)

図-4 (2) 路盤の構成



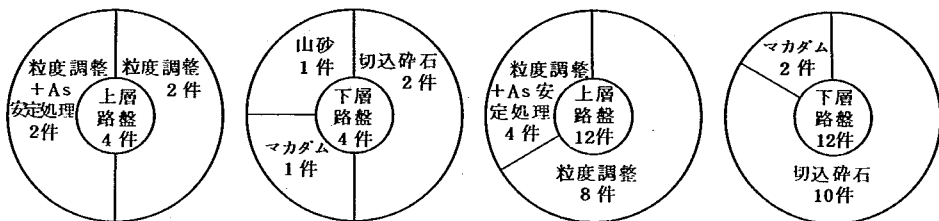
C 交通区分 (路盤改良を行なったもの)

図-4 (3) 路盤の構成



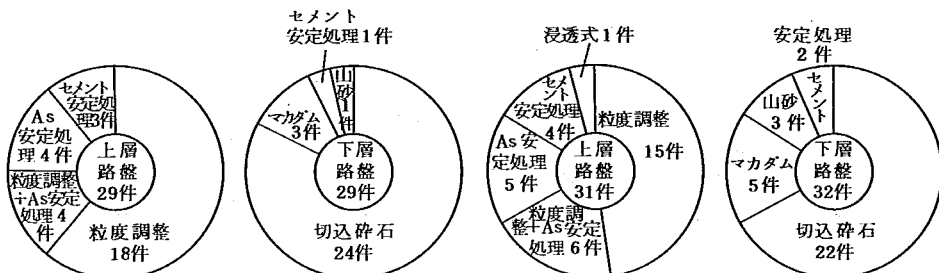
D 交通区分 (路盤改良を行なったもの)

図-4 (4) 路盤の構成



CBR 0.5 以下

CBR 0.5 ~1.0

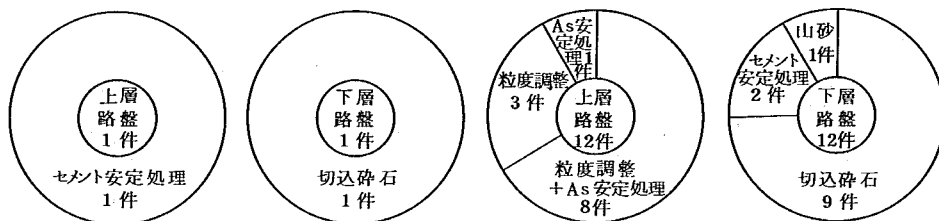


CBR 1.0 ~1.5

CBR 1.5 ~2.0

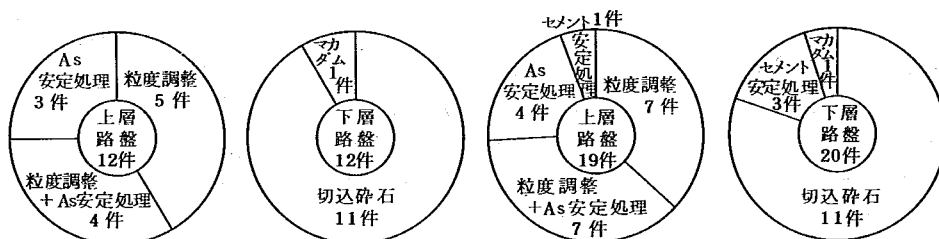
A 交通区分 (地盤改良なし)

図-5(1) 路盤の構成



CBR 0.5 以下

CBR 0.5 ~1.0

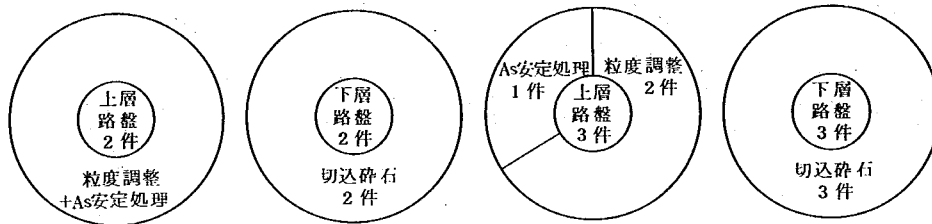


CBR 1.0 ~1.5

CBR 1.5 ~2.0

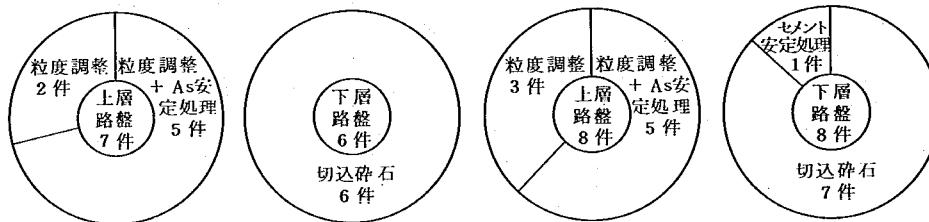
B 交通区分 (地盤改良なし)

図-5(2) 路盤の構成



CBR 0.5 以下

CBR 0.5 ~ 1.0

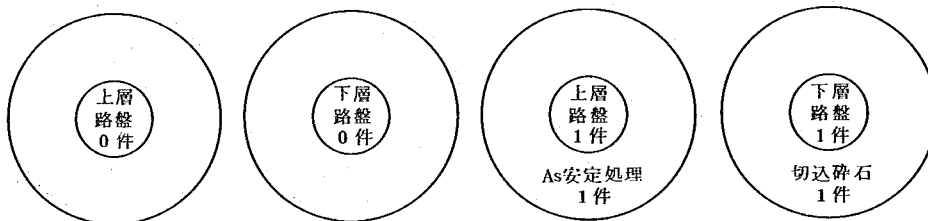


CBR 1.0 ~ 1.5

CBR 1.5 ~ 2.0

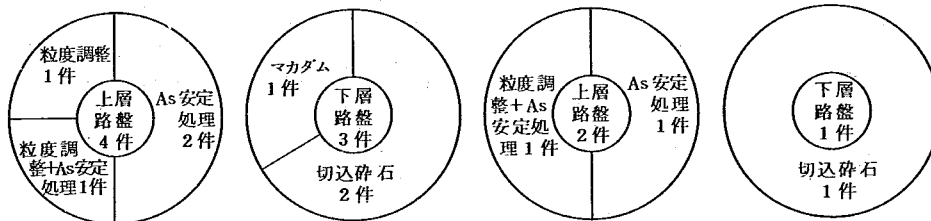
C 交通区分 (地盤改良なし)

図-5(3) 路盤の構成



CBR 0.5%以下

CBR 0.5 ~ 1.0%



CBR 1.0 ~ 1.5%

CBR 1.5 ~ 2.0%

D 交通区分 (地盤改良なし)

図-5(4) 路盤の構成

基層、表層はそれぞれ粗粒度アスコンおよび密粒度アスコンによる施工が大部分を占め、施工厚は、 7 ± 5 cm, 7 ± 0.4 cmである。舗装全体の T_A は17~28の範囲である。

2) 地盤改良を行わない場合の舗装構成

A交通区分に属するものは67件(40.8%)である。このうちしゃ断層の施工は21%近くしか認められず、大部分の舗装はしゃ断層を設けていないことがわかる。しゃ断層の平均施工厚は 20 ± 3 cmである。

下層路盤には矢張り切込碎石(クラッシャーラン)の使用頻度が高く、次いで切込砂利、スラグ、の順に使用されている。また、これらの平均施工厚はそれぞれ 32 ± 6 cm, 33 ± 13 cm, 35 cmである。上層路盤としては粒調碎石、アスファルト安定処理による路盤が多く、両者の合計頻度は全体の半数以上を占めている。またこれらの施工厚はそれぞれ 14 ± 2 cm, 8 ± 3 cmの範囲にある関係が認められた。この他、粒調碎石、アスファルト安定処理などの単一材料で上層路盤を施工するものの他に、これ等の組合せによる路盤の施工頻度が20%近く認められる。

基層はアスファルト量5.4%の粗粒度アスファルトコンクリートを 5 ± 1 cm厚で施工している。表層は密粒度アスファルトコンクリートと修正トベカが施工されているが修正トベカは寒冷地に多い関係が認められる。それぞれの施工厚は 5 ± 1 cm, 5 ± 1 cmである。アスファルト量は前者が 6 ± 0.1 %, 後者で 7 ± 0.1 %である。

舗装構成から計算された T_A は23~41であり、アスファルト舗装要綱の設計値を満足していることがわかる。

2.3.2 B交通区分

1) 地盤改良を行なった場合の舗装構成

下層路盤にはA交通区分と同様に切込碎石(クラッシャーラン)が60%近く使用されており、その施工厚は 21 ± 4 cmである。この他、A交通区分の場合と比較して特徴的なことは、2種類以上の路盤材(下層・シラス、上層・切込碎石、下層・鉋サイ、上層・切込碎石による下層路盤)を用いて2層以上に仕上げる下層路盤が多いことがわかる。下層路盤に期待する T_A は5~11の範囲にあり、舗装全体の26~30%を占める構成となっている。

上層路盤においても、使用材料は、粒調碎石、アスファルト安定処理およびこれらの組合せによる路盤が主体である。 T_A としては4~16の範囲にあり、舗装全体の21~44%を占める構成となっている。

表層基層は粗粒度アスコン、密粒度アスコンおよび修正トベカによる舗装が主体で80%以上が基層の施工をせずに、直接表層を施工する舗装構成となっている。

2) 地盤改良を行わない場合の舗装構成

しゃ断層の施工率は全体の1/3程度であり、施工厚は 24 ± 5 cmとなっている。

下層路盤には切込碎石、切込砂利の使用が多く全体の80%を占めている。またこれらの施工厚はそれぞれ 29 ± 6 cm, 35 ± 10 cmの範囲にある。下層路盤に使用されている材料と施工厚から T_A を推定すると、7~20の範囲にある。これは舗装全体の T_A に対して30~40%を分担している関係にある。

上層路盤には粒調碎石、アスファルト安定処理、粒調碎石+アスファルト安定処理の使用頻度が高く、それぞれの施工厚は 16 ± 5 cm, 10 ± 4 cm, $(15\pm3)+(10\pm2)$ cm, となっている。これより上層路盤に期待するTAは全体の30~40%に当る14程度である関係が認められる。基層、表層はそれぞれ粗粒度アスコンおよび密粒度アスコンによる施工が大部分を占め、施工厚は 5 ± 0.2 cm, 5 cm, である。舗装全体のTAは24~47の範囲にありTA不足の舗装が多い様子が見える。

2.3.3 C交通区分

1) 地盤改良を行なった場合の舗装構成

下層路盤は全て切込碎石を使用しており、施工厚は 21 ± 6 cm である。

上層路盤には粒調碎石による路盤が40%近く認められ、他は全てアスファルトかセメントによる安定処理路盤であることが特徴的である。

基層は、アスファルト量 $5\pm0.1\%$ の粗粒度アスコンを 7 ± 1 cmで施工している。

表層は、アスファルト量 $6.1\pm0.2\%$ の密粒度アスコンを 5 ± 0.2 cmで施工している。

2) 地盤改良を行わない場合の舗装

しゃ断層を設けた施工例はわずか2件(8.7%)でありほとんどがしゃ断層無しの舗装であることがわかる。

下層路盤としては、A, B交通区分の場合と同様に切込碎石、切込砂利の使用例が多く、次いでスラグといった順序である。また施工厚はそれぞれ 30 ± 8 cm, 45 cm, 25 cmであり、TAとしては8~14であり全体の25~30%を期待した構成となっている。

上層路盤としては、単一材料によるものより2~3種類の組合せ路盤が多く、特に粒調碎石+アスファルト安定処理、セメント安定処理+粒調碎石+アスファルト安定処理による施工例が多く、これらの合計頻度は60%近くに達している。上層路盤で分担しているTAは14~26であり全体のTAに対して40~50%に及んでいる。

基層は全て粗粒度アスコンを 7 ± 2 cm厚で施工しており、A, B交通区分に比べ2 cm程度厚くなっている。

表層は密粒アスコンかあるいは修正トベカによる舗装であり両者の使い分けはA交通区分で述べたように寒冷地では修正トベカの頻度が高い傾向がわかる。これらの施工厚およびアスファルト量はそれぞれ4.9 cm, 4.2 cm, 6.2 %, 7.4 % となっている。

舗装全体のTAは24~54でTA不足の舗装が多いことがわかる。

2.3.4 D交通区分

1) 地盤改良を行なった場合の舗装構成

下層路盤はこれまでと同様に切込碎石、粒調碎石によるものであり、それぞれ施工厚は 32 ± 8 cm, 28 ± 14 cm である。Taは8~10を期待した構成であることがわかる。

上層路盤では、スラグ安定、粒調碎石+アスファルト安定処理、アスファルト安定処理といった安定処理路盤に限られていることが特徴である。これより、重交通区分に属する舗装は地盤改良を行なった上に、さらに安定処理路盤という剛性、または半剛性層を取り入れた構成が必要であると

いえる。Ta は8～18 の範囲にあり、舗装全体の25～41%を期待した構成となっている。

基層、表層はそれぞれに粗粒度アスコン、密粒度アスコンによる舗装であり、施工厚は 10 ± 3 cm、5 cm である。またアスファルト量はそれぞれ5.2%、6.0%である。

2) 地盤改良を行わない場合の舗装構成

じゃ断層を設けた舗装は認められず、路床の上に直ぐ下層路盤を施工する舗装となっている。下層路盤には切込碎石、スラグを使用しておりそれぞれ40 cm、 50 ± 21 cm 厚で施工されている。上層路盤にはC交通区分の場合と同様に締固めが良く、安定度の高い安定処理路盤に限られている。基層と表層にはそれぞれ粗粒度アスコンと密粒度アスコンが使用されており、施工厚は 13 ± 4 cm、5.0 cm となっている。TA は34～69 の範囲にあり不足していることがわかる。

以上の結果から、軟弱路床上舗装の材料、工法の実態として次のようなことが指摘できる

1) アスファルト舗装要綱で述べている路床上のCBR 2.5 以下のときのじゃ断層の施工に該当する例は少なく、重交通区分にいたっては全く設けられていない。そして、これを補なうものとして下層路盤からセメンテング効果を有する安定処理路盤を設ける傾向がうかがえる。

2) 下層路盤材料としては切込碎石の使用が主体であるが、重交通区分に移るに従がいセレクト材の選定に注意がはられている。

3) 上層路盤材料としては粒調碎石が主体であるが、重交通区分に移るに従がい2～3種類の材料を組合せたもの(粒調碎石+アスファルト安定処理、セメント安定処理+粒調碎石+アスファルト安定処理など)が使用されている。特に路盤材料を安定処理して剛性層または半剛性層として施工する設計の必要を物語っている。

4) 基層と表層はそれぞれ粗粒度アスコン、密粒度アスコンによる舗装が主体であるが、重交通区分に移行するに従がい基層の厚さを厚くするか、下層にアスファルト安定処理層を設ける設計が必要である。

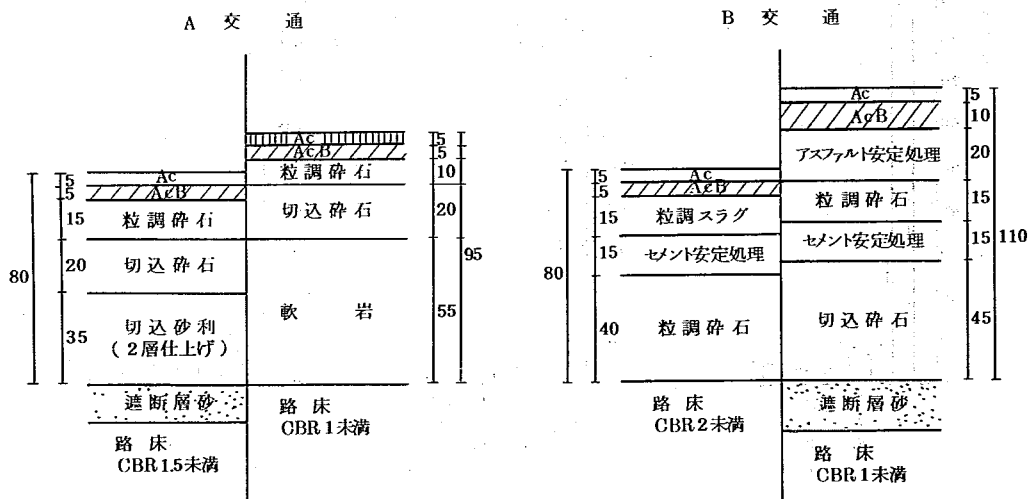


図-6 舗装構成図(地盤改良なし) 単位 cm

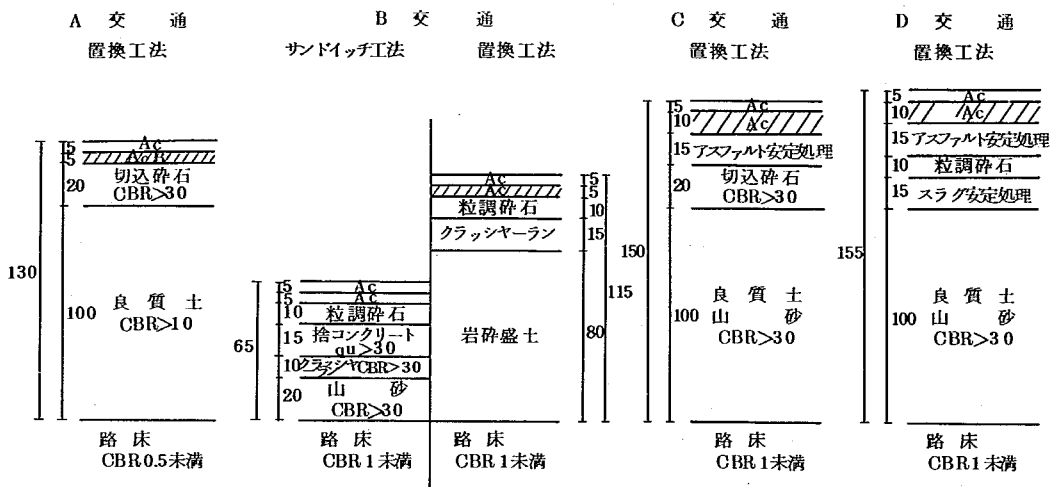
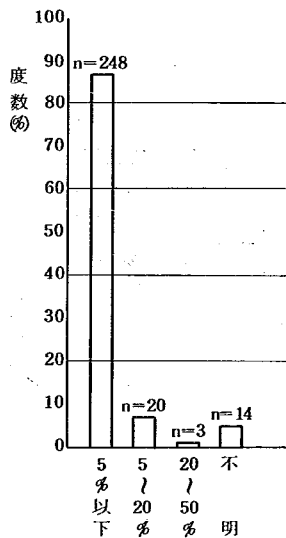


図-7 地盤改良別舗装構成 単位 cm

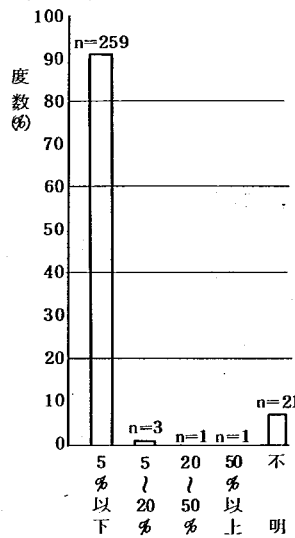
図6, 図7に軟弱路床上舗装の標準断面を示した。これは各交通区分別にCBRに応じたHおよびTAを満足するもので、さらに供用性の良いものの中から選び出したものである。

2.4 現況

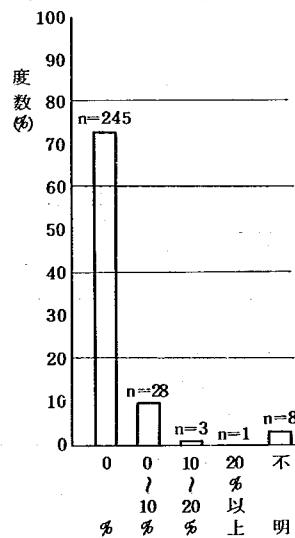
実態調査を行なった軟弱路床上舗装の現況調査としては、舗装のひびわれ率、シールコート率、ポットホール・パッチング率、流動の状態などの評価を行なった(図8~12参照)。



ひびわれ率
図-8 舗装の現状



シールコート率
図-9 舗装の現状



ポットホール・パッチング率
図-10 舗装の現状

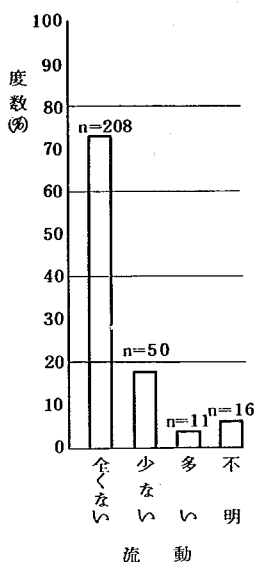


図-11 舗装の現状

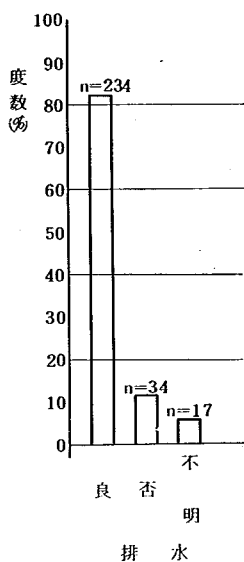


図-12 舗装の現状

これより大部分の舗装はひびわれ等の破壊も少なく良好な供用成績を示している。このように舗装の供用性が良い結果を示している理由としては、全体に供用年数が短いこと（5年未満である）、A、B交通区分など軽交通区分がほとんどであることなどが指摘される。この意味で今後2～3年後に追跡調査を実施して検討を加えたい。

2.5 軟弱路床上舗装の設計、施工に対する意見

軟弱路床上舗装の設計、施工に対する意見の中で指摘の多かったものを別記すると次のようになる。

1) 軟弱路床上舗装は一般にたわみ量が大きくあらわれやすく、材料の締固めが十分におこなうにくいために路盤の変位が大きくなり易いので、綿状クラック等が発生し易い。この意味から路盤にはセメンテング効果が期待できる安定処理路盤を設け、安定性を高める設計にする必要がある。

2) サンドイッチ工法は置換工法よりたわみ量が小さくなり、舗装厚も薄くできるので経済性、信頼性が高い。

3) 施工は路床土の含水量が少ない時期を選び、融雪、降雨時、または掘削などによる地形を伴う場合は路床土の含水状態が変化するので設計に組込で検討すべきである。

4) 地下水位の高い場所では置換工法よりも、石灰安定処理などによる複合地盤を得る改良工法が良い。

これ等の意見は全ての現場に適用するものとは限らないが、必要に応じて検討されなければならない条件のように思われる。

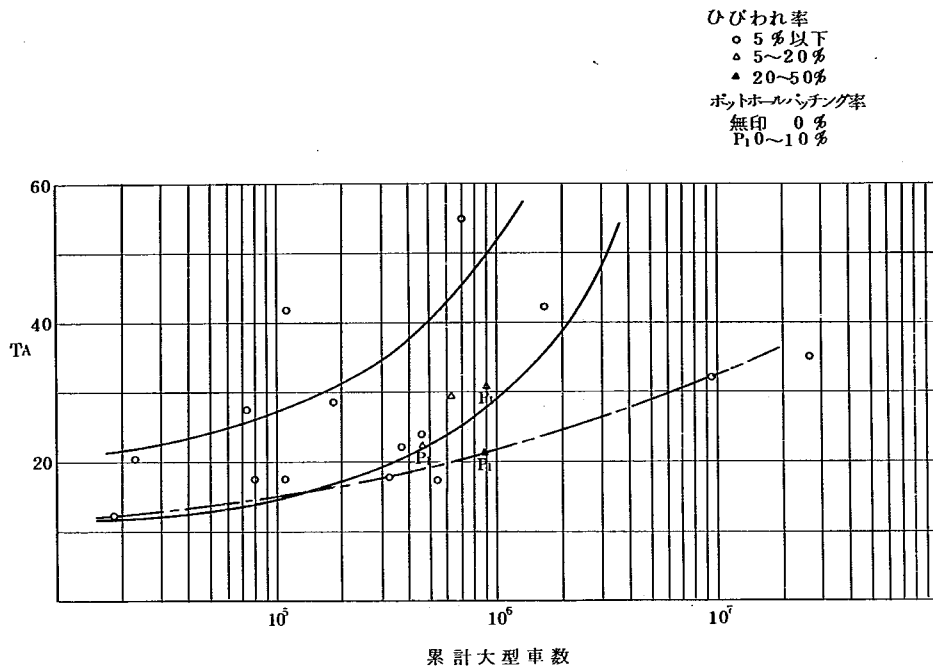


図-13 累計大型車数とTAの関係
設計CBR0.5未満

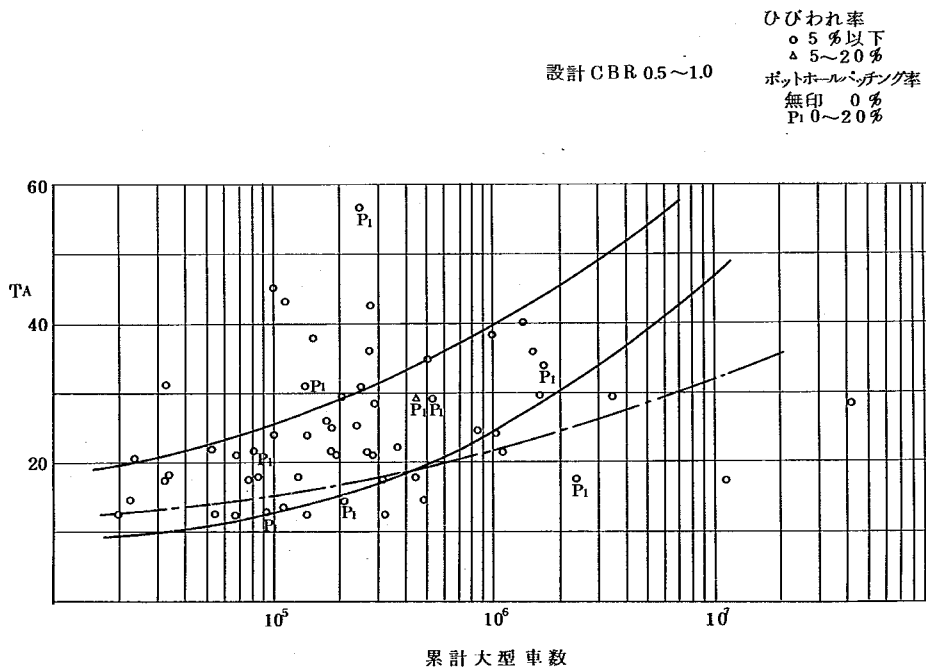


図-14 累計大型車数とTAの関係
設計CBR 0.5~1.0

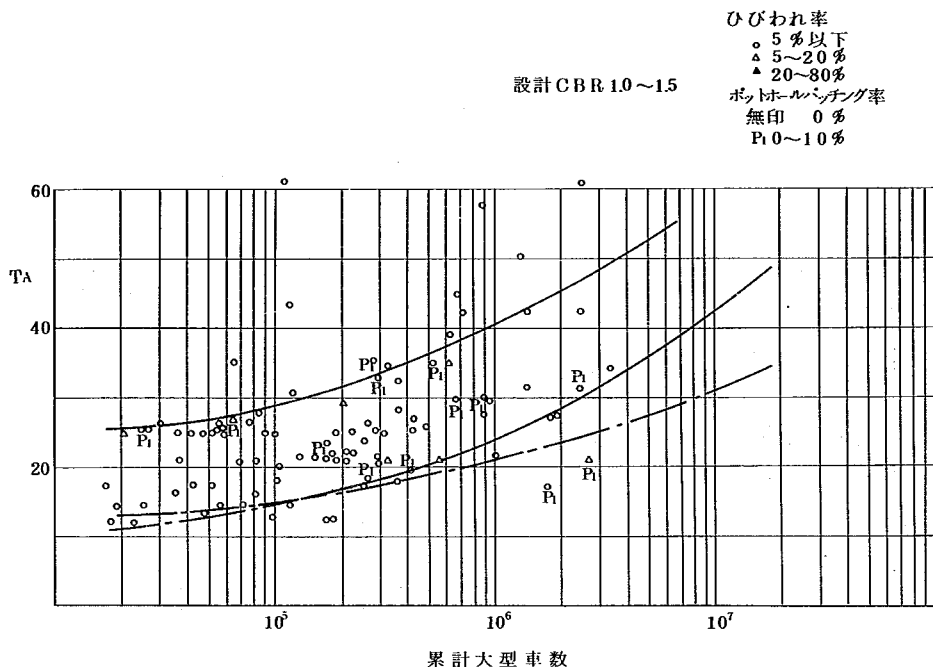


図 - 15 累計大型車数と TA の関係
設計 CBR 1.0~1.5

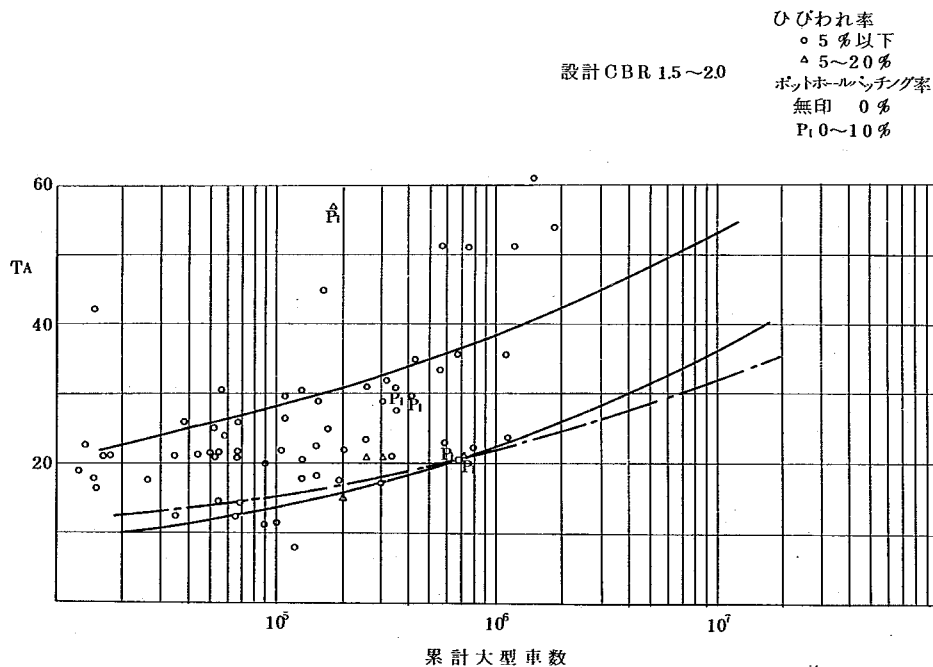


図 - 16 累計大型車数と TA の関係
設計 CBR 1.5~2.0

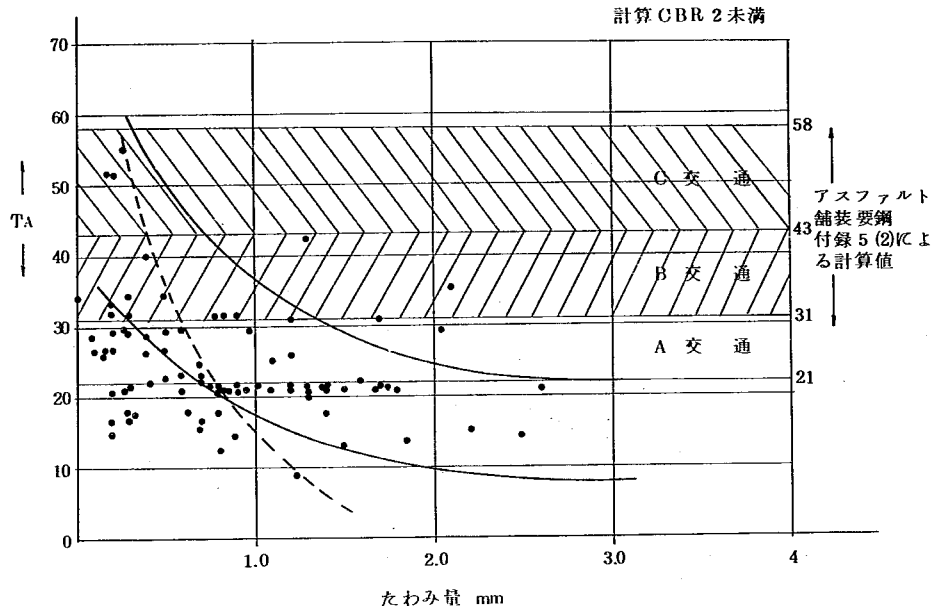


図 - 17 TA とたわみ量の関係
輪荷重 5 t 換算たわみ量設計 CBR 2.0

3. 解 析

3.1 設計 CBR をパラメーターとした場合の累計大型車数と TA の関係

設計 CBR を 0.5 の範囲で 4 段階に分類し、それぞれの分類に属する舗装の累計大型車数と TA の関係を舗装のひびわれ率のちがいで表示して図 1 3 ~ 1 6 の結果を得た。図中の 2 本の実線はひびわれ率が 5 ~ 20 %、あるいは 20 ~ 50 % の点の分布を曲線回帰することによって得た曲線である。また、破線で示したものは日本道路公団の設計基準（ただし路床上の設計 CBR は 3 以上としている）を示したものである。

これより先ず、回帰曲線は設計 CBR が 0.5 未満のものと 1.5 ~ 2.0 のものでは有意差が認められるが、その他の分類のものには差が認められないことがわかる。

次にアスファルト舗装要綱に示す交通区分の値を大型車の日交通量として 10 年後（舗装の寿命として 10 年を目安とする）の累計大型車数を各交通区分毎に計算する。更に、この累計大型車数を前述の図 1 3 ~ 1 6 の横軸にプロットして対応する TA の範囲を求めた。このような操作によると A 交通では 13 ~ 28、B 交通では 18 ~ 34、C 交通では 23 ~ 40、D 交通では 25 ~ 63、という関係が得られた。この値を表 2 の関係で求まる値と比較すると各交通区分とも明らかに TA 不足の実態が認められる。TA 不足の範囲は A 交通で 33 ~ 10 %、B 交通で 30 ~ 21 %、C 交通で 35 ~ 30 %、D 交通で 45 ~ 20 %、というような関係にある。今回の調査でみる限りにお

いては軟弱路床上の舗装構成を決める場合には少なくともアスファルト舗装要綱で示された関係式を先ず十分満足するような構成にしなければならないという提案ができる。

3.2 TAとたわみ量との関係

TAとたわみ量(5t換算たわみ量)との関係から図17の結果を得た。図中の破線は建設省技術研究会調査に報告されている関係を示したものである。これより、ばらつきは大きいけれども路面のたわみ量をより小さく保つためには、TAは大きく取らなければならないことが傾向的に認められる。

高級舗装では、舗装表面のたわみ量の管理基準として0.75mm以下、一般国道では1.0mm以下でなければならないという提案がある。軟弱路床上の舗装においても供用性の評価をたわみ量で管理するとして、その水準を国道レベルで行なうとすれば所要のTAは18~37、中央値をとれば28以上は必要になる。

しかし、材料、工法の項でも指摘したように全般的にTA不足の舗装が多く、たわみ量のバラツキも大きいので明言できる関係とはいえないので今後さらに検討したい。

あ と が き

軟弱路床上舗装の実態調査を行ない標準的な舗装構成や、地盤改良などに対する実態を把握することができた。最後に、本調査を行なうにあたり御尽力あった建設省道路局地方道課、同国道2課、調査を担当された各都道府県道路建設課の各位に対し深甚の謝意を表する。

参 考 文 献

1. アスファルト舗装要綱(昭和42年12月)
2. 日本道路公団アスファルト舗装設計基準
3. 近畿地建における一日土研 土木研究所
4. Deflection Criteria For Asphalt Pavement.
5. スチール路盤追跡調査報告書 昭和46年6月

資料

C

C

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
							合計 交通量	大型車 交通量	交通区分	自然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
1	北海道	45. 8	3	11.25 ~3.5	1,367	13,870	2,055	O	120	1.4	Pt	鋼板 1.6% 切込砕石 80%級 " 40%級		20 35		(80~100) アスファルト安定処理	加熱混合	12	As 4.5%	
2	"	45. 12	3	11.25 ~3.5	574	13,870	2,055	O	120	1.4	Pt	切込砕石 40%級		35		コンクリートC=180% アスファルト安定処理	レミコン 加熱混合	20 12	As 4.5%	
3	"	46. 5	4	18~7	13,200	9,040	1,430	O	55	—	OH・OL	切込砕石 80%級 切込砕石 40%級		20 35		アスファルト安定処理	加熱混合	12	As 4.5%	
4	"	46. 7	2	9	1,875	8,078	2,334	D	123	—	SW	切込砕石 40%級		50		アスファルト安定処理	加熱混合	12	As 4.5%	
5	"	46. 8	2	5.5	510	1,650	420	B	30.8	1.0	OH	切込砕石		46		切込砕石	蒸気安定処理 加熱混合	6	As 4.5%	
6	常 森	47. 1	2	7.5	110	3,326	1,530	C	9.5	4.0	SP(砂)	切込砕石		40		蒸気安定処理	加熱混合	10	As 4.5%	
7	"	47. 3	2	9.0	1,520	4,483	1,176	C		2.0	Pt	砂 クラッシュラン	一層20 二層15	30 35		粒調砕石		15		
8	岩 手	44. 10	2	6.5	100	推定 1,972	推定 501	B	10	3.0	SM	切込砂利	マカダム	30		切込砕石	粒度調整	10		
9	"	44. 10	2	6.5	100	推定 2,143	推定 478	B	17	—	SM	切込砕石	マカダム	30		切込砕石	粒度調整	10		
10	"	44. 12	2	6.5	100	推定 4,410	推定 267	B	推定 15	—	SM	切込砕石	マカダム	30		切込砕石	粒度調整	10		
11	"	47. 9	2	6.5	150	2,110	460	B	30	—	GS	切込砕石 (15cm 3層)		45		切込砕石 砂	粒度調整	10		
12	"	44. 10	2	13	5,600	7,900	2,000	D	16	—	SW	切込砕石 最大粒径 80mm	路上混合	36		アスファルト安定処理	加熱混合	14	As 4%	
13	"	45. 8	2	11.5	1,231	2,360	900	O		—		切込砕石 最大粒径 80mm	路上混合	55		アスファルト安定処理	加熱混合	20	As 4%	
14	"	45. 8	2	7.5	5,100	410	85	A		—		切込砕石 最大粒径 80mm	路上混合	20		アスファルト安定処理	加熱混合	7	As 4%	
15	"	44. 2	2	15	270.5	4,235	219	B	190~33	0.05	OH~MH	砂		30		セメント安定処理 切込砂利 80%以下 粒調砕石	中央プラント混合	20 40 15		
16	"	45. 7	2	13	838.6	4,153	277	B	109~33	0.73	LL~ML	遮断層: 砂 切込砕石		15 10		セメント安定処理 切込砂利(50%以下) 粒調砕石	中央プラント混合 中央プラント混合	20 10 15		
17	"	45. 7	2	16	400.7	2,876	127	A	112~173	0.28	ML~SM	遮断層: 砂 切込砕石 50%以下		20 10		セメント安定処理 粒調砕石 蒸気安定処理	中央プラント混合 加熱混合	20 15 20	As 4%	
18	"	44. 12	4	12	969	推定 3,500	推定 380	B	94	1.0	M.L	遮断層: 砂 切込砂利		20 50		粒調砕石	中央プラント混合	20		
19	"	44~45	2	16~18	1,030	推定 2,000	推定 600	B		—	S.M	遮断層: 砂 切込砂利		20 50		粒調砕石	中央プラント混合	20		
20	"	46. 9	2	12	372	640	49	A	(16.6)	0.5	(SO)	路床置換: 砂(真砂土) 切込砂利 50%以下		75 35		粒調砕石(40%以下)	中央プラント混合	10		

№	中 間 層 基 層				表 層				現 況								給電電 備 装 合 計 厚	T A
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シール コート率	ポットホール ベタング率	流 動	排水の 良 否	たわみ量				
														測定年月	たわみ量			
1	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	10	As 5.3%	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	4	As 7%	5%以下	5%以下	0%	全くない	良	4.67	10mm	6	79	42.9
2	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	10	As 5.5%	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	4	As 7%	〃	〃	〃	〃	〃	16.7	3	6	〃	50.35
3	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	10	As 5.5%	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	4	As 7%	〃	〃	〃	〃	〃				〃	34.35
4	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	10	As 5.3%	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	4	As 6.8%	〃	〃	〃	〃	〃				74	34.1
5	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	5	As 6%	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	3	As 9%	〃	〃	〃	〃	〃				60	22.3
6	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	6	As 5%	トベカ	加 熱 混 合	4	表層(トベカ4cm) は48年度施工予定	〃	〃	〃	〃	〃				〃	31
7	粗粒式アスコン 密粒式アスコン		10 4		耐摩耗トベカ		3		〃	〃	〃	〃	〃	18.1	2.6	5.0	65	29
8	砕 石	加 熱 混 合	6	As 5%	砕 石	加 熱 混 合	4	As 8.5%	〃	〃	〃	〃	〃				50	19
9	砕 石	加 熱 混 合	6	As 5%	砕 石	加 熱 混 合	4	As 8.5%	〃	〃	〃	〃	〃				50	19
10	砕 石	加 熱 混 合	6	As 5%	砕 石	加 熱 混 合	4	As 8.5%	〃	〃	〃	〃	〃				50	19
11	(80~100) 粗 粒 度	加 熱 混 合	6	As 5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.5%	〃	〃	〃	〃	〃				65	22.75
12	(80~100) 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	トベカ式アスコン	加 熱 混 合	4	As 8.5%	〃	〃	〃	〃	〃				60	30.2
13	粗粒式アスコン	加 熱 混 合	7	As 5.5%	トベカ式アスコン	加 熱 混 合	5	As 9%	〃	〃	〃	〃	〃				87	39.8
14	粗粒式アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	トベカ式アスコン	加 熱 混 合	4	As 9%	〃	〃	〃	〃	〃				37	20.6
15					コンクリート版	中央プラント混合	25		〃	〃	〃	〃	否				130	—
16	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.5%	〃	〃	〃	〃	〃				80	31.25
17	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6		トベカ	加 熱 混 合	4		〃	〃	〃	〃	良				75	41.75
18	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	表層: 密粒度アスコン 底層: アスファルトモルタル	加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	〃	〃	〃	〃	〃				80	27
19	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	表層: 密粒度アスコン 底層: アスファルトモルタル	加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	〃	〃	〃	〃	〃				80	29.5
20	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	表層: 密粒度アスコン 底層: アスファルトモルタル	加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	〃	〃	〃	〃	〃				55	20.5

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量		路 床 土			下 層 路 盤				上 層 路 盤				
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 CBR	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
21	岩 手	46. 7	2	9	391.3	推定 3,344	推定 410	B	52.9	0.8	OL	通断層：荒目砂 切込砕石50%以下		20 10	コンクリート版 粒調砕石40%以下	コンクリート版 粒調砕石40%以下	} 中央プラント混合	15 15	44
22	"	46.7-8	2	6.7	170.8	957	115	A	94.2	0.4~1.5	OH	通断層：荒目砂 切込砕石50%以下		15 15	セメント安定処理 粒調砕石	セメント安定処理 粒調砕石		} 中央プラント混合	
23	"	46. 10	2	5.5	4,384.7	推定 822	推定 121	A	65.3	1.0	ML	切込砕石50%以下		40	粒調砕石40%以下	粒調砕石40%以下	中央プラント混合	15	
24	"	46. 10	2	5.5	1,920	687	142	A		1.0	ML	切込砕石50%以下		30	粒調砕石40%以下 瀝青安定処理	粒調砕石40%以下 瀝 青 安 定 処 理		20 12	As 4.3%
25	"	46. 9	2	5.5	2,631	推定 965	推定 321	B	50.3	1.5	SM	切 込 砕 石		50		粒調砕石 アスファルト安定処理	中央プラント混合 加 熱 混 合	10 10	As 4 %
26	"	46. 12	2	5.5	1,866.2	911	134	A	37.5	1.2	OL	切込砕石50%以下		40		粒調砕石40%以下	中央プラント混合	15	
27	"	46. 10	2	5.5	1,600.5	319	82	A		1.2	SM	通断層：荒目砂 切込砕石50%以下		15 35		瀝 青 安 定 処 理	加 熱 混 合	10	As 4.1%
28	宮 城	46. 12	2	5.5	398	835	132	A	71.9	1.5	OL	切 込 砕 石		50		アスファルト安定処理	加 熱 混 合	5	As 4%
29	"	43. 9	2	6.0	563	2,399	283	B	29.7	1.7	ML	切 込 砕 石		40		アスファルト安定処理 粒 調 砕 石	加 熱 混 合	5 10	As 4%
30	"	43. 3	2	5.7	520	2,044	337	B	34.1	1.8	OL	切 込 砕 石		40		アスファルト安定処理	加 熱 混 合	10	As 4%
31	"	46. 3	2	5.5	120	1,462	82	A	32.2	1.6	ML	混 合 切 込 砕 石		35		アスファルト安定処理	加 熱 混 合	10	As 4%
32	"	46. 12	2	5.5	750	701	153	A	51.5	1.0	MH	播 込 砂 利 切 込 砕 石		45 10		アスファルト安定処理	加 熱 混 合	6	As 4%
33	"	46. 3	2	5.5	554	1,346	448	B	57.9	1.2	MH	砂 切 込 砕 石		30 50		アスファルト安定処理	加 熱 混 合	10	As 4%
34	"	46. 12	2	5.5	740	150	25	A	38.3	1.6	OL	切 込 砕 石		45		アスファルト安定処理	加 熱 混 合	18	As 4.5%
35	"	46. 3	2	6.5	100	推定 3,880	推定 660	B	12.0	-	SM	切 込 砕 石		35		(60~80) 瀝 青 安 定 処 理	加 熱 混 合	7	As 4.5%
36	"	47. 9	2	6.5	100	推定 1,770	推定 300	B	16.5	-	SW	切 込 砕 石		45		切 込 砕 石 砂	粒 度 調 整	10	
37	"	46. 11	2	6.5	100	推定 8,620	推定 2,500	D	25	-	SM	切 込 砕 石		40		(80~100) 瀝 青 安 定 処 理	加 熱 混 合	7	As 4.5%
38	"	44. 11	2	7.0	100	推定 12,600	推定 3,540	D	39	-	SM	切 込 砕 石		25		(60~80) 瀝 青 安 定 処 理	加 熱 混 合	14	As 4.5%
39	秋 田	45. 9	2	5.5	498.6	668	200	B	51	2	SM	通断層：砂 切 込 砕 石		20 50		粒 調 砕 石	粒 度 調 整	10	
40	"	47. 8	2	6.0	228.4	推定 7,034	推定 403	B	31	2.2	OL	砂 切込砕石50%以下		50 30		切込砕石40%以下 (80~100) ストリートアスファルト	瀝 青 安 定 処 理	10 5	As 4.5%

No.	中 間 層 基 層				表 層				現 況										輸 送 電 力 計 画	純 装 合 計 厚	T A
	材 料		厚 寸	備 考	材 料		厚 寸	備 考	ひ び 割 れ 率	シ ー ル コ ー ト 率	ポ ー ト ホ ー ル 発 生 率	汎 動	積 水 の 害	た わ み 量							
	材 料	工 法			材 料	工 法								測定年月	たわみ値						
21					表層：密粒底アスコン 摩耗層：耐摩耗トベカ	} 加 熱 混 合	5.0 1.5	As 6.2% As 12.0%	5%以下	5%以下	0%	全くない	良				45	—			
22					表層：密粒底アスコン 摩耗層：アスファルトモルタル		} 加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	"	"	"	"	"				55	25		
23	粗粒底アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	表層：密粒底アスコン 摩耗層：アスファルトモルタル	} 加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	"	"	"	"	"				65	25.5			
24	粗粒底アスコン		6	As 5.6%	表層：密粒底アスコン 摩耗層：アスファルトモルタル	}	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	"	"	"	"	"	不明			73	35.1			
25					表層：密粒底アスコン 摩耗層：アスファルトモルタル		} 加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	"	"	"	"	"				75	29		
26	粗粒底アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	表層：密粒底アスコン 摩耗層：アスファルトモルタル	加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	"	"	"	"	"				65	25.25			
27	粗粒底アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	表層：密粒底アスコン 摩耗層：アスファルトモルタル	加 熱 混 合	5 1.5	As 6.2% As 12.0%	"	"	"	"	"	不明	不明		55	25.25			
28					修正トベカ	加 熱 混 合	5				"	少ない	"	48.1	1.09mm	4.6	60	21.5			
29					修正トベカ	加 熱 混 合	5				"	"	"	48.1	2.94	4.6	54	27.5			
30					密粒底アスコン	加 熱 混 合	5				0~10%	"	"	48.1	0.58	4.2	55	23			
31					修正トベカ	加 熱 混 合	5				0%	"	"	48.1	1.3	4.6	62	21.75			
32					修正トベカ	加 熱 混 合	5				"	"	"	48.1	0.54	3.7	71	22.3			
33					修正トベカ	加 熱 混 合	5				"	"	"	48.1	0.35	5.7	95	21.5			
34					修正トベカ	加 熱 混 合	4				"	"	"	48.1	0.18	5.7	58	33.15			
35	(60~80) 粗粒底アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ式	加 熱 混 合	4		5%以下	5%以下	"	全くない					52	22.35			
36	(80~100) 粗粒底アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ式	加 熱 混 合	4		"	"	"	"	良				65	22.75			
37	(80~100) 粗粒底アスコン	加 熱 混 合	12	As 5.5%	(80~100) トベカ式	加 熱 混 合	3		"	"	"	"	"				63	29.6			
38	(60~80) 粗粒底アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ式	加 熱 混 合	5		"	"	"	"	"				48	26.45			
39					密粒底アスコン	加 熱 混 合	5		"	"	"	少ない	"				65	21			
40					(80~100) 密粒底アスコン	加 熱 混 合			"	"	"	全くない	"				100	29			

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
						合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自然 含水比	液 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
41	秋 田	44.8	2	6.5	680	推定 1,459	推定 263	B	66	14	SP	切込砕石		35		砂利:砂 砂利:砂	嚙着安定処理 嚙着安定処理	10 10	As As 3.5% 4.0%
42	山 形	46.7~47.1	2	7.5	2,380	5,520	1,175	O	9	—	SP	切込砕石		55		(80~100) 砕石(最大粒径30mm)	嚙着安定処理	10	As 4 %
43	"	47.5~8	2	7.5	792	5,520	1,175	O	9	—	SP	切込砕石		35		(80~100) 砕石(最大粒径30mm)	嚙着安定処理	10	As 4 %
44	"	47.5~8	2	7.5	1,220	5,520	1,175	O	9	—	SP	切込砕石		55		(80~100) 砕石(最大粒径30mm)	嚙着安定処理	10	As 4 %
45	"	47.4~8	2	7.5	2,267	3,060	925	B	9	—	SP	切込砕石	—	55		(80~100) 砕石(最大粒径30mm)	嚙着安定処理	10	As 4 %
46	"	47.4~8	2	7.5	435	3,060	925	B	9	—	SP	切込砕石	—	35		(80~100) 砕石(最大粒径30mm)	嚙着安定処理	10	As 4 %
47	"	46.11	2	9.0	1,720	4,646	1,390	O	65.6	—	OH	切込砕石	砕上混合	35		砕 石	嚙着安定処理	10	As 4 %
48	福 島	路盤40.9 舗装41.9	2	19.0	300	14,100	2,800	O	34	2	OL	切込砂利 (80mm以下)	—	90		砂 利 砂、利用度 F・石灰	粒調整	20	—
49	"	41.7	2	7.5	549	5,086	784	B	—	—	—	切込砕石	—	30		切込砕石	嚙着安定処理	10	As 4.5%
50	"	44.7	2	8.5	290	394	153	A	70	2	Pt	遮断層:砂 切込砕石	—	15 30		粒調整 アスファルト安定処理	—	20 12	As 4.5%
51	"	41.9	2	6.5	540	807	192	A	72	2.1	Pt	遮断層:砂 切込砂利	—	28 20		砕 石 , 砂	砂詰マカダム	10	—
52	"	44.10	2	12	60	1,482	185	A	42.82~ 119.91	—	MH	砂 砂切込砂利	置換工 サンドエクシジョン	100 30 40		粒 調 砕 石	—	6	—
53	"	46.12	2	6.5	170	1,331	153	A	170	1.5	Pt	砂切込砕石	路床置換	200 20		粒 調 砕 石	—	10	—
54	"	47.9	2	16	520	2,110	932	O	80	1.6	SM・OH	遮断層:砂 切込砕石	—	30 65		(80~100) アスファルト安定処理	加 熱 混 合	10	As 4.5%
55	"	44.9	2	5.5	256	949	144	A	45	1.1	SM-SO	遮断層:砂 切込砕石	—	30 45		粒 調 砕 石	—	15	—
56	"	47.9	2	5.5	200	推定 242	推定 72	A	22.2	2	SM	遮断層:砂 切込砂利	—	20 50		粒 調 砕 石	—	10	—
57	"	44.10	2	5.5	200	467	116	A	32	1.2	OL	遮断層:砂 切込砂利	—	15 45		粒 調 砕 石	—	15	—
58	"	46.9	2	5.5	260	推定 667	推定 112	A	31	2	SM	遮断層:砂	—			粒 調 砕 石	—	10	—
59	"	45.9	2	5.5	200	推定 1,207	推定 144	A	38	2	OH	遮断層:川砂 切込砕石	—	15 40		粒 調 砕 石	—	15	—
60	"	46.12	2	6.5	317	推定 1,331	推定 153	A	52.99	1.8	Pt~OH	砂 砂切込砕石	路床置換 サンドマット	200 50 38		(80~100) アスファルト安定処理	加 熱 混 合	12	As 4.5%

No.	中 間 層 基 層				表 層				現 況										輸 荷 重	舗 装 合 計 厚	T.A
	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考	ひ び 割 れ 事	シ ー ル コ ー ト 率	ポ ー ト ホ ー ル パ ッチ ング 率	泥 動	排水の良 否	た わ み 量							
														繰 越 年 月	た わ み 量						
41	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 6 %	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 9 %	5 %以下	5 %以下	0 %	全くない	良				65	34.8			
42	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 9 %	〃	〃	〃	多い	〃				75	29.5			
43	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	—	—	—	—	〃	〃	〃	全くない	〃				55	24			
44	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	—	—	—	—	〃	〃	〃	〃	〃				75	29.5			
45	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	—	—	—	—	〃	〃	〃	全くない	〃	—	—	—	75	29.5			
46	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	—	—	—	—	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	55	24.0			
47	砕 石	加 熱 混 合	6	As 5 %	砕 石	加 熱 混 合	4	As 9 %	5~20%	〃	0~10%	少ない	〃	—	—	—	55	24.75			
48	粗粒度アスコン (80~100) ストレートアスファルト	加 熱 混 合	8	As 6 %	修正トベカ (80~100) ストレートアスファルト	加 熱 混 合	4	As 8 %	5 %以下	〃	〃	全くない	否	—	—	—	122	42.0			
49	(80~100) ストレートアスファルト 粗粒式アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	修正トベカ トベカ	加 熱 混 合	3 4	As 8 % As 8.5%	〃	0 %	0 %	少ない	良	—	—	—	50	27.0			
50	—	—	—	—	(80~100) 密粒度型アスコン	加 熱 混 合	5	As 6.2%	〃	5 %以下	0~10%	〃	〃	48.1	0.31	5.0	67	29.1			
51	(80~100) 粗粒度型アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	(80~100) 密粒度型アスコン	加 熱 混 合	5	As 6.2%	〃	〃	0 %	全くない	〃	48.1	0.88	5.0	40	17.5			
52	(80~100) 粗粒度型アスコン	加 熱 混 合	5	As 6.0%	二層式アスコン	加 熱 混 合	6.5	As 6.5%	〃	〃	0~10%	〃	〃	—	—	—	56	22.1			
53	—	—	—	—	コンクリート	P O ロ ッ ド	15	—	〃	〃	0 %	〃	〃	47.1	0.21	7.3	45	—			
54	(80~100) 粗粒度型アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	5	As 7.5%	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	55	26.75			
55	—	—	—	—	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	5	As 8.0%	〃	〃	〃	〃	〃	48.1	0.36	2.411	65	21.5			
56	—	—	—	—	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	(6) 5	As 7.5%	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	66	21			
57	—	—	—	—	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	5	As 8.0%	〃	〃	〃	〃	〃	48.1	1.02	5.0	65	21.5			
58	—	—	—	—	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	(6) 5	As 7.5%	〃	〃	〃	〃	〃	—	—	—	65	21.0			
59	—	—	—	—	(80~120) 修正トベカ	加 熱 混 合	(6) 5	As 7.5%	〃	〃	〃	〃	〃	48.1	0.26	5.0	60	20.25			
60	—	—	—	—	(80~100) 密粒度型アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	〃	〃	〃	47.2	0.15	4.7	55	24.1			

No	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量		路床土			下層路盤				上層路盤				
						合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
61	福島	41.1	2	7.5	145	推定 6,878	1,046	O	25.0	1.4	推定 OH	通断層：砂 切込砕石	—	20 30		砕石	粒度調整	10	—
62	〃	44.9	2	5.5	160	1,535	216	B	25.1	2	MH	通断層：砂 切込砕石	—	15 30		粒調砕石 アスファルト安定処理	加熱混合	20 12	As 4.5%
63	新潟	46.9	2	6.0	1,048	2,379	208	B	—	2.1	SW	クラッシャーラン	—	20		瀝青安定処理	加熱混合	5	As 4%
64	〃	47.9	2	9	300	1,696	253	B	—	2.1	GO	切込砕石	粒度調整	20		瀝青安定処理	加熱混合	5	—
65	〃	46.8	2	5.5	590	1,560	135	A	—	0.9	GP	切込砕石	マカダム	32		アスファルト安定処理	瀝青安定処理	7	As 4%
66	〃	45.8	2	5.5	620	推定 852	推定 103	A	—	1.7	SW	切込砕石	マカダム	15		切込砕石	マカダム	6	—
67	〃	47.7	2	9	941.5	2,126	420	B	—	0.55	GO	切込砕石	粒度調整	24		瀝青安定処理	加熱混合	6	—
68	〃	44.7	2	6	672.5	2,126	420	B	—	0	SO	砂 クラッシャーラン シタート 切込砕石		20 10 15 10		瀝青安定処理	加熱混合	5	As 4%
69	〃	49	2	5.5	280	990	229	B	30.2	1.6	OH	砂利 切込砕石	在来砂利層を転用	20 60		瀝青安定処理	加熱混合	6	As 4%
70	〃	46.9	2	6	158.8	665	242	B	—	0.7	SW	クラッシャーラン (φ40mm)	—	25		粒度調整	—	7	—
71	〃	47.6	2	5.5	310	推定 2,780	推定 540	B	23.4	2.3	OL	切込砕石	—	60		瀝青安定処理	加熱混合	10	As 4%
72	〃	47.11	2	5.5	170	推定 790	推定 120	A	43.0	2.2	OL	切込砕石	—	30		切込砕石	粒度調整	7	—
73	〃	45.10	2	7	3,047	5,025	1,223	O	59.5	—	MH	切込砕石	—	20		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	20 10	As 4% (ストラス60~80)
74	〃	46.10	2	7	1,977	5,025	1,223	O	72.8	—	OH	切込砕石	—	20		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	20 10	As 5.6% (ストラス60~80)
75	〃	47.10	2	7	1,660	推定 3,140	推定 610	O	48.4	—	OL	切込砕石	—	20		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	15 10	As 4% (ストラス80~100)
76	〃	45.10	2	7	1,386	推定 5,420	推定 960	O	49.5 ~58.6	—	OH	切込砕石	—	20		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	15 10	As 4% (ストラス80~100)
77	〃	45.10	2	7	1,993	推定 5,420	推定 960	O	68.8 ~76.7	—	MH	切込砕石	—	20		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	10 10	As 4% (ストラス80~100)
78	〃	45.7~11	2	7	2,510	9,240	2,320	O	199 ~37.4	1	Pt	切込砕石	—	15		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	15 12	As 3.5% (ストラス80~100)
79	〃	45.7~11	2	7	2,808	9,240	2,320	O	342 ~81.2	1	Pt	切込砕石	—	15		切込砕石 砕石	粒度調整 アスファルト安定処理	15 12	As 3.5% (ストラス80~100)
80	群馬	47.3	2	6.5	100	7,170	1,510	O	51.2 ~10.5	0.3	OL SL	切込砕石 40~0	—	10		粒調砕石(60~80) アスファルト安定処理	粒度調整 加熱混合	10 10	

№	中 間 層 基 礎				表 層				現 況							給電電 合 計 厚	補 装 合 計 厚	T A
	材 料	工 法	厚 寸	備 考	材 料	工 法	厚 寸	備 考	ひ び われ率	シー ル コート率	ポ ー ット ホ ー ル パン チ ン グ率	流 動	排水の 良 否	たわみ量				
														最近年月	たわみ量			
61	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6.0%	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6.5%	5~20%	5%以下	0~10%	少ない	良	48.2	0.63	4.7	50	21.
62	-	-	-	-	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	5	As 8.0%	5%以下	"	0%	"	"	48.1	0.292	5	67	29.1
63	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5%	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6%	"	"	"	少ない	"	-	-	-	35	19
64	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	-	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	5		"	"	"	全くない	"	-	-	-	34	18
65	-	-	-	-	(80~100) 修正トベカ	加 熱 混 合	5	As 7.5%	"	"	"	"	"	-	-	-	43	17.6
66	-	-	-	-	密粒度アスコン	加 熱 混 合	3.5	As 5.6%	"	"	"	"	"	-	-	-	24.5	20
67	-	-	-	-	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5		"	"	"	"	"	-	-	-	45	17.5
68	-	-	-	-	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6%	"	"	"	"	"	-	-	-	65	-
69	-	-	-	-	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6%	"	"	"	"	"	-	-	-	91	29.8
70	密粒度アスコン	-	-	-	-	-	-	-	"	"	"	少ない	"	-	-	-	37	13.7
71	-	-	-	-	修正トベカ	加 熱 混 合	5	As 7.5%	"	"	"	全くない	"	-	-	-	74	27
72	-	-	-	-	修正トベカ	加 熱 混 合	6	As 7.5%	"	"	"	"	"	-	-	-	42	14.95
73	(60~80) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.6%	(60~80) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.2%	"	"	"	"	-	-	-	-	60	30
74	(60~80) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.6%	(60~80) トベカ	-	-	As 8.2%	"	"	"	"	-	47.12	0.33	5	60	30
75	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.1%	"	"	"	"	-	-	-	-	55	28.25
76	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.1%	"	"	"	"	-	47.11	0.27	5	55	28.25
77	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.1%	"	"	"	"	良	-	-	-	50	26.5
78	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.2%	"	"	"	少ない	-	-	-	-	51	27.6
79	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5%	(80~100) トベカ	加 熱 混 合	4	As 8.2%	"	"	"	"	-	-	-	-	51	27.6
80	(60~80) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5%	(60~80) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6%	"	"	"	全くない	-	-	-	-	40	24.

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
							合計交通量	大型車交通量	交通区分	自然含水率	設計CBR	記号	材料	工法	厚さ	備考	材料	工法	厚さ	備考
81	群馬	47.3	4	15	100	11,325	2,320	D	375	0.3	OM	切込砕石 40~0	-	-	-	粒調砕石30~0 アスファルト安定処理	粒度調整 30~0 アスファルト安定処理	25 25	A# 4%	
82	"	47.11	2	6.6	1,496	863	75	A	69.3	1.5	MH	切込砕石	マカダム	-	-	乳剤処理	浸透式	25	-	
83	"	47.9	2	9	413	992	114	A	400	2.0	MH	切込砕石 セメント安定処理	マカダム 路上混合	-	-	粒調砕石	粒度調整	15	-	
84	"	46.10~12	2	7	460	-	-	-	424	2.0	ML	切込砕石(40~0) 切込砕石(30~0)	セメント安定処理	-	-	切込砕石(30~0)	粒度調整	15	-	
85	"	47.1	2	6.5	847	8,371	1,790	C	78.4	1.5	MH	切込砕石	-	-	-	セメント安定処理 遷移安定処理	20 20	A# 4% A# 4.5%		
86	"	46.1	2	6.0	450	1,820	420	B	34.7	2.0	OL	砕石	-	-	-	セメント 合成骨材	安定処理 粒度調整	15 15	-	
87	"	46.11	2	6.0	12,330	600	70	A	47.9	2.0	MH	切込砕石	-	-	-	セメント 合成骨材	安定処理 粒度調整	15 15	-	
88	"	45.10	2	7.0	206	900	250	B	57	1.5	MH	切込砕石	-	-	-	-	-	-	-	
89	"	46.11	2	6	1,270	1,270	156	A	58	2	MH	切込砕石(40~0)	-	-	-	合成骨材(30~0)	粒度調整	10	-	
90	"	45.12	2	10.5	355.5	1,472	97	A	34	2	MH	砂 砕石(40~0)	サンドベース	-	-	砕石(30~0)	ソイルセメント	15 15	A# 4%	
91	"	46.1	2	6.2	1,248.2	3,707	429	B	62	1.5	SM	砂 砕石(40~0)	サンドベース	-	-	砕石(30~0)	ソイルセメント 粒度調整 ストラス安定処理	15 15 10	4%	
92	栃木	43.11	2	5.5	100	1,407	230	B	110	1.6	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	25	-	
93	"	44.11	2	5.5	100	1,699	234	B	53	0.9	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	10	-	
94	"	44.12	1	4.5	100	1,699	234	B	55	1.6	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	25	-	
95	"	44.8	2	5.5	100	3,633	553	B	110	1.8	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	25	-	
96	"	46.3	2	5.5	100	1,109	200	B	48	1.8	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	25	-	
97	"	46.3	2	6.0	100	3,786	1,431	C	59	1.4	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0)砂 (80~100) 粗粒アスコン	粒度調整 加熱混合	10 5	A# 5.5%	
98	"	46.3	2	5.5	100	3,754	464	B	54	1.7	MH	切込砕石(50~0)	-	-	-	切込砕石(30~50) 砂	粒度調整	25	-	
99	"	43.12	2	5.5	100	4,325	495	B	75	1.5	MH	切込砂利	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	25	-	
100	"	44.10	2	5.5	100	4,325	495	B	120	1.4	MH	切込砕石(50~0)	-	-	-	切込砕石(30~0) 砂	粒度調整	25	-	

No	中間層基礎				表層				現況							輸電 合計厚	TA	
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シール コート率	ポットホール パッチング率	流 動	排水の 良 否	たわみ量 基準年月 たわみ量				
81	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	15	As 5 %	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5 %以下	5 %以下	0 %	全くない	良	—	—	—	95	55
82	(80~120) ソイルアスコン	加 熱 混 合	8	As 4.5%	(80~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	〃	—	〃	—	—	—	555	22.7
83	—	—	—	—	(80~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	〃	全くない	〃	—	—	—	45	21.0
84	—	—	—	—	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	0~10%	少ない	〃	—	—	—	45	—
85	(80~120) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	As 5.4%	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	—	—	—	—	—	—	—	—	61	40.5
86	—	—	—	—	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	—	As 6 %	5 %以下	—	0 %	全くない	—	—	—	—	—	—
87	—	—	—	—	(100~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	—	〃	〃	良	—	—	—	45	21
88	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6.3%	〃	5 %以下	〃	〃	〃	—	—	—	60	22
89	—	—	—	—	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5 %以下	5 %以下	〃	〃	〃	—	—	—	62	21
90	—	—	—	—	(80~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	—	—	〃	全くない	〃	—	—	—	45	21
91	—	—	—	—	(80~120) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5 %以下	5 %以下	〃	少ない	〃	—	—	—	55	29
92	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	〃	〃	〃	48.2	0.9	5.0	60	21.3
93	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	〃	全くない	〃	48.2	0.9	5.0	68	21.8
94	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5~20%	〃	〃	〃	〃	48.2	0.8	5.0	90	21.3
95	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5 %以下	〃	〃	〃	否	48.2	1.4	5.4	55	20.5
96	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5~20%	〃	〃	多い	良	48.2	1.4	5.4	62	21.8
97	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5 %以下	〃	〃	〃	〃	48.2	0.51	4.0	70	19.75
98	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	5~20%	〃	〃	少ない	否	48.2	1.4	5	60	21.3
99	—	—	—	—	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	〃	〃	0~10%	多い	良	48.2	1.4	5.4	60	21.3
100	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6 %	20~50%	〃	0 %	〃	否	48.2	1.9	5.4	60	21.3

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
						合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
101		46.3	2	5.5	100	4325	495	B	83	1.4	MH	切込砕石	—	30	—	切込砕石(30~0)	粒度調整	25	—
102	茨城	45.11	〃	6.5	603	推定 1487	推定 167	A	85	1.0	MH	砂 切込砕石(60~0)	—	5 25	—	砕石(30~0)	〃	10	—
103	〃	46.11	〃	7.0	683	推定 1550	推定 134	A	66.3	1.2	—	砂 切込砕石(40~0)	—	5 25	—	砕石(30~0)	〃	〃	—
104	〃	45.10	〃	7.5~6.5	660	推定 1410	推定 148	A	95.3	1.4 ~0.8	MH	砂 切込砕石(60~0)	—	5 20	—	砕石(30~0)	〃	〃	—
105	〃	47.2	〃	7.5	366	推定 570	推定 78	A	23.84	1.0	(SM) 砂質ローム	切込砕石(60~0) 切込砕石(40~0)	—	15 10	—	砕石(30~0)	〃	〃	—
106	〃	46.11 ~47.2	〃	(7.5) 6.0	600	568	67	A	—	1.0	—	砂 切込砕石(40~0)	—	60 25	—	粒度調整砕石	〃	〃	—
107	〃	47.11	〃	6.5	339	推定 1170	推定 157	B	37	2	(OH) 関東ローム	切込砕石(40~0)	—	25	—	粒度調整材	〃	〃	—
108	〃	47.12	〃	7.5	807	推定 3115	推定 968	C	91.9	0.6	CL	切込砕石(C~40)	—	40	—	粒調材(M~30)	〃	〃	—
109	〃	47.8	〃	10	820	推定 1180	推定 130	A	88.4	0.5 ~1.5	—	砂 切込砕石(40~0)	—	5 20	—	砕石(30~0)	〃	〃	—
110	〃	46.12	〃	7.5	443	推定 850	推定 140	A	96.3	1.5	MH	砕 切込砕石(40~0)	—	5 20	—	砕石(30~0)	〃	〃	—
111	〃	47.2	〃	8.8	338	推定 1256	推定 472	B	86.9	1.3	(OH) ローム	砂 切込砕石(40~0)	—	15 20	—	粒度調整材	〃	〃	—
112	〃	47.3	〃	(10.0) 6.0	740	推定 810	推定 270	B	65	0.6	OL粘土	〃	—	15 20	—	〃	〃	〃	—
113	〃	45.1	〃	7.5	1416	推定 1456	推定 266	B	—	1	OL シルト質 凝結土	鉄滓(カラミ) 切込砕石(60~0)	—	45 20	—	砕石(30~0)	〃	〃	—
114	〃	45.10	〃	〃	1938	〃	〃	B	—	0.5	〃	鉄滓(カラミ) 切込砕石(40~0)	—	5 20	—	粒度調整材	〃	〃	—
115	〃	44.12	〃	〃	10635	推定 1792	推定 755	B	119.41	—	OL シルト質 ローム	切込砕石(60~0) 〃(30~0)	—	15 25	—	(80~100) 隠骨材	加熱混合	15	As 4%
116	〃	43.11	〃	8.0	397	推定 1814	推定 786	B	—	0.8	—	砂 玉石砕石(60~0)	—	15 20	—	砕石(30~0)	粒度調整	10	—
117	〃	46.2	〃	7.0	1309	推定 3639	推定 1263	C	—	0.3	—	玉石砕石(60~0)	—	15	—	セメント(P.C)	セメント安定処理	15	—
118	〃	45.11	〃	8.0	1560	推定 1539	推定 239	B	—	0.5	—	砂 玉石砕石(60~0) 切込砕石(30~0)	—	15 10 10	—	砕石(30~0)	粒度調整	10	—
119	〃	44.6	〃	7.6	6848	推定 1814	推定 786	B	—	0.8 ~1.4	—	玉石砕石(60~0)	—	20	—	砕石(30~0) 隠骨材(80~100)	〃安定処理	10 10	As 4%
120	埼玉	47.12	〃	6.75	200	4679	1041	C	32.1	0.7	-CH	切込砕石 コンクリート	中央ブランド混合	20 20	—	切込砕石	—	15	—

No.	中 間 層 基 層				表 層 層				現 況								輪荷重	鋼 鉄 合 計 厚	T A
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひびわれ率	シールコート率	ポットホールパッチング率	流動	排水の良否	たわみ量 規定年月 たわみ量					
101	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 6%	5~20%			少 ない		48.2	1.8	5.4	60	21.3	
102	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	〃	5~20%	〃	全くない	良	48.1	1.86	5	40	14.5	
103	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	5%以下	5%以下	〃	〃	〃	48.1	0.9	5	40	14.5	
104	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	48.1	0.9	5	40	14.5	
105	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	0%	0%	〃	〃	〃	48.1	0.2	5	40	14.75	
106	—	—	—	—	密粒式アスコン	〃	〃	〃	5%以下	5%以下	〃	〃	〃	48.1	0.3	5	(100) 40	14.75	
107	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	—	—	—	〃	〃	〃	—	—	—	40	14.75	
108	粗粒式アスコン	加 熱 混 合	10	As 4.8%	密粒式アスコン	〃	〃	As 6%	—	—	〃	—	〃	—	—	—	130	28.5	
109	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	0%	0%	〃	全くない	〃	—	—	—	40	14.5	
110	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	5%以下	5%以下	〃	〃	〃	—	—	—	40	14.5	
111	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 4.8%	密粒度アスコン	〃	〃	As 6.0%	〃	〃	0%	〃	否	48.1	1.8	6.5	55	21.5	
112	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0~10	〃	良	—	—	—	55	21.5	
113	—	—	—	—	(80~100) 密粒度アスコン	〃	〃	〃	〃	5~20	〃	少 ない	〃	48.1	2.8	5	80	—	
114	—	—	—	—	〃	〃	〃	〃	〃	5%以下	〃	全くない	〃	48.1	2.5	5	40	14.5	
115	—	—	—	—	〃	〃	〃	〃	20~50	20~50	0	少 ない	〃	47.9	沈下 1.8m	—	60	27	
116	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 4.8%	〃	〃	〃	〃	5%以下	5%以下	〃	全くない	〃	—	—	—	55	21.5	
117	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	20~50	20~50	0~10	多 い	〃	—	—	—	40	21.5	
118	〃	〃	〃	—	〃	〃	〃	—	5%以下	5%以下	0	全くない	〃	—	—	—	55	21.5	
119	—	—	—	—	〃	〃	〃	As 6%	〃	〃	〃	少 ない	〃	—	—	—	45	21.5	
120	(60~80) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	1.1	As 5.3%	(60~80) 修 正 ト ベ カ	〃	4	As 6.9%	〃	〃	〃	全くない	〃	—	—	—	70	—	

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	尺	延長	現在の交通量			路 床 土			上 層 路 盤				下 層 路 盤						
							合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ
121			4	13	105	9212	2362	D	2600	1.5	OH	切込砕石	-	25	-	粒 調 砕 石 アスファルト安定処理	-	5 10	-	As 4%			
122	"	44.3	"	15	100	16229	3324	D	データなし	データなし	-	砂 切込砕石	-	20 20	-	粒 調 砕 石 ソイルアスコン	粒 度 調 整 加 熱 混 合	20 10	-				
123	"	46.10	"	13	500	9711	2011	D	"	"	-	"	-	50 35	-	粒 調 砕 石	粒 度 調 整	30	-				
124	千葉	46.9	2	6	755	2116	190	B	105	2	CH	山 砂 クラッシュラン	処 理 山 砂 セメント安定処理	30 15	-	粒 調 砕 石	"	15	-				
125	"	46.3	"	"	1192	2985	-		107.99	1	CH	処理山砂	セメント安定処理	30	-	砕 石	"	"	-				
126	"	47.3	"	"	550	1236	131	A	236	1.7	SH	処理山砂 クラッシュラン (0~40)	"	21 10	-	ソイルセメント	セメント安定処理	"	-				
127	"	45.11	"	"	278	2391	224	B	126.8	0.8	CH	(山砂入替) 砕石 40~60	マ カ ダ ム	30 13	-	砕 石 0-20 加熱安定混合物	粒 度 調 整 加 熱 安 定 処 理	10 5	-	As 4%			
128	"	44.12	"	(6.5) 5.5	322	-	-		21.7	1.8	(SM) 砂質ローム	川 砂 切込砕石	-	35 12	-	粒 調 砕 石 クラッシュラン 川砂 アスファルト	粒 度 調 整 As 加熱安定処理	10 5	-	"			
129	"	46.2	"	(7.5) 6.0	526	-	-		27	0.5	MH 粘土質ローム	山 砂 切込砕石	-	50 10	-	粒 調 砕 石	粒 度 調 整	10	-				
130	"	47.3	"	6.0	11625	2391	224	B	103	1.7	CH	処理山砂 クラッシュラン (0~40)	セメント安定処理	21 10	-	ソイルセメント	セメント安定処理	15	-				
131	"	46.9	"	8.0	280	1460	501	B	54.6	1.1	OH	山 砂 切込砕石	マ カ ダ ム	50 19	-	粗粒アスコン	加 熱 混 合	5	-	As 5%			
132	"	43.11	"	6.0	384	推定 1762	推定 200	A	18.71	1	SM-SC	遮断川砂 川 砂 クラッシュラン	-	15 32 10	-	粒 調 砕 石 粗粒アスコン	"	6 5	-	As 5%(80~120)			
133	"	43.12	"	6.0	553	推定 2827	推定 306	B	36.73	0.7	SW-SM	遮断川砂 川 砂 クラッシュラン	-	15 58 10	-	(80~120) 粗粒アスコン	加 熱 混 合	5	-	As 5%			
134	"	45.1	"	"	676	"	"	B	34.77	0.8	SM-SC	クラッシュラン	-	10	-	"	"	"	-	"			
135	"	46.1	"	"	2176	推定 1200	推定 259	B	48.3	0.3	MH	山 砂 クラッシュラン	-	35 15	-	山 砂 50% クラッシュラン 50% セメント 4%	セメント安定処理	15	-				
136	"	43.12	"	5.5	180	474	46	A	30	1.78	CH	山 砂 クラッシュラン	粒 度 調 整	20 20	-	粒 調 砕 石 加熱As混合物	粒 度 調 整 加 熱 安 定 処 理	10 5	-	As 4%			
137	"	43.11	"	"	398	1634	193	A	42	0.56	CL	山 砂 切込砕石	-	25 10	-	粒 調 砕 石	粒 度 調 整	10	-				
138	"	44.3	"	"	640	544	61	A	39	2	CL	発生砂利 山 砂	-	3 50	-	"	"	"	-	15	-		
139	"	47.3	"	7.5	1480	4333	-		-	-	-	クラッシュラン (0~40)	-	25	-	" (0~30)	"	15	-				
140	"	45.1	"	5.5	700	4700	690	B	-	2	-	ソイルセメント 切込砕石	-	25 14	-	粒 調 砕 石	"	10	-				

No.	中 間 層				表 層				現 況										輸 荷 電	舗 装 合 計 厚	T A	
	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考	ひ び わ れ 率	シ ー ル コ ー ト 率	ポ ッ ト ホ ー ル パ ッ チ ン グ 率	汎 動	排 水 の 良 否	た わ み 量		mm	ton	cm				cm
														調査年月	たわみ量							
121	粗粒度アスコン	—	6		修正トベカ	—	4	As 7%	50以上		10~20	少ない			48.2	0.15	5	50	26			
122	#	加熱混合	#	#	—	—	—	—	20~50	—	20以上	#	#	—	—	—	76	30				
123	(60~100) ソイルアスコン 粗粒度アスコン	加熱アスファルト	15 6	—	(60~100) 修正トベカ	加熱アスファルト	4	As 6.8%	5以下	5以下	0	多い	否	48.2	1.5	5	25	51				
124	粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5%	密粒度アスコン	加熱混合	5	As 6%	#	#	#	全くない	良	—	—	—	—	—				
125	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	少ない	#	—	—	—	55	24.25				
126	#	#	#	#	#	#	#	#	—	—	—	全くない	#	—	—	—	56	26.0				
127	—	—	—	—	密粒度アスコン	—	#	#	5以下	5以下	0	少ない	#	—	—	—	63	27				
128	—	—	—	—	#	—	#	#	5~20	#	#	全くない	#	—	—	—	67	—				
129	粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5%	密粒度アスコン	加熱混合	#	#	5以下	#	#	#	#	—	—	—	—	—				
130	#	#	#	As 6%	#	#	#	#	#	#	#	少ない	#	—	—	—	56	26.0				
131	#	#	#	As 5%	#	#	#	#	—	—	—	全くない	#	—	—	—	84	197.5				
132	—	—	—	—	(80~120) #	#	#	#	5以下	5以下	0	#	#	—	—	—	58	21				
133	(80~120) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5%	(80~120) #	#	#	#	5~20	#	0~10	少ない	—	—	—	—	83	29.1				
134	—	—	—	—	#	#	#	#	5以下	#	0	全くない	—	—	—	—	20	125				
135	(80~120) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5%	#	#	#	#	#	#	#	#	良	—	—	—	75	29				
136	—	—	—	—	密粒度アスコン	#	#	#	#	50以上	#	少ない	#	—	—	—	60	21.5				
137	粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5%	#	#	#	#	#	5以下	#	全くない	#	—	—	—	55	21				
138	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	0~10	—	#	—	—	—	78	26				
139	#	#	10	#	#	#	#	#	#	#	0	少ない	否	—	—	—	(55) (60)	(26.5) (31.5)				
140	#	#	5	#	#	#	#	#	#	#	#	全くない	良	—	—	—	—	—				

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量			路 床 土			下 層 路 盤				上 層 路 盤			
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
141		44.1		6.0	279	4766	1685	C	39.7	2	CH	山砂 クラッシュラン		15 29	—			25	
142	東京	47.3	#	8	2100	5330	3250	D	55.0	0.63	OH(シット)	切込砕石	—	25	—	砕 アスファルト(K80-100)	粒 度 調 整 骨 安 定 処 理	30 15	As 4.0 2%
143	#	47.3	#	16	393	推定 5500	推定 1200	C	120	1	—	クラッシュラン砕石	粒 度 調 整	25	—	セメント処理混合物 粒 度 砕 石, アス ファルト処理混合物	セメント安定処理 粒 度 調 整 加 熱 混 合	15 20 15	(80% L.O.)
144	#	46.8	4	24	341.8	推定 2900	推定 300	B	130	1.5	—	# (C-40)	#	10	—	アスファルト処理混合物 粒 度 砕 石 (M-40) セメント処理混合物A型	加 熱 混 合 粒 度 調 整 セメント安定処理	15 20 15	As 3.6%
145	#	47.1	6	27-35	470	推定 9800	推定 1900	C	45	1	OH	#	#	20	—	粒 度 砕 石 セメント処理砕石	粒 度 調 整 セメント安定処理	10 30	—
145	#	47.3	4	(27.5) 5	230	推定 6000	推定 800	C	250	0.8	Pt	# (C-40)	#	44	—	セメント処理混合物 粒 度 砕 石, アス ファルト処理混合物	セメント安定処理 粒 度 調 整 加 熱 混 合	18 13 20	—
147	#	47.2-3	4	25	295	推定 10200	推定 2500	C	120	1.5	—	クラッシュラン(C- 40)セメント処理砕石	粒 度 調 整 セメント安定処理	24 18	—	(M-40) 粒 度 砕 石	粒 度 調 整	13	—
148	#	47.3	6	35	110	推定 23900	推定 2900	D	30	1	—	(C-40) クラッシュラン砕石	粒 度 調 整	44	—	セメント処理混合物 粒 度 砕 石 (M-40) アスファルト処理混合物	# 加 熱 混 合	18 13 13	As 3-5%
149	#	47.3	4	25	113	推定 9700	推定 1800	D	47	1.5	—	#	#	24	—	# セメント安定処理 粒 度 調 整 加 熱 混 合	18 13 20	—	
150	#	47.3	#	25	330	推定 16100	推定 1500	C	130	2	—	クラッシュラン砕石 セメント処理混合物	粒 度 調 整 セメント安定処理	16 18	—	粒 度 砕 石 アスファルト処理混合物	粒 度 調 整 加 熱 混 合	13 20	As 4% (3.5-4.5)
151	#	45.3	6	25	2740	推定 17200	推定 1800	C	76.2	1.5	MH, CH OH	クラッシュラン砕石 粒 度 砕 石	粒 度 調 整	15 14	—	セメント処理混合物 粒 度 調 整	セメント安定処理 粒 度 調 整	18 13	—
152	#	47.1	8	27	67.5	推定 #	1800	C	105.7	#	#	クラッシュラン砕石	#	24	—	セメント処理混合物 粒 度 砕 石 アスファルト処理混合物	セメント安定処理 粒 度 調 整 加 熱 混 合	18 13 20	As 3-5%
153	#	46.3	2	19	553	推定 6900	1100	C	130	1	—	クラッシュラン砕石 粒 度 砕 石	#	10 10	—	As 乳 剤 混 合 物	常 温 混 合	15 15 20	—
154	#	46.3	4	22	280	推定 9820	推定 3884	D	14.8	1.19	Pt	切込砕石 砂 (C-40)	切 返 し	40	—	M-30 As 安定処理	中央プラント混合 加 熱 混 合	20 30	As 4% (80% L.O.)
155	#	47.12	4	22	380	推定 9820	推定 3884	D	132.2	1	OH	#	切 返 し	40	—	#	#	20 30	#
156	#	46.12	#	#	300	推定 9820	推定 3884	D	146.7	1.59	#	山 切込砕石, 砂 (C-40)	#	#	—	#	#	#	#
157	#	47.7	2	6.5	320	推定 1504	推定 636	C	24	1-2	—	切込砕石 砂 (C-40)	切 返 し	20 35	—	M-30	中央プラント混合	10	—
158	#	45.2	6	30	800	推定 14366	推定 4890	D	—	1	—	切込砕石 砂 (C-40)	#	35	—	(80-100) As 安定処理	加 熱 混 合	#	As 4%
159	#	45.11	2	6	750	推定 616	推定 33	A	150	1	MH	セメント安定処理 切込砕石, 砂 (C-40)	中央プラント混合 切 返 し	20 30	—	#	#	#	#
160	#	45.9	#	7.6-9.2	360	推定 667	推定 207	B	140	1	OH	切込砕石 砂 (C-40)	路 上 混 合 (切 返 し)	10	—	#	#	20	#

No	中 間 層 基 層				表 層				現 況							輸 送 電 圧	鋪 設 合 計 厚	T A
	材 料	工 法	厚 寸	備 考	材 料	工 法	厚 寸	備 考	ひび われ 部	シール コート 部	ポットホール パッチング 部	振 動	排水の 良 否	た わ み 量				
														規定厚寸	たわみ量			
141									50以上		0~10	多 い		48.1	4	5	—	29
142	(80~100) 粗 粒 度 アスコン	"	"	As 5.21%	(80~100) 密 粒 度 アスコン	"	"	As 5.98%	5 以下	—	0	全くない	否	—	—	—	80	38.8
143	(80~100) "	"	"	—	(80~100) "	"	"	—	"	5以下	"	"	良	—	—	—	85	32.7
144	"	"	"	As 4.7%	"	"	"	As 5%	"	"	"	"	"	—	—	—	70	42
145	(60~80) "	"	"	As 4.9%	(60~80) "	"	"	As 5.8%	"	"	"	"	否	—	—	—	80	45
146	"	"	10	—	"	"	"	—	"	"	0~10	"	良	—	—	—	1100	56.5
147	アスファルト処理混合物 粗 粒 度 アスコン	"	20 10	As 4.0%	"	"	"	As 6.2%	"	"	0	少 ない	"	—	—	—	115	51
148	粗 粒 度 アスコン	"	18	—	"	"	4	—	"	"	"	全くない	"	—	—	—	110	57.85
149	"	"	10	—	"	"	5	—	"	"	"	"	"	—	—	—	90	51.45
150	"	"	"	As 5%(4.5~5.5)	"	"	"	As 6%(5.5~6.5)	5~20	"	0~10	"	"	—	—	—	82	—
151	As 乳 剂 混 合 物 粗 粒 度 アスコン	常 加 熱 混 合	20 10	As 3~5% As 4.5~5.5%	"	"	"	As 5.5~6.5%	5 以下	"	0	"	"	—	—	—	95	54.1
152	粗 粒 度 アスコン	加 熱 混 合	10	As 4.5~5.5%	"	"	"	"	"	"	"	"	"	—	—	—	90	51.45
153	(80~100) "	"	5	—	(80~100) "	"	"	—	"	"	"	少 ない	"	—	—	—	80	42.5
154	(80~100) "	"	15	As 5.3%	"	"	"	As 6.3%	"	"	"	"	"	—	—	—	110	61
155	(80~100) 粗 粒 度 アスコン	"	15	As 5.1%	(80~100) 密 粒 度 アスコン	"	"	As 5.9%	5 以下	"	"	全くない	"	—	—	—	110	61
156	"	"	"	As 5.35%	(80~100) "	加 熱 混 合	5	"	"	"	"	少 ない	"	—	—	—	"	61
157	"	"	10	As 5%	"	"	"	As 6.3%	"	"	"	全くない	良	—	—	—	80	35.75
158	"	"	"	As 5.3%	"	"	"	As 6.2%	"	"	0~10	多 い	否	—	—	—	60	35
159	—	—	—	—	"	"	"	As 6.3%	"	"	"	全くない	良	—	—	—	65	25.5
160	—	—	—	—	"	"	"	As 6.4%	"	"	"	"	"	—	—	—	35	23.5

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
							合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
161		44.11		6.5	1433		8024	1510	C	117.8	1	CH				—	M-30 (砂質碎石)	中央プラント混合	10	—
162	"	47.3	"	16	8551		推定 3798	推定 441	B	161	0.5	OH	" (#)	" ()	20	—	(80~100) As 安定処理	加 熱 混 合	"	As 4%
163	"	47.1	"	9.5	1030		推定 3202	推定 427	B	129.2	0.5	MH	C-40 セメント安定処理	路上混合(切返し) 加 熱 混 合	15 20	—	M-30 As 安定処理	中央プラント混合 加 熱 混 合	15 10	As 4.3%
164	"	46.7	"	7.5	330		推定 972	推定 495	B	78	1.5	OH	山 切込碎石・砂 (C-40)	路上混合(切返し)	15 40	—	(80~100) As 安定処理	加 熱 混 合	10	A As 4%
165	"	46.9	"	6	1450		1923	265	B	165	0.5	"	切込碎石 (C-40) ソイルセメント	路上混合(切返し) 中央プラント混合	15 20	—	M-30 As 安定処理	中央プラント混合 加 熱 混 合	15 10	As 4%(80~100)
166	"	47.3	突開 3	10.5	290		推定 1800	推定 380	B	82	"	SM	軟 岩 (0~40)	—	65	—	粒面調整(M-30) As 安定処理	"	15 15	As 4.3%(#)
167	"	44.9	2	6.5	234		推定 1300	推定 170	A	70	1.1	CH	軟 岩 切込碎石砂(C-40)	路上混合(切返し)	55 20	—	M-30	中央プラント混合	10	—
168	"	47.10	"	"	986.5		702	168	B	72	1~2	MH	軟 岩	—	100	—	As 安定処理	加 熱 混 合	15 10	As 4%(80~100)
169	"	47.7	"	6	305		646	62	A	60	1~2	"	山 切込碎石砂(C-40)	路上混合(切返し)	25 30	—	(80~100) As 安定処理	加 熱 混 合	5	As 4%
170	"	46.6	"	11	1000		17922	1462	C	83	0.5	GW	切込碎石・砂 (C-40)	切 返 し	10	—	(#)	中央プラント混合	15	"
171	"	45.9	"	5.5~8.5	160.52		823	148	A	165	1	推定 SM	山 切込碎石・砂 (C-40)	"	20 35	—	M-30 As 安定処理	加 熱 混 合	15 10	As 4%(80~100)
172	"	47.3	"	7	100		推定 2481	推定 348	B	131	0.5	OH	切込碎石 砂 (C-40)	"	30	—	"	"	10 10	" (#)
173	"	47.	"	6.5	440		1504	636	B	24	1~2	—	—	—	—	—	"	"	15 15	" (#)
174	山梨	47.9	"	6	760		1243	147	A	89.2	1.6	GC	切込砂利 (50~60)	—	30	—	粒面調整(30~60) 瀝青安定処理	—	20 12	As 4.5%
175	"	48.3	"	5.5	680		416	59	A	86.3	0.5	GC	" (#)	—	"	—	粒面調整 (30~60)	—	25	—
176	長野	47.11	"	7	685		1039	117	A	70	2	ML	切込碎石	マカダム	34	—	粒面調整 (80~100) ソイルアスコン	粒面調整 瀝青安定処理	10 5	As 4%
177	"	47.6	2	12	844.9		5250	676	C	60	2	OL	切込碎石	"	62	—	粒面調整	粒面調整	10	—
178	"	45.9	1	5	407		600	50	A	44.8	1.2	CH	振込碎石	"	41	—	"	"	"	—
179	"	46.8	2	6.5	200		395	70	A	52.3	1.5	SM	切込碎石	"	50	—	"	"	"	—
180	"	47.10	"	7	620		2578	460	B	52.5	1.5	OL	振込碎石 砂	マカダム	12 38	—	"	"	"	—

No	中間層				表層				現況							輸電 合計	輸電 合計	TA	
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シー ル コート率	ポットホール パッチング率	流 動	排水の 良 否	たわみ量					
														固定率月	たわみ量 mm				
161	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5.1%	(# #)	"	"	As 6.2%	"	"	"	少ない	"	"	—	—	—	35	17.25
162	—	—	—	—	(# #)	"	"	As 6.3%	"	"	0	"	"	—	—	—	35	18	
163	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5.2%	(# #)	"	"	"	"	"	"	全くない	"	—	—	—	90		
164	(# #)	—	"	"	(# #)	"	"	"	"	"	"	少ない	"	—	—	—	75	31	
165	(# #)	—	"	As 5.1%	(# #)	"	"	As 6.2%	"	"	"	全くない	"	—	—	—	70	—	
166	(# #)	—	"	As 5.6%	(# #)	"	"	As 6.4%	"	"	"	"	"	—	—	—	105	43.5	
167	(# #)	—	"	As 5.3%	(# #)	"	"	"	5~20	"	"	少ない	"	—	—	—	95	29.5	
168	—	—	—	—	(# #)	"	"	As 6.3%	5以下	"	"	全くない	"	—	—	—	30	17.5	
169	—	—	—	—	(# #)	"	"	"	"	"	"	"	"	—	—	—	—	—	
170	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5.2%	(# #)	"	"	As 6.1%	"	"	"	"	"	—	—	—	35	24.5	
171	—	—	—	—	(# #)	"	"	As 6.3%	"	"	"	"	"	—	—	—	85	31	
172	—	—	—	—	(# #)	"	"	As 6.4%	"	"	"	"	"	—	—	—	55	24	
173	—	—	—	—	(# #)	"	"	"	"	"	"	"	"	—	—	—	80	35.75	
174	—	—	—	—	(80~100) 修正トベカ	—	"	As 7%	—	—	—	—	—	—	—	—	67	29.1	
175	—	—	—	—	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	"	As 6.2%	—	—	—	—	—	—	—	—	60	21.3	
176	—	—	—	—	(80~100) 修正トベカ	"	"	As 7%	5以下	5以下	0	全くない	良	48.1	0.4	6.5	54	21	
177	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5.1%	(# #)	"	5	"	"	"	"	—	"	"	0.28	6.5	82	29	
178	—	—	—	—	(# #)	"	4	"	"	"	"	"	"	"	0.7	5.0	55	17.7	
179	—	—	—	—	(# #)	"	5	"	"	"	"	"	"	"	0.6	"	65	21	
180	—	—	—	—	(# #)	"	4	"	"	"	"	"	"	"	0.3	"	—	—	

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下 層 路 盤				上 層 路 盤			
							合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 CBR	記 号	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考
181	長野	46.9	1	4~7	678	535	49	A	49.7	1.4	MH	切込砕石	マカダム	41	—	—	粒調砕石	粒底調整	10	As 4多
182	"	46.12	2	7.5	135	876	84	A	50.2	0.7	OH	"	"	31	—	—	"	"	15	—
183	"	47.8	"	10.4	124.2	838	155	B	56.6	0.3	"	"	"	43	—	—	"	"	"	—
184	"	44.10	"	6	713	434	172	A	65	1.7	CH	切込砕石	"	—	—	—	"	"	10	—
185	"	47.10	"	8.5	1334	1177	197	B	51	1.7	CH	切込砕石	"	51	—	—	"	"	"	—
186	"	47.8	"	7	544.8	323	105	A	61	1.5	OH	"	"	36	—	—	"	"	"	—
187	静岡	44.11~3	"	7	1165	推定 11400	推定 1700	C	—	—	—	"	—	30	—	—	粒調砕石 安定処理(80~100)	粒底調整 標準安定処理	20 15	As 4多
188	"	44.1	"	7	206	推定 1188	推定 243	B	(前) 43.2	0.8 (前) 49.7 (後)	OH(前) GW-GO (後)	(0~40) クラッシュラン砕石	—	10	—	—	開粒成アスコン	加熱混合	4	As 4.5多
189	"	45.1	"	6	170	推定 481	推定 26	A	(前) 25.4	1.0 (前) 43 (後)	OL(前) GW-GC (後)	" (")	—	"	—	—	粒調砕石 (0~40)	粒底調整	15	—
190	"	45.2	"	5.5	360	推定 1221	推定 22	A	(前) 35.1	1.3 (前) 58.5 (後)	OL(前) GP-GM (後)	" (")	—	"	—	—	" (")	"	"	—
191	"	45.3	"	10	170	推定 6656	推定 1210	C	—	—	OH(前)	" (")	—	20	—	—	(60~80) 標準安定処理	加熱混合	8	As 4.5多
192	"	45.12	"	5.5	180	推定 362	推定 90	A	(前) 35.4	0.9 (前) 56.0 (後)	MH(前) GW-GM (後)	山砂利 (0~40)	—	"	—	—	(0~40) 粒調砕石	粒底調整	10	—
193	"	45.3	"	"	106.5	推定 865	推定 89	A	(前) 36.1	1.6 (前) 44.0 (後)	OL(前) SM(後)	" (")	—	"	—	—	" (")	"	"	—
194	"	46.2	"	"	253	推定 1988	推定 263	B	(前) 37.0	1.0 (前) 56.5 (後)	ML(前) GP-SM (後)	(0~40) クラッシュラン砕石	—	10	—	—	" (")	"	15	—
195	"	45.3	"	16	90	推定 3572	推定 527	B	38.1	0.3	CL	"	—	"	—	—	"	"	"	—
196	"	"	"	"	140	"	"	B	34.9	0.5	"	鉄筋コンクリート	—	15	—	—	"	"	10	—
197	"	46.12	"	6.5	270	推定 6423	推定 771	C	(前) 35.7	1.7 (前) 43.9 (後)	OH(前) SP-SM (後)	クラッシュラン (0~40)	—	10	—	—	(0~40) "	"	15	—
198	富山	47.8~12	"	7	1317	4080	1090	C	55	0.55	OH	(40cm以下) 切込砕石	—	17	—	—	切込砕石 砕	粒底調整 アスファルト安定処理	"	As 4.5多
199	"	45.5~11	"	"	2548	7160	2120	C	40	0.55	CL	切込砕石	—	20	—	—	"	"	15 12	"
200	石川	47.10	"	"	1220	6200	2100	D	82	—	OH	(40cm以下) "	—	"	—	—	" (60~80)	"	20 12	As 4多

No.	中間層				表層				現況										輸荷電 合計厚	T A	
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シール コート率	ポットホール パッチング率	混 動	排水の 良 否	たわみ量		mm	ton	cm			cm
														規定年月	たわみ量						
181	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5.1%	(80~100) "	加熱混合	4	As 7%	5以下	5以下	0	全くない	良	48.1	0.5	5.0	65	21			
182	—	—	—	—	(") "	"	5	"	"	"	"	"	"	"	0.7	5.5	51	18			
183	—	—	—	—	(") "	"	"	—	"	"	"	"	"	"	0.2	5.0	63	21			
184	—	—	—	—	(") "	"	4	As 7%	5~20	"	"	"	"	"	0.7	5.5	45	1525			
185	—	—	—	—	(") "	"	5	"	5以下	"	"	"	"	"	0.3	—	66	2125			
186	—	—	—	—	(") "	"	4	"	"	"	"	"	"	"	0.2	"	50	165			
187	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	10	As 5%	(") 密粒度アスコン	"	5	As 6%	"	"	"	"	"	—	—	—	80	415			
188	—	—	—	—	"	"	"	As 61%	"	"	"	少ない	"	—	—	—	19	205			
189	—	—	—	—	"	"	"	As 5.8%	5~20	"	"	全くない	"	—	—	—	30	1275			
190	—	—	—	—	"	"	"	"	5以下	"	"	少ない	"	—	—	—	"	"			
191	(60~80) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 5.3%	(60~80) 密粒度アスコン	"	"	As 6.2%	"	"	"	多い	"	—	—	—	38	23			
192	—	—	—	—	"	"	"	As 6.1%	"	"	"	全くない	"	—	—	—	35	125			
193	—	—	—	—	"	"	"	"	"	"	"	"	"	—	—	—	"	"			
194	—	—	—	—	"	"	"	As 6.3%	"	"	"	少ない	"	—	—	—	30	1275			
195	(60~80) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	As 4.8%	(60~80)	"	"	As 5.8%	"	"	"	"	否	45.3	1.4	5	25	1775			
196	(60~80) 密粒度アスコン (60~80) 粗粒度アスコン	"	5 5	As 4.0% As 4.8%	(") "	"	"	"	"	"	"	"	"	45.3	0.48	"	40	—			
197	粗粒度アスコン	"	5	As 5%	"	"	"	As 6%	"	"	"	"	"	—	—	—	35	1775			
198	"	"	6	"	修正トベカ	"	4	As 7%	"	"	"	全くない	—	47.12	0.31	5	57	315			
199	"	"	6	"	トベカ	"	"	As 8%	"	"	"	少ない	良	—	—	—	57	2985			
200	(80~100)粗粒度アスコン (80~100)密粒度アスコン	"	6 5	As 5.5% As 6.5%	—	"	—	—	"	"	"	全くない	"	—	—	—	63	326			

No	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量		路床土			下層路盤				上層路盤				
						合計交通量	大型車交通量	交通区分	自然含水比	設計CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
201	石川	47.9	2	7	1800	6200	2100	D	65	0.55	OH	(40mm以下) 切込砕石	—	20	—	切込砕石 砕石(60~80)	粒度調整 アスファルト安定処理	15 12	As 4%
202	"	46.11	"	"	2100	12500	2400	D	60.6	—	"	(")	—	"	—	" (80~100)	"	20 12	"
203	"	44.10	"	5.5	1200	推定 990	推定 416	B	—	1	—	切込砕石	—	52 20	—	砕石 As 安定処理	粒度調整 加熱混合	10 6	—
204	"	43.10	5.5	6.5	100	3110	439	B	29.5	1.2	OH	レキ混り 砂	—	49 11	—	粒調砕石	粒度調整	9	—
205	"	45.12	2	5.5	620	推定 280	推定 50	A	59.3	1.3	CL	切込砕石	—	49	—	As 安定処理	加熱混合	5	As 4%
206	"	42.8	"	"	100	1521	403	B	37.3	1.8	CL	"	グレーダー整正	24	—	粒調砕石	粒度調整	8	—
207	"	42.10	"	"	"	2191	825	B	—	2	OL	(50mm以下) "	—	53	—	(25mm以下) "	粒度調整	8	—
208	"	45.9	"	7.25	785	1487	290	B	—	0.7	(M,H) (粘土質 ローム)	"	—	50	—	粒調砕石	粒度調整	20	—
209	"	44.11	"	5.75	515	推定 1310	推定 164	A	39.1	2	—	切込砕石 山	—	50 20	—	砕石	"	12	—
210	岐阜	44.10	"	6.5	3276	(46) 5716	(46) 993	C	31.5	0.5	OL	(50~0) 切込砕石	—	11	—	粒調砕石(40~0) ソイルアスコン	粒度調整 As 安定処理	10 8	As 4%
211	"	46.11	"	6	942	(46) 1028	(46) 192	B	21.8	1.3	"	(")	—	"	—	" (")	"	"	"
212	"	47.10	"	"	4737	(46) "	(46) "	B	"	"	"	(")	—	"	—	" (")	"	"	"
213	"	46.11	"	"	500	(46) 1044	(46) 127	A	25	2	"	(")	—	16	—	切込砕石(40~0)	粒度調整	10	—
214	"	"	"	7	221	(46) 1228	(46) 265	B	10.1	0.3	OL	(")	—	11	—	ソイルアスコン 粒調砕石(40~0)	As 安定処理	8 10	As 4%
215	"	45.6~7	1	4.5	66.5	推定 639	推定 39	A	18	1.4	J	(")	—	45	—	切込砕石(30~0)	—	6	—
216	"	46.1	2	6.5	5623	(46) 1254	(46) 147	A	63.4	1.93	CH	(")	—	16	—	粒調砕石(40~0)	粒度調整	10	—
217	"	47.3	"	7	250	(46) 5563	(46) 646	C	30.6	1.9	"	(")	—	11	—	" (")	"	8	—
218	"	47.11	"	"	132	(46) 3437	(46) 747	C	27.4	1.9	MH	(")	—	10	—	" (") ソイルアスコン	As 安定処理	10 10	As 4%
219	"	45.2	"	6.5	180	(46) 2801	(46) 228	B	29.1	0.6	"	(")	—	11	—	" (")	"	10 8	"
200	"	46.2	"	6	260	(46) 976	(46) 78	A	30.3	0.9	OL	(")	—	16	—	粒調砕石(40~0)	粒度調整	10	—

No.	中 間 層 基 層				表 層				現 況										輸 荷 電	舗 装 合 計 厚	T A
	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考	ひ び 割 れ 率	シ ー ル コ ー ト 率	ポ ー ト ホ ー ル パ ー テ ン グ 率	振 動	排 水 の 良 否	た わ み 量							
			測定年月	たわみ係																	
201	(60-80)粗粒度アスコン (60-80)密粒度アスコン	加 熱 混 合	6 5	As 5.5% As 6.5%	ト ベ カ	加 熱 混 合	4	As 8%	5以下	5以下	0	全くない	—	47.12	0.57	5	58	29.2			
202	(80-100)粗粒度アスコン (80-100)修 正 ト ベ カ	"	5 5	As 5.5% As 7%	—	—	—	—	"	"	"	"	—	—	—	—	62	31.6			
203	—	—	—	—	修 正 ト ベ カ	加 熱 混 合	5	—	"	"	"	"	良	48.1	0.38	5	73	26.3			
204	—	—	—	—	"	"	"	As 7.5%	5~20	"	"	"	"	"	0.56	"	74	(旧要綱)			
205	—	—	—	—	"	"	"	As 7%	5以下	"	"	"	"	"	0.87	"	59	21.1			
206	—	—	—	—	"	"	"	As 7.5%	"	—	—	少ない	"	48.1	0.43	"	75	22.4			
207	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	As 5.5%	(80~100) "	"	4	"	20~50	5以下	0	全くない	"	—	—	—	70	(旧要綱)			
208	"	"	6	—	"	"	"	—	5以下	"	0~10	少ない	"	48.1	0.23	5	80	29.5			
209	—	—	—	—	(80~120) "	"	5	As 7.14%	"	"	0	全くない	"	"	0.73	"	—	—			
210	—	—	—	—	密粒度アスコン	"	"	"	"	"	"	"	"	"	0.3	"	34	17.65			
211	—	—	—	—	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	16.75			
212	—	—	—	—	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	17.65			
213	—	—	—	—	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	0.2	"	31	12.5			
214	—	—	—	—	"	"	"	As 6.1%	"	"	"	少ない	"	—	—	—	34	17.65			
215	—	—	—	—	"	"	40	As 6%	"	"	"	"	"	—	—	—	55	16.75			
216	—	—	—	—	"	"	5	As 6.2%	"	"	"	全くない	"	48.1	0.9	5.4	31	12.5			
217	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	7	As 5.1%	"	"	"	As 5.9%	"	"	"	"	"	—	—	—	31	17.55			
218	—	—	5	—	"	"	"	"	"	"	"	"	"	—	—	—	40	24			
219	—	—	—	—	"	"	"	"	"	"	0~10	"	"	—	—	—	34	17.55			
220	—	—	—	—	"	"	"	"	"	"	0	"	"	—	—	—	31	12.5			

No.	施工場所	施工年度	車線	市 員	延長	現在の交通量			路 床 土			F 層				上 層			
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考
221	岐 阜	47	2	5.5	480	(46) 868	(46) 110	A	39.8	0.7	ML	切込砕石 (50~0)	-	-	-	(40~30) 粒調砕石	粒 度 調 整	10	-
222	"	47	"	6.5	1260	推定 1452	推定 155	B	"	0.4	CL	" (")	-	-	-	(30~0) 切込砕石	-	17	-
223	"	43.11	4	1.3	-	(46) 14957	(46) 1419	C	42	0.1~1.1	SM-SC	" (")	-	-	-	ソイルアスコン	AS 安定処理	15	AS 4%
224	"	45.6	2	7.5	2000	(46) 4954	(46) 478	B	29	0.5	CL	" (")	-	-	-	粒調砕石 (40~0)	粒 度 調 整	8 10	"
225	"	45.9	"	7(8)	2702.5	推定 13922	推定 2881	D	-	1.0	-	"	-	-	-	粒 調 砕 石 (60~80) ソイルアスコン	粒 度 調 整 壓 密 安 定 処 理	10 10	AS 4%
226	"	"	"	8	2270	推定 8694	推定 1242	C	-	"	-	"	-	-	-	(")	"	"	"
227	"	45.12	"	7	1590	3410	394	B	-	"	-	"	-	-	-	(80~100)	"	15 10	"
228	"	46.11	"	"	1142	推定 3458	推定 607	B	-	"	-	"	-	-	-	(")	"	10 7	"
229	"	46.6	"	"	2636.3	2675	547	B	-	"	-	"	-	-	-	(")	"	13 7	"
230	"	46.7	"	"	2639	推定 2545	推定 669	B	-	1.0	-	"	-	-	-	(")	"	5 15	"
231	"	"	"	"	2460	推定 2415	推定 790	C	-	1.0	-	"	-	-	-	(80~100) ソイルアスコン	壓 密 安 定 処 理	10	AS 4.5%
232	"	46.6	"	"	2402.85	推定 3071	推定 496	B	-	"	-	"	-	-	-	粒 調 砕 石 (80~100) ソイルアスコン	粒 度 調 整 壓 密 安 定 処 理	13 7	AS 4%
233	愛 知	44.9	"	"	150	1260	550	B	18	0.5	SM	通断層：山砂 切込 鋸 砕 コンクリート版	-	20 10 20	-	砕 石 ソイルアスファルト	粒 度 調 整 加 熱 混 合	15 20	AS 4%
234	"	38.1	6	19.5	920	28695	11519	D	"	0.8	SC	切 込 砕 石	-	33	-	山 砂 利 クワッシャー	セメント安定処理	15	-
235	"	44.9	4	16	260	14477	7975	D	17.6	0.3	CL	(50~0) 切 込 鋸 砕	-	15	-	砕 石 (80~100) ソイルアスファルト	粒 度 調 整 加 熱 混 合	10 12	AS 4.5%
236	"	41.12	6	21	380	36080	11938	D	20	"	SM	切 込 砕 石	-	43	-	(80~100) ソイルアスファルト	加 熱 混 合	15	"
237	滋 賀	46.1	2	6	300	472	84	A	-	1.1	-	二級クワッシャー	切込砕石	35	-	粒調砕石 (M-30)	粒 度 調 整	10	-
238	"	45.10	"	(7) 6	1737	1148	94	A	-	2	-	通断層：山砂 二級クワッシャー 一級クワッシャー(C-40)	-	20 15 30	-	" (")	-	25	-
239	"	"	"	(7) 6	580	1945	194	B	39	2	-	砂利交り土	-	55	-	壓 密 安 定 処 理	加 熱 中 央 混 合	7	AS 4%
240	"	44.11	"	(7~7.5) 6	1158.5	962	38	A	-	"	-	"	-	40	-	粒 調 砕 石	中 央 プ ラ ン ト 混 合	17	-

No.	中 間 層 基 層				表 層				現 況							輸 荷 重 t	備 装 合 計 厚 cm	T A cm
	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考	ひ び われ 率 %	シ ー ル コ ー ト 率 %	ポ ッ ト ホ ー ル パ ッ チ ン グ 率 %	沈 動 mm	排水の 良 否	た わ み 量 測定年月 たわみ量				
221	-	-	-	-	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS 6 %	5以下	5以下	0	全くない	良	-	-	-	31	12.5
222	-	-	-	-	修 正 ト ペ カ	"	4	AS 7 %	"	"	"	"	"	47.8	3.31	7.4	49	15.25
223	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS 5.3 %	密粒度アスコン	"	5	AS 6 %	5~20	5~20	10~20	少 ない	"	-	-	-	-	-
224	-	-	-	-	"	"	"	"	5以下	5以下	0	全くない	"	-	-	-	34	17.65
225	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	10	AS 5.3 %	"	"	"	AS 6.2 %	"	"	0~10	少 ない	"	48.1	0.4	5	55	31.5
226	(60~80) "	"	"	"	(60~80) "	"	"	AS 5.9 %	"	"	10~20	全くない	"	48.1	0.18	"	"	"
227	(") "	"	"	AS 5.2 %	(") "	"	"	AS 6 %	"	"	0~10	"	"	48.1	0.404	"	60	33.25
228	-	-	-	-	(80~100) "	"	"	"	"	"	0	"	否	-	-	-	37	17.85
229	(80~100) "	加 熱 混 合	5	AS 5 %	(") "	"	"	AS 6.1 %	"	"	"	"	良	-	-	-	50	25.15
230	(") "	"	"	"	(") "	"	"	AS 6 %	"	"	"	"	"	-	-	-	"	28.75
231	(") "	"	"	AS 4.8 %	(") "	"	"	AS 5.8 %	"	"	"	"	"	-	-	-	50	25.5
232	(") "	"	"	AS 5.1 %	(") "	"	"	AS 6 %	"	"	"	"	"	-	-	-	"	25.15
233	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	"	AS 5 %	"	"	"	AS 5.9 %	"	"	"	"	"	48.1	0.09	5	-	-
234	(60~80) "	"	7	AS 5.3 %	(60~80) "	"	"	AS 5.8 %	"	"	"	少 ない	否	"	0.13	"	60	28.5
235	"	"	10	AS 5.5 %	"	"	"	AS 6 %	"	"	"	多 い	良	"	0.24	"	52	31.85
236	(60~80) "	"	7	AS 5 %	(60~80) "	"	"	AS 5.8 %	"	"	"	少 ない	"	"	0.27	"	70	34.75
237	"	ブラックベース	4	"	修 正 ト ペ カ	-	"	AS 7 %	"	"	0~10	全くない	"	-	-	-	-	-
238	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	"	密粒度アスコン	加 熱 混 合	"	"	"	"	0	"	"	-	-	-	(100) 80	29
239	-	-	-	-	"	加熱中央 混合	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	65	21.6
240	-	-	-	-	"	"	"	"	"	"	"	"	"	44.12	1.01	12.95	62	20.9

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
							合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
241	滋賀	46.3	2	6.5	800	1314	111	A	-	-	CH	山土砂	-	60	-	-	セメント安定処理	10	-	
242	"	46.9	"	5.5	365	550	300	B	データなし	-	データなし	砂 切込砕石	-	20 10	-	-	粗粒度アスコン	投度 -	5	-
243	"	46.1	"	6.5	617	1627	146	A	-	1.4~1.7	CH	山土砂	-	60	-	-	砕石	投度調整	15	-
244	"	44.10	"	(6.5) 5.5	565	1541	357	B	14.1	1.8	SM	クラッシュランC-30	切込砕石	30	-	-	粒調整M-40	"	20	-
245	"	45.8	"	(8) 6	2060	2048	104	A	27.4	2.1	ML	砕石ズリ 切込砕石	-	40 20	-	-	"	"	10	-
246	三重	44.3	"	5.0	9720	537	64	A	38.4	1.0	MH	-	切込砕石	60	K30=30	-	投度調整	15	K30=47	
247	"	45.1	"	5.5	818.5	1089	91	A	32.6	1.4	SC	-	切込砕石	60	K30=28	-	投度調整	15	K30=49	
248	"	45.1	"	5.5	1150.0	2461	560	B	32.4	2.0	SM-SC	-	切込砕石 在来砂利層	15 40	K30=48	-	-	-	-	-
249	"	44.1	"	"	573.7	1148	125	A	38.6	2.5	CL	-	切込砕石	40	K30=25	-	投度調整	15	K30=36	
250	"	44.12	"	"	2546.7	"	"	A	35.7	2.0	"	-	切込砕石 在来砂利層	32 15	K30=20	-	"	"	"	K30=34
251	"	44.3	"	"	978.1	"	"	A	27.8	1.8	"	-	切込砕石	60	K30=24	-	"	"	"	K30=36
252	"	45.3	"	"	1754.1	1483	175	A	22.7	2.0	"	-	"	36	K30=31	-	"	"	20	K30=46
253	"	44.12	"	"	1891.3	417	47	A	19.1	1.9	O.L	-	切込砂利	65	K30=42	-	AS 安定処理	5	AS = 4	
254	"	46.8	"	7.0	707.5	1897	357	B	27.6	2.1	C.L	切込砕石	切込砕石	"	K30=32	砕石	投度調整	10	K30=38	
255	"	46.3	"	5.5	125	4811	655	B	24.1	1.5	"	-	"	55	K30=28	-	AS 安定処理 投度調整	"	AS = 4 30 = 38	
256	"	43.2	11	5.0	2060	490	51	A	24.5	2.2	"	-	切込砕石 在来砂利層	10 50	K30=26	-	投度調整	"	K30=34	
257	"	"	2	5.5	962	3470	498	B	20.0	1.4	"	-	切込砂利	95	K30=30	-	"	"	"	K30=46
258	"	43.1	"	7.5	696.6	2292	102	A	28.7	2.6~1.6	"	切込砂利	-	65	K30=25	砕石	"	"	15.0 12.0	K30=35
259	和歌山	46.9	4.0 6.0	20.0 27.0	1700 1500	17117	1,026	C	79.8	0.7	C.H	切込砕石	切込砕石工法	20.0	-	-	切込砕石	標準安定処理 (加熱混合方式)	20.0 15.0	AS量4.5% 針入度60~100
260	"	46.3	4	25.0	780	推定 1800	推定 150	A	77.9	0.9	M.H	"	"	25.5	-	-	鑑 投度調整 切込砕石	(2R) 標準安定処理	15	AS=4.5% 針入度60~100

No.	中 間 層				表 層				現 況								輸 送 合 計 厚	T A	
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひびわれ率 %	シール コート率 %	ポットホール パッチング率 %	流 動	排水の 良 否	たわみ量		崎 荷 電			
														規定厚	たわみ量				
241	アスファルト合材	ブラックベース	10	AS 5%	修正トベカ	-	5	AS 7%	5 以下	5 以下	0	全くない	良	-	-	-	85	cm	32.5
242	-	-	-	-	"	-	"	-	"	"	"	"	良	-	データなし	-	40		17.5
243	-	-	-	-	修正トベカ	-	"	-	"	"	0	"	"	-	-	-	80		22.25
244	AS 安定 処地	-	10	AS 4%	"	-	"	"	"	"	0～10	少 ない	"	データなし	-	-	65		29.5
245	-	-	-	-	密粒度アスコン	-	"	-	"	50以上	0	全くない	"	-	-	-	75		21
246	-	-	-	-	-	密粒度アスコン	"	AS = 6	"	5%以下	"	"	"	-	-	-	80		22.25
247	-	-	-	-	-	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	80		25.25
248	-	粗粒度アスコン	5	AS 5	-	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	65		21.75
249	-	-	-	-	-	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	60		20.25
250	-	-	-	-	-	"	"	"	5～20	"	"	"	否	-	-	-	67		21.25
251	-	-	-	-	-	"	"	"	5 以下	"	"	"	良	-	-	-	80		25.25
252	-	-	-	-	-	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	-	61		21.0
253	-	-	-	-	-	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	75		25.0
254	砕 石	粗粒度アスコン	5	AS=5.15	砕 石	"	"	AS =	"	"	"	"	"	-	-	-	85		29.75
255	-	-	"	AS=5	-	"	"	AS = 6	"	"	"	"	"	-	-	-	85		35.25
256	-	-	-	-	-	"	"	"	5～20	"	"	少 ない	否	-	-	-	75		21.0
257	-	-	-	-	-	"	"	"	5 以下	"	"	全くない	良	-	-	-	110		27.5
258	-	-	-	-	砕 石	"	"	"	"	"	"	"	否	-	-	-	80		21.5
259	砕 石	粗粒度アスコン (加熱混合方式)	10.0	AS=5 針入度 6～100	"	(加熱混合方式)	"	AS = 6 針入度 6～100	"	"	"	"	良	-	-	-	62		34.85
260	"	"	15.0	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	80		45.3

No.	施工場所	施工年度	車線	市員	延長	現在の交通量		交通区分	路床土		記号	F 層 路 盤				上 層 路 盤			
						合計 交通量	大型車 交通量		自然 含水比	設計 CBR		材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
261	和歌山	46.3	4	12.5 13.5	280	推定 15000	推定 11000	D	29.3	0.5	SM-SC	鉱 滓	粒 度 調 整	(4尺) 55	max 30m/m	AS安定処理	加 熱 混 合	(2R) 15	AS=3.5, 安定度 350 kg以上 針入度 80~100
262	"	46.2	"	12.7	600	推定 9000	推定 7000	D	29.2	2.0	S.C	"	"	"	"	"	"	"	"
263	京 都	46.7	2	5.5	1700	上り3187 下り3789	下り 871 下り1389	C	24.1	1.0	G.C	-	-	-	-	砕 石 安 定 処 理	粒 度 調 整 嚙付安定処理法	60 10	max40m/m AS=5.3, 針入 度 80~100
264	"	45.8	4	22	460	27000	930	C	不 明	-	-	粒 度 調 整 (クワッシャー)	粒 度 調 整	30	max 40	粗粒式80~100	加 熱 混 合 式	15	アスファルト 3.5 針入度 80~100
265	"	47.3	2	6.5	377	2234	229	B	16.9	2.0	S.C	切 込 砕 石	切込砕石路盤	30	しゝ断層厚15cm 修正CBR30以上	粗 粒 砕 石 AS安定処理(中央)	校度調整路盤 AS安定処理	20 12	修正CBR 80以上 安定度 350以上 針入度 80~100
266	"	46.10	"	7.10	133.5	5228	502	B	不 明	1.0	C.H	"	"	45	しゝ断層厚20cm 修正CBR30以上	校 調 砕 石	校度調整路盤	25	修正CBR 80以上
267	"	46.12	"	7.3	780	2181	307	B	28.9	1.0	C.L	切 込 砕 石	"	"	しゝ断層厚20cm	AS安定処理(現場) " (中央)	AS安定処理路盤	10 20	安定度 250以上 " 350以上
268	"	42.11	"	6.5	360.0	1815	175		21.6	2.0	"	"	"	30	修正CBR 30以上	校 調 砕 石	校度調整路盤	10	修正CBR=80以上
269	"	47.3	"	6.5	120	870	172	B	28.1	2.0	"	"	"	"	しゝ断層厚20cm 修正CBR 30以上	"	"	25	"
270	大 阪	47.12	4	25	1320	-	-	7	-	-	S.W	鉱 滓	粒 度 調 整	20	max 30m/m	アスファルト安定処理	加 熱 混 合	15	AS=4 針入度 60~120
271	"	46.10	"	"	1260	5400	410	B	5.8	-	SM, SC CW, GM	砕 石	2 級 砕 石 粒 度 調 整	20 30	"	AS 安全処理	"	15	AS=3.5 針入度 60~100
272	"	46.10	"	"	"	"	"	B	"	-	"	"	粒 度 調 整	30	"	"	"	"	"
273	"	45.3	8	40	-	推定 44487	推定 7,515	D	-	-	-	"	"	"	-	鉱 滓	粒 度 調 整 加 熱 混 合	15 6	AS=4.2
274	"	45.3	"	37	-	推定 28661	推定 7038	D	-	(山土改良 100cm)	-	鉱 滓	"	20	-	鉱 滓	粒 度 調 整	15	-
275	"	44.3	4	20	100	12733	2166	C	-	(但し路床 1m敷設)	-	"	"	"	-	"	"	"	-
276	"	42.2	"	"	"	16223	3424	-	-	(但し山土 の改良)	-	"	"	15	JISA 5001 最大粒径 30 mm	"	"	"	-
277	兵 庫	48.3	2	12	360	7260	630		19.9	1.3~0.6	S.C	校 調 砕 石	-	30	"	嚙付安定処理	加 熱 混 合	10	AS=35~4.0 針入度 80~100
278	"	47.6	"	7	300	4640	400	B	18.6	1.1	"	"	-	"	-	"	"	"	"
279	"	46.11	1	4.5	180	11000	4350	D	14~37	0.9~2.1	"	-	-	-	-	鉱さい25cm以下 AS 安定処理	粒 度 調 整 加 熱 混 合	55 15	max 25m/m 4.0%針入度80~100
280	"	47.12	"	4.7	800	13500	4100	D	23.8	1.1	S.M	-	-	-	70x0.25=17.5	"	"	"	"

№	中間層				表層				現況								輸電	舗装 合計厚	T.A
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率 %	シール コート率 %	ポットホール ペンダング率 %	洗 働	排水の 良 否	たわみ量					
														測定年月	たわみ量				
261	AS (粗粒)	加熱混合式	(2R) 10	AS=4.7	AS (密粒)	加熱混合	5	AS = 6	5以下	5以下	0	少ない	否	データなし	-	-	cm 85	cm 57.25	
262	"	"	10	"	AS (密粒)	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	"	"	
263	粗粒度80~100	"	5	AS=4 針入度80~100	修正トベカ 80~100	"	"	AS = 7.2 針入度80~100	"	(0%)	"	"	良	-	-	-	80	39	
264	粗粒度80~100	"	10	AS=4.5, 針入度80~100	密粒式80~100	"	"	AS = 7.2 針入度80~100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
265	-	-	-	-	修正トベカ	加熱混合式	"	AS = 6.2 針入度80~100	"	5以下	0	全くない	良	-	-	-	67	29.1	
266	-	-	-	-	密粒度 AS	"	"	安定度 (80~100) AS値6.2%	"	"	"	"	"	-	-	-	75	25.0	
267	粗粒度 AS	加熱混合式	5	針入度80~100 AS=5.2%	"	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	85	43.75	
268	"	"	"	針入度80~100 AS=5.0	フービット	"	"	針入度80~100 AS = 6.0	5~20	"	0~10	"	"	-	-	-	50	21.0	
269	-	-	-	-	密粒度 AS	"	"	安定度80~100 AS = 6	5以下	"	0	"	"	-	-	-	60	21.25	
270	粗粒度 AS	加熱混合	10	針入度80~100 針入度60~120	"	"	"	AS=5.7~6.2 針入度60~120	"	"	"	"	"	-	-	-	50	38	
271	"	"	10	(")	"	"	"	AS = 6 針入度60~120	"	"	"	"	"	-	-	-	80	42.5	
272	"	"	10	(")	"	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	60	37.5	
273	粗粒度アスコン	-	10	AS=5	密粒度アスコン	-	4	AS = 6	"	"	0~10	多い	"	-	-	-	-	-	
274	"	-	11	AS=5	"	-	4	6	"	5~20	"	全くない	"	-	-	-	50	34.25	
275	"	-	11	-	"	-	"	-	"	5以下	0	"	"	-	-	-	"	"	
276	"	-	11	-	"	-	"	-	5~20	"	0~10	"	否	-	-	-	-	-	
277	"	加熱混合式	10	AS=4.5~5.0	密粒式アスコン	加熱混合式	5	AS=5.7~6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	50	28.5	
278	"	"	5	"	"	"	"	"	5以下	5以下	0%	全くない	良	-	-	-	"	"	
279	粗粒度80~100	"	10	5.0	密粒度80~100	"	5cm 1層	5.7	5~20	-	10~20	多い	否	-	-	-	85	57.25	
280	"	"	"	5.1	"	"	"	5.9	"	-	-	-	"	47.8	17.8	5	"	"	

No.	施工場所	施工年度	車線	市員	延長	現在の交通量		交通区分	路床土			F 層 路 盤				上 層 路 盤			
						合 計 交通量	大 概 車 交通量		自 然 含水比	設 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
281	兵庫	43.12	2	(6.5) 5.5	150	1278	239	B	39.6	1.7	A-7-6	砕石(0-50)	粒度調整	70	70×0.25=17.5	砕 石	粒度調整	10	AS=6.1
282	"	44.10	"	2.0~9.0	1190	推定 1210	推定 206	B	-	2.4	-	クラッシャー	下層路盤工	50	-	粒 調 砕 石	"	15	-
283	"	46.11	"	6.0	520.0	推定 2800	推定 340	B	24	2.1	CH	山土良好 鉱さい	混合鉱さい	40 25	-	鉱 滓	"	10	-
284	"	46.12	"	(6.5) 5.5	300	1069	107	A	25.92	1.0	S.C	川 切込砕石	-	0 30.0	(15.0 15.0)	砕 石	"	"	修正CBR80以上 PI4以下
285	"	43.11	"	5.5 6.5	710.3	推定 1180	推定 130	A	-	2.0	C.L	砕 石	混合砕石	55	修正CBR20以上	"	"	"	修正CBR80以上
286	"	43.3	"	6.5	1422.5	推定 5210	推定 680	B	-	1.97	S.C	"	"	40	"	"	"	"	"
287	"	47.3	"	6.5	1050	2512	182	B	23.82	1.4	C.L	鉱 滓	混 滓 鉱 滓	35	修正CBR30以上	鉱 滓	粒度調整工法	"	修正CBR80以上
288	"	43.12	"	5.5	1437.0	3045	687	B	24.5	1.6	S.C	砂 礫	在来層使用	20	修正CBR30以上	ワイルドフロント 鉱 滓 加熱ガスフルート	セメント安全地盤 粒度調整工法 調査安定処理	15 15 7	一軸圧縮強さ30kg/cm ² 修正CBR80以上 安定度350kg以上
289	"	43.	"	"	1520.0	875	438	-	-	2.24	G.S	砕 石	混合砕石	50	"	砕 石	粒 調 砕 石	10	修正CBR80
290	"	47.3	"	6.0~ 6.5	1620.0	推定 1845	推定 304	B	21.4	2.0	S.C	ス ラ グ	マカダム工法	40	0~50mm	ス ラ グ	粒度調整工法	"	0~30mm
291	"	44.12	"	6.5	480	推定 453	推定 3057	D	25.6	1.0	C.L	"	"	45	-	" 0~30	"	15	-
292	"	46.2	"	(5.5) 6.5	200	1462	215	B	31.81	0.61	C.H	川 切込砕石	-	15.0 30.0	(15.0 15.0)	砕 石	"	25.0	(15.0 10.0)
293	"	45.2	"	5.5	"	774	54	A	28.8	1.2	C.L	レ ン 断 層 切込砕石	砂 粒度調整	20. 15. 15.	0~50	鉱 滓	"	10	0~30
294	"	45.3	"	6.5	(160.0) 1515	643	75	A	19	"	"	鉱 滓	混合鉱滓	35	-	"	"	"	-
295	"	42.3	"	"	1496	588	134	A	24	0.9	"	砕 石	混合砕石	60	-	砕 石	"	"	-
296	"	44.	"	"	538	推定 600	推定 111	A	23.3	2.9	SM-SC	砂利交り良土	置換工法	35	-	粒 度 鉱 滓	"	15	-
297	"	45.12	1	5.5~ 6.0	707	12h2方向 推定 220	12h2方向 推定 350	B	-	1.0	S.C	鉱 滓	混合鉱滓	35	修正CBR20以上	鉱 滓	"	10	修正CBR80以上 PI4以上
298	"	47.3	"	5.5~ 6.5	2165.0	推定 870	推定 100	A	-	1.3	C.L	"	"	35	"	"	"	"	"
299	"	42.10	2	5.5	1170	S46.10 1412	S46.10 206	-	32.6	4.4	-	クラッシャー	マカダム	30	-	粒 調 砕 石	"	"	-
300	鳥取	43.3	4	24	700	1180.7	1009	B	-	-	-	切込砕石	"	35	-	砕 石 AS 安定処理	加熱混合	20 15	(10+10)2層仕上 (7.5+7.5) " AS=4 kg

No.	中 間 層 基 層				表 層				現 況								輸荷重	舗 装 合計厚	T.A
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シー ール コート率	ポットホール 発生率	泥 動	排水の 良 否	たわみ量 測定年月 たわみ値					
281	粗粒度アスコン	加熱混合式	5	5-4 5×10=5.0	密粒度アスコン	加熱混合式	5	6.2, 5×10=5.0	5%以下	5%以下	0~10%	少ない	良	48.1.	1.2	5	90	31	
282	加熱合材	粗粒度アスコン	4	AS=6.1	加熱合材	修正トベカ	3	AS=7.0	"	"	0%	全くない	"	"	0.31	4.8	70	22.75	
283	AS合材	加熱混合粗粒度 アスコン	10	AS=5.2	アスファルト合材	加熱混合密度 アスコン	5	AS=6.0	"	"	"	"	"	48.1.25	0.13	6.5	90	39.25	
284	粗粒度アスコン	加熱混合	9	ストリートアスファルト 針入度 60~80, 5.4% " " /ton	修正トベカ	加熱混合	"	ストリートアスファルト 針入度 60~80 7.0% / ton	"	"	"	"	"	48.1.26	0.66	5.0	54.0 (74.0)	25.0	
285	-	-	-	-	密粒度60~80	"	"	AS=6.1	"	"	"	少ない	"	47.1	0.6	3.75	70	22.25	
286	粗粒度80~100	加熱混合	5	AS=5.8	" 80~100	"	"	AS=5.8	"	"	"	全くない	"	1.27	0.473	4	60	23.5	
287	粗粒度アスコン	加熱混合アスファルト工 法	4	AS=4.5~6.5	密粒度アスコン	加熱AS工法	"	AS=5.0~7.0	"	"	"	"	"	48.2.3	0.14	"	54	26.75	
288	"	"	5	"	修正トベカ	"	"	"	"	"	"	少ない	"	"	0.20	"	-	-	
289	" (60~80)	加熱混合	"	AS=5.8	" (60~80)	加熱混合	"	AS=6.0	"	"	"	全くない	"	48.1.22	0.22	5	70	26.0	
290	粗粒度アスファルト コンクリート	"	"	AS=5.5 針入度80~100	密粒度アスファルト コンクリート	"	"	AS=6.1 針入度80~100	"	"	"	"	"	-	-	-	60	29.5	
291	"	"	"	"	"	"	"	AS=6.0	"	"	"	"	"	48.1.26	平均 0	5	70	34	
292	粗粒度アスコン	"	9	ストリートアスファルト 針入度 60~80, 5.4% / ton	修正トベカ	"	"	ストリートアスファルト 針入度 60~80 7.0% / 10 t	"	"	0~10%	少ない	"	"	0.80	"	70 (85)	31.25	
293	" (6~80) 粗 粒 度	"	4	0.055t/t当	" (60~80)	"	"	0.071t/t当	"	"	0%	全くない	"	"	1.21	"	64	25.7	
294	粗粒度アスコン	アスファルト加熱	"	AS=5.5	"	アスファルト加熱	"	AS=7.0	"	"	"	"	"	48.1.29	0.50	"	54	26.7	
295	"	"	5	"	"	"	"	"	0%	0%	-	"	"	48.1.16	0.40	"	80	28.5	
296	-	-	-	-	密粒度アスコン	加熱混合	"	AS=6.2%	5%以上	5%以下	0~10%	少ない	否	-	-	-	55	20.25	
297	60~80 粗 粒 度	加熱混合	4	AS=5.4 安定度 600以上	密粒度80~100	"	"	AS=6.2 安定度 600以上	5%以下	"	0%	全くない	良	47.1	0.08	3.75	54	26.75	
298	"	"	"	AS=4.98 安定度 950	"	"	"	AS=6.1 安定度 90.5	"	"	"	"	"	1.27	0.152	4	"	"	
299	-	-	-	-	修正トベカ	加熱ASコンクリート	"	-	20~50	20~50	0~10%	少ない	否	48.1.26	1.2	5	45	18	
300	粗 粒 度	加熱混合	6	AS=5.2	"	加熱混合	4	AS=7	5%以下	5%以下	0%	"	"	-	-	-	80	37.7	

No.	施工場所	施工年度	車線	巾 員	延長	現在の交通量			路 床 土			下 層 路 盤				上 層 路 盤			
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 CBR	記 号	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考
301	島 取	46.10	4	22	101.5	推定 6968	推定 696	B	35.27	-	C.L	切 込 砕 石	マ カ ダ ム	30	(15.15.2層)	粒 度 砕 石 AS安定処理	粒 度 調 整 工 法 加 熱 混 合	20 15	(10.10.2層)(7.5 7.5.2層)安定度413 AS=4.3%AS針入度 80~100
302	"	44.11	1	5.0 4.5 (6.0)~(5.5)	240	604	46	A	30.6~ 38.4	1.9	"	ク ラ ッ シ ー 砕 石 (50m/m以下)	在 米 砂 利 層 切 込 砕 石	10.0 25.0	-	ク ラ ッ シ ー 砕 石 (30m/m以下)	粒 度 調 整	20.0	-
303	"	47.3	"	5.0	320	696	30	A	29.7	0.5	P.t	荒 目 砂 切 込 砕 石 50m/m 以下	-	25 70.3層	ゲ ー タ ナ シ 修正 CBR 91.5)	切 込 砕 石 30m/m 以下、標準安定 処理 (80~100)	"	15 5	修正 CBR 83 AS安定処理、安定 度 557.9kg
304	岡 山	46.7	2	8.5	180	推定 470	推定 83	A	-	0.54	-	切 込 砕 石	-	15	-	砕 石	粒 度 調 整 工 法	10	-
305	"	47.3	8	24.75	315	推定 25422	推定 3886	D	-	2.1	-	"	-	30	-	AS安定処理 60~80	加 熱 混 合	30 20	- AS=4
306	島 根	46.8	4	2.2	310	推定 25422	推定 1150	C	85	2	O.L	砕 石 層 切 込 砕 石	- 60m/m以下	48 25	し。断層 (20cm)	粒 度 調 整 AS安定処理	"	25 12	-
307	"	44.11	2	6.5	440	2795	920	C	60	2.5	C.L	砕 石 コンクリート 粒 度 調 整	切 入 砕 石 粒 度 調 整	10 15 "	-	粒 度 調 整 A S 安 定	粒 度 調 整 加 熱 標準安定処理	5 6	40%
308	"	46.10	"	6.0	690	推定 987	推定 128	A	39.2	1.85	S.C	砕 石	岩 切 込 砕 石	60 20	修正 CBR 30 " 89	砕 石	粒 度 調 整	10	修正 CBR 97 一般強度 37~45 kg/cm ²
309	"	45.9	"	5.5	140	推定 216	推定 47	A	-	-	M~SC	砂 石	山 砂 粒 度 調 整	30 15	不 明	"	粒 度 調 整	15	修正 CBR 98
310	"	44.11	"	6.0	180	推定 439	推定 53	A	不明	-	C.L	砕 石	切 込 砕 石	45	-	"	粒 度 調 整	"	" 94
311	"	44.3	"	"	1000	推定 686	推定 176	A	27.4	"	S.C	"	"	40	不 明	"	"	10	" 83-5
312	"	45.11	"	5.5	320	推定 875	推定 61	A	-	1.46	C.H	砂 石	荒 砂 切 込 砕 石	25 15	"	開 粒 度 80~100	標準安定処理	8	AS=4 安定度 458kg
313	"	46.12	"	6.5	145	1692	338	B	-	1.8	O.L	砕 石	切 込 砕 石	30	修正 CBR 31.0	砕 石 開 粒 度 80~100	粒 度 調 整 砕 石 標準安定処理	15 10	修正 CBR 88.0 AS=4, 安定度 413kg
314	"	46.8	"	6.0	170	671	131	A	-	-	S.P~SM	"	"	20	不 明	砕 石	粒 度 調 整	15	修正 CBR 93
315	"	43.11	"	5.5	200	推定 490	推定 114	A	-	2	M.H	在 米 層 砂・砂 石	GP~GM 山 砂 切 込 砕 石	25 20 10	修正 CBR 25 " 54	"	粒 度 調 整 砕 石	"	" 97
316	広 島	45.12	"	8.5	100	推定 1324	推定 384	B	35.8	-	S.C	砕 石	切 込 砕 石	40	60m/m以下	AS安定処理	粒 度 調 整 加 熱 混 合	10 6	25 m/m以下 AS=4 安定度 350
317	"	46.3	"	"	240	"	"	B	24.2	1.5	C.H	"	"	20	40 m/m以下	砕 石 AS安定処理	粒 度 調 整 加 熱 混 合	15 6	25 m/m以下 AS=4 安定度 350
318	"	47.3	"	11.45	100	25635	25635	D	6.5	-	S.C	切 込 砕 石	粒 度 調 整	"	-	切 込 砕 石 砕 石	"	10 10	AS=4
319	"	46.8	"	8.5	380	推定 1324	推定 384	B	25	1	C.H	(60m/m以下) 砕 石	切 込 砕 石	40	-	砕 石 AS安定処理	粒 度 調 整 加 熱 混 合	10 6	AS=4%
320	山 口	46.4	"	6.5	200	8500	860	C	33.6	2	"	切 込 砕 石	-	20	-	AS安定処理	加 熱 混 合	10	"

No.	中 間 層 基 層				表 面 装 装				現 況								輪荷重	舗 装 合 計 厚	T.A
	材 ・ 料	工 法	厚 寸	備 考	材 料	工 法	厚 寸	備 考	ひびわれ率	シールコート率	ポットホールベンディング率	流 動 性	排水の良 否	たわみ係数 1/25mm	たわみ係数 1/25mm	たわみ係数 1/25mm			
301	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS = 5.3	修 正 ト ベ カ	加 熱 混 合	5	AS = 6.9	5 以下	5 以下	0 %	全くない	良	-	-	-	-	75	36.5
302	-	-	-	-	AS 混 合 物	密粒度アスコン	"	-	"	"	"	少 ない	"	48.1	1.33	4.5	61.0	21	
303	-	-	-	-	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	"	密粒度アスコン? 安定度 728.6 kg アスモレ 11.5~11.508	"	"	"	全くない	否	48.1.30	0.3	5.0	120	31	
304	AS安定基層 粗粒度 60~80	加 熱 混 合	5	AS = 4 AS = 5.5	密粒度 60~80	"	"	AS = 6	"	"	"	"	良	-	-	-	-	40	21.25
305	粗粒度 60~80	"	5	AS = 5.5	"	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	-	95	49
306	粗粒度アスコン	"	6	-	修 正 ト ベ カ	"	4	-	"	"	"	少 ない	"	-	-	-	-	120	40.2
307	粗 粒 度	"	5	基層 5.5%	"	"	"	7 %	"	"	"	全くない	"	-	-	-	-	60	30
308	" 80~100	"	"	AS = 5 安定度 860 kg/cm ²	密粒度 80~100	"	5	AS = 6.5 安定度 770 kg/cm ²	"	"	"	"	"	-	-	-	-	100	30.5
309	-	-	-	-	"	"	5	AS = 6.5	"	"	"	"	"	-	-	-	-	65	21.5
310	-	-	-	-	"	"	"	AS = 6.27	"	"	"	"	"	-	-	-	-	"	"
311	-	-	-	-	"	"	"	AS = 6.5	"	"	0~10	"	"	-	-	-	-	55	18.5
312	粗粒度 80~100	加 熱 混 合 式	5	AS = 5.0	"	"	"	"	"	"	0	"	"	-	-	-	-	58	25.15
313	"	"	"	AS = 5.5	"	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	-	65	30.75
314	-	-	-	-	"	"	"	AS = 6.4	"	"	"	"	"	-	-	-	-	40	15.25
315	-	-	-	-	"	"	"	AS = 6.5	"	"	"	"	"	-	-	-	-	75	21.75
316	粗 粒 度	"	5	AS = 5 針入度 80~100	修 正 ト ベ カ	"	4	AS = 6.5 針入度 80~100	"	"	"	"	"	-	-	-	-	65	25.3
317	"	"	"	AS = 5.5 針入度 80~100	"	"	"	AS = 6.0 針入度 80~100	"	"	"	"	"	-	-	-	-	50	24.0
318	"	"	"	AS = 5.3 針入度 80~100	密 粒 度	"	"	AS = 6.5 針入度 80~100	"	"	"	"	"	-	-	-	-	"	26.5
319	粗粒度アスコン	"	"	AS = 5%	修 正 ト ベ カ	"	"	AS = 6.5%	"	"	"	"	"	-	-	-	-	65	25.3
320	-	-	-	-	(60~100) 密粒度アスコン	"	5	AS 6 %	"	-	"	"	否	-	-	-	-	35	18

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
							合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
321	山口	47.4	2	9	1400		27360	6550	D	12.8	2.5	C.H	切込碎石	切込碎石	20	40mm以下	粒調碎石 AS 安定処理	粒度調整 加熱混合	15 13	- AS4%
322	"	46.4	4	19.5	200		21149	3360	D	22.55	2.14	"	"	-	"	-	"	"	15 8	- AS4%
323	"	45.12	2	(6.5) 5.5	100		推定 639	推定 63	A	5.3	1.0	G.S	クラッシャーコン	-	"	-	粒調材	粒度調整	10	-
324	"	45.11	"	(13.0) 6.5	"		推定 10200	推定 1330	C	6.1	0.8	SM(ケナシ)	"	-	25	-	"	"	10	-
325	"	46.3	"	(6.5) 5.5	"		推定 630	推定 100	A	-	1.5	G.W	"	-	16	-	"	"	"	-
326	"	44.3	"	(9.75) 6.5	"		推定 1080	推定 149	A	推定 50	0.9	C.L	"	-	10	-	クラッシャーコン・砂 粒調・材 養育安定処理	セメント安定処理 粒度調整 加熱混合	15 23 7	AS4.45%
327	"	45.8	"	(6.5) 5.5	"		推定 410	推定 86	A	7	2.2	SC(細砂)	"	-	16	-	粒調材	粒度調整	10	-
328	香川	44.9	4	22	82		推定 38500	-	-	-	0.5~1	-	遮断層：砂 万能鋼板	-	15 0.16	-	粒調碎石	"	35	-
329	"	"	"	"	378		"	-	-	"	"	-	遮断層：砂 コンクリート版	砂置換	15 20	-	"	"	20	-
330	徳島	47.9	6	30	733		15516	2075	D	30.4	0.2	M.H	(50~0) クラッシャーコン碎石	-	80	-	養育安定処理	加熱混合	10 12	AS4%(80~120)
331	"	46.3	2	6	240		1932	-	-	4.1	-	TISA 1203	万能鋼板 切込碎石(50~0)	クラッシャーコン	0.16 15	-	(40~0) 粒調碎石	粒度調整	10	-
332	愛媛	47.1	4	24	680		8440	833	C	35	2	-	(50~0) 切込碎石	"	10	-	切込碎石(40~0) AS 安定処理	加熱混合	10 12	-
333	"	47.10	"	24	464.02		"	"	C	35.6	2	-	(") 切込碎石	"	"	-	切込碎石(40~0) 碎石・砂	粒度調整 加熱混合	"	AS4%
334	"	45.10	"	10	1940		推定 435	推定 64	A	39.4	1	C.H	砂 粘性工・切込碎石	石灰安定処理	12 25	-	碎石	粒度調整	7	"
335	"	46.8	2	(8.0) 6.5	660		推定 2970	推定 555	B	27.7	-	M.L	砂交り砂利 切込碎石	-	40 40	-	"	"	15	-
336	"	44.7	"	(6.5) 5.5	433		推定 1948	推定 507	B	28.36	0.3	"	真砂土 切込碎石	-	20 40	-	"	"	"	-
337	"	44.9	"	(7.5) 6.0	910		推定 2970	推定 555	B	20.98	-	"	"	-	"	-	"	"	"	-
338	"	43.7	"	(8.5) 6.5	1460		"	"	B	29.41	-	"	切込碎石	-	53	-	碎石+真砂	浸透式	12	-
339	"	42.7	"	(8.5) 6.5	1060		"	"	B	22.1	-	"	砂交り砂利 切込碎石	-	15 45	遮断層	"	"	10	-
340	"	42.9	1	(5.5) 4.5	1220		推定 1895	推定 242	A	15.8	-	"	ソルトレキ交り砂	-	50	-	真砂	セメント安定処理	15	-

No.	中間層基準層				表層				現況								輸電 合計厚	TA
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率 %	シール コート率 %	ポットホール パッチング率 %	腐蝕 状況	排水の 良否	たわみ量 mm	たわみ量 mm	たわみ量 mm		
321	(60~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	AS5.5%	(60~100) 密粒度アスコン	加熱混合	5	AS6%	5以下	5以下	0	全くない	否	-	-	-	58 ^{cm}	30.65 ^{cm}
322	(") "	"	"	"	(") "	"	"	"	"	-	"	"	"	-	-	-	53	26.65
323	-	-	-	-	"	"	"	-	"	5以下	"	"	良	48.1	0.46	5	35	13.5
324	(60~80) 粗粒度アスコン	加熱混合	10	AS5.4%	(60~80) "	"	"	AS6.3%	"	"	"	"	"	"	0.51	"	50	24.75
325	-	-	-	-	(") "	"	"	"	"	"	"	"	"	"	0.43	"	31	12.5
326	-	-	-	-	(") "	"	"	"	"	"	"	"	"	"	0.33	規定6.3) 5(修正)	60	29.4
327	-	-	-	-	(") "	"	"	AS6.4%	"	"	"	"	"	"	0.82	5	31	12.5
328	標準安定処理 粗粒度アスコン	加熱混合	20 5	AS4%(80~100) AS55%(")	(80~100) "	"	"	AS6.5%	"	"	"	"	"	-	-	-	80	53.6
329	"	"	"	" (") " (")	(") "	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	85	53
330	電粒度アスコン	"	5	AS5.3%(80~100)	(80~120) "	"	"	AS6.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	112	44
331	(80~120) 粗粒度砕石アスコン	加熱混合	"	AS5.3%	密粒度砕石アスコン	"	"	AS6.3%	20~50	-	0	少ない	否	47.8	1.7	5	35	27.3
332	(80~100) 粗粒度アスコン	"	"	AS5.5%	"	"	"	AS6.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	42	25.6
333	(") "	"	"	AS5.4%	"	"	"	AS6.4%	-	5以下	-	-	-	-	-	-	"	"
334	-	-	-	-	"	"	4	AS6.5%	5以下	"	0	全くない	否	48.1	3.4	4.3	48	17.6
335	(80~100) 粗粒度アスコン	加熱混合	5	AS5.15%	(80~100) 密粒度アスコン	"	5	AS6.55%	"	"	0~10	"	"	"	0.57	5.4	105	35.25
336	(") "	"	"	AS5.4%	(") "	"	"	AS6.8%	5~20	"	"	多	い	"	1.06	"	85	29.25
337	(") "	"	"	AS4.84%	(") "	"	"	AS6.83%	5以下	"	"	全くない	"	"	0.51	"	"	"
338	(") "	"	"	AS5.18%	(") "	"	"	AS6.57%	"	"	"	"	"	"	0.52	"	75	29.85
339	(") "	"	"	AS5.3%	(") "	"	"	AS6.4%	"	20~50	"	"	"	"	0.80	"	80	29.50
340	-	-	-	-	(") "	"	"	AS6.83%	5~20	5~20	"	少ない	良	"	1.47	"	70	22.7

No.	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量		路床土			F 層				上 層				
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
341	高 矩	45.11	2	5.5	290	推定 8840	推定 1580	C	-	2以下	G.C	路床：砂 切込砂利	粒度調整	45	遮断層	砕 石	粒度調整	15	AS4%
342	"	47.3	"	"	280	858	147	B	25.8	2	C.L	(50~0) 切込砕石	-	45	-	(30~0) 粒調砕石	"	"	-
343	"	46.1	"	7	220	推定 1270	推定	A	-	"	S.C	"	-	"	-	砕 石	"	"	-
344	"	46.6	"	5.5	27.5	推定 330	推定	A	105	0.4	O.H	(50~0) "	-	70	-	(30~0) 粒調砕石	"	"	-
345	"	46.3	"	"	220	6487	294	B	12.83	2	S.M	砂	-	15	-	"	"	55	-
346	"	47.8	4	14	3318	-	-	-	-	1	C.L	切込砕石	マカダム	50 91	-	"	"	25	-
347	"	47.3	"	12	1390	3730	440	B	26	-	C.H	遮断層：砂 路盤砕石	砂置換 砕石置換	10 40	-	"	"	13	-
348	"	44.3	2	6	930.5	"	"	B	21.4	1.1	"	遮断層：砂 万能鋼板	砂置換	10 0.16	-	"	"	15	-
349	"	44.1	2	7	14	推定 1926	331	B	100	0	推定 O.H	クラッシャー砕石	-	20	-	-	-	-	-
350	"	45.11~3	4	36	196	31100	2671	D	27.7	2	-	切込砕石(50~0)	クラッシャー	60	-	粒調砕石 AS安定処理	粒度調整 加熱混合	10 15	AS3.5% (80~120)
351	福岡	45.12	"	20	264	17110	2280	D	46	2.5	C.H	混合鉱滓(50mm以下)	粒度調整	35	-	混合鉱滓(25mm以下) 悪質安定処理 (開粒度)	粒度調整 加熱混合	15 10	-
352	"	44.2	"	"	390	"	"	C	30	"	"	(50mm以下) クラッシャー	"	"	-	" (") (")	"	20 10	AS4%
353	"	46.3	"	"	520	"	"	D	36	0.5	C.H	(50mm以下) 混合砕石	"	25	-	(25mm以下) 混合鉱滓	粒度調整	25	-
354	"	"	"	20	1600	12130	2560	D	39	0.4	"	(") "	"	"	-	(") "	"	"	-
355	"	46.11	2	8.5	384	8520	2150	D	55	"	C.L	(40mm以下) クラッシャー	"	35	-	(") "	"	15	-
356	"	48.1	"	8	360	"	"	D	45	0.5	"	(50mm以下) 混合鉱滓	"	25	-	(") "	"	25	-
357	"	45.2	"	(7.5) 6	260	150	150	A	35.7	1.77	O.L	粒調砕石	"	11	-	粒調スラグ	"	9	-
358	"	46.10	"	(.5) 5.5	300	2694	260	B	35.4	1.8	O.H	マナ土 Fe 石 灰	Fe石灰処理(中央混合)	10	-	"	"	10	-
359	"	46.3	"	(") "	447	756	54	A	45.05	1.68	C.L	粒調砕石	粒度調整	"	-	"	"	8	-
360	"	"	"	7.54	220	10674	1037	C	27.9	2	"	-	-	-	-	"	"	40	-

No.	中間層				表層				現況										舗装 合計厚	TA			
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	ジー ル率	ポットホール 発生率	泥 動	排水の 良 否	たわみ量		測定年月	たわみ量	mm			mm	mm	mm
														mm	mm								
341	-	-	-	-	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS 6 %	5 ~20	5~20	0~20	少 ない	良	-	-	-	-	65	21				
342	-	-	-	-	"	"	"	"	5 以下	5 以下	"	全くない	"	-	-	-	-	62	"				
343	-	-	-	-	(80~100) 密粒度砂利アスコン	"	"	AS 6.2%	5~20	"	0	少 ない	"	48.1	0.80	5	65	20.5					
344	-	-	-	-	密粒度アスコン	"	"	AS 6 %	5 以下	"	"	全くない	"	-	-	-	(90) 30	(27.75) 12.8					
345	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	6	-	"	"	4	-	"	"	"	"	"	-	-	-	65	29.25					
346	ソイルアスコン 粗粒度アスコン	- 加 熱 混 合	7 5	-	"	"	5	-	"	"	"	"	"	-	-	-	183	47.1					
3 7	悪劣安定処理 粗粒度アスコン	} "	7 5	AS 4% (80~100) AS 5% (")	(80~100) "	"	"	AS 6.3%	"	"	"	"	"	-	-	-	70	30					
348	"	} "	10 5	AS 4% (") AS 5.5% (")	(") "	"	"	AS 6 %	5~20	"	"	少 ない	"	-	-	-	35	35					
349	-	-	-	-	"	-	23	-	5 以下	-	0	-	-	-	-	-	43	-					
350	(80~120) "	加 熱 混 合	5	AS 5 %	(80~120) 密 粒 ア ス コ ン	加 熱 混 合	5	AS 6 %	"	5 以下	"	全くない	良	-	-	-	95	40.5					
351	(80~100) "	"	10	-	(") "	"	"	-	"	-	"	少 ない	"	-	-	-	75	42					
352	(") "	"	"	-	(80~100) 密粒度アスコン	"	"	-	"	5 以下	"	"	"	-	-	-	80	"					
353	(80~100) 粗粒度アスコン	" "	15	-	(") "	"	"	-	"	-	"	"	"	-	-	-	75	36					
354	(") "	"	"	-	(") "	"	"	-	"	-	20以上	"	"	-	-	-	70	42					
355	(") "	"	10	-	(") "	"	"	-	5~20	-	"	全くない	否	-	1.74	5	65	31					
356	(") "	"	15	-	"	"	"	-	"	-	0	"	良	47.5	1.31	"	70	42					
357	密粒度アスコン	"	5	AS 6.1 %	"	"	"	-	5 以下	5 以下	"	"	否	48.1	0.6	"	30	18.8					
358	粗粒度アスコン	"	"	AS 5.3 %	"	"	"	AS 6.2 %	"	"	"	"	"	"	0.1	"	27	20					
359	-	-	-	-	"	"	"	AS 5.9 %	"	"	"	"	良	"	1.5	"	23	12.9					
360	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	10	AS 5.3 %	"	"	"	AS 6 %	"	"	"	"	"	"	0.2	"	55	37					

No.	施工場所	施工年度	車線	市 員	延長	現在の交通量			路 床 土			F 所 路 盤				上 層 路 盤			
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	設 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
361	福岡	45.2	4	10	1363	6680	942	C	39.1	2	CL	クラッシャー砕石	-	32	-	粒間スラグ	粒度調整	20	-
362	"	"	2	5.5	338	893	58	A	51.5	0.49	ML	粒間砕石	粒度調整	4	-	"	"	15	-
363	"	44.2	"	"	230	"	"	A	25.7	1.4	CL	クラッシャー砕石	-	29	-	"	"	16	-
364	"	46.1	"	"	300	1110	307	B	27.2	2.0	CH	"	-	28	-	"	"	22	-
365	"	44.9	"	(6.5) 5.5	200	1258	215	B	31.3	2.0	OL	"	-	31	-	"	"	15	-
366	"	45.12	"	(")	250	811	131	A	32.9	1.0	CL	"	-	10	-	"	"	10	-
367	"	46.12	"	(")	626	4906	789	C	14.8	0.4	CH	"	-	11	-	"	"	9	-
368	佐賀	46.10	4	16	100	推定 5000	推定 1500	C	12.3	1.7	SC	(50mm以下) 切込砕石	水沢マカダム	35	-	粒間砕石(40mm以下) AS 安定処理	水沢マカダム 加熱混合	15 15	- AS 4.3%
369	"	47.7	2	10	"	"	"	C	12	0.5	"	(")	"	30	-	"	"	"	AS 4.1%
370	長崎	47.3	6	20	(460) 870	16137	1937	D	28.6	1.6	SM	"	-	40	-	鉱 滓	粒度調整	30	-
371	"	46.3	"	"	(440) 880	"	"	C	34.9	1.7	"	"	-	"	-	"	"	"	-
372	"	41.3	4	13	474	(46) 15200	(46) 2284	C	-	2	-	山 砂 利 切込砕石(50mm以下)	粒度調整	15 30 15	-	(25mm以下)	"	10	-
373	"	45.12	"	17	85	(46) 6944	4230	C	30.4	"	SC	(50mm以下) 切込砕石	"	30	-	(") 鉱 "	"	30	-
374	"	47.3	"	12	423	推定 1400	推定 170	B	-	0.2~1.0	GW	切込砕石	クラッシャーコン	15	-	鉱 滓	"	15	-
375	大分	46.6	6	30	360	9550	4230	D	45	1	CL	クラッシャーコン (50mm以下)	マカダム	35	-	混合鉱滓(4%)	"	25	-
376	"	47.9	2	5.6	770	12340	2300	D	平均 28.5	0.5	-	路床安定処理: Fe石灰 切込砕石	-	25 35	-	"	-	"	-
377	"	45.2	"	6.5	85	推定 2661	推定 506	B	推定 13	4	OL	砕 石	マカダム	32	-	ス ラ グ	粒度調整	10	-
378	"	47.3	"	(6) 8	250	1061	163	B	18.3	0.5	SF	切込砕石	-	16	-	"	"	"	-
379	"	45.2	"	6.5	111	推定 2661	推定 506	B	推 13	4	OL	砕 石	マカダム	32	-	"	"	"	-
380	"	45.11	"	6.2	177	推定 259	推定 137	A	31.5	2	ML	砕 石	"	29	-	砕 石	マカダム	25	-

No.	中間層 基層				表 層				現 況							輸電 合計厚	T A	
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シー ル コート率	ポットホール パッチング率	泥 動	排水の 良 否	たわみ量 測定年月 たわみ量				
361	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	A S 4.8 %	(80~100) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	A S 6 %	5以下	5以下	0	少 ない	良	48.2	0.8	5	62	29
362	-	-	-	-	"	"	"	A S 5.8 %	"	"	"	全くない	否	"	"	"	24	14.75
363	-	-	-	-	"	"	"	A S 6.3 %	"	"	"	"	"	"	1.4	"	50	21.05
364	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	A S 4.95 %	"	"	"	"	"	"	"	少 ない	良	"	0.2	"	-	-
365	-	-	-	-	"	"	"	A S 5.9 %	"	"	"	全くない	"	48.1	0.7	"	51	21
366	-	-	-	-	"	"	"	A S 5.8 %	"	"	"	"	否	"	0.98	"	25	13
367	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	A S 5.2 %	"	"	"	A S 5.9 %	"	"	"	"	"	48.2	1.3	"	30	17.7
368	(60~80) "	"	"	"	(60~80) "	"	"	A S 5.7 %	"	"	"	"	良	-	-	-	75	36
369	(") "	"	"	"	(") "	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	"	"
370	(") "	"	20	-	(") "	"	"	-	"	"	"	"	"	48.1	0.23	5	95	51.5
371	(") "	"	"	-	(") "	"	"	-	"	"	"	"	"	"	0.24	"	"	"
372	(") "	"	10	A S 6 %	(") "	"	"	A S 6.5 %	"	"	"	少 ない	"	"	0.136	"	-	-
373	(80~100) "	"	"	A S 5.7 %	(80~100) "	"	"	A S 6.2 %	"	"	"	全くない	"	"	0.15	"	75	3.9
374	"	"	5	A S 5.8 %	"	"	"	A S 6.3 %	"	"	"	少 ない	"	-	-	-	40	22
375	(80~100) アスファルト	-	15	A S 5.15 %	(80~100) アスファルト	-	"	A S 6.1 %	"	"	"	全くない	"	-	-	-	80	42.5
376	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	15	-	-	-	-	-	"	"	"	"	"	-	-	-	"	"
377	"	"	5	A S 5.1 %	密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	A S 6.2 %	"	"	"	"	"	48.1	0.4	5	52	23.5
378	-	-	-	-	"	"	"	A S 6 %	"	"	"	"	"	-	-	-	31	14.5
379	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	A S 5.1 %	"	"	"	A S 6.2 %	"	"	"	"	"	-	0.35	-	52	23.5
380	-	-	-	-	"	"	"	A S 6.5 %	"	"	"	"	否	48.1	1.3	5	59	21

No	施工場所	施工年度	車線	巾	延長	現在の交通量		路床土				F 層 路 盤				上 層 路 盤			
						合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	改 計 C B R	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
381	大 分	48. 3	2	8	500	0	0	A	平均 37	1.1~0.8	砂質ローム	粒コンクリート クラッシャーラン	-	15 30	-	粒 調 砕 石	-	20	-
382	"	45. 8	"	6	2907.5	推定 267	推定 68	A	56.3	1.2	推定 Pt	山砂利(灰土)	マ カ ダ ム	28	-	山砂利(灰土)	セメント安定処理	20	-
383	"	45. 4	"	6.2	2750	"	"	A	46.1	1.5	"	" (")	"	20	-	" (")	"	"	-
384	熊 本	46.10	"	7.5	500	715	283	B	43.7	2.0		(50mm以下) クラッシャーラン	水結マカダム	35	-	(40mm以下) 粒 調 砕 石	粒 度 調 整	15	-
385	"	47.10	"	6.5	1050	1058	151	B	24.5	1.9	GM	(50mm以下) 切 込 砕 石	-	22	-	砕石(40mm以下)	"	10	-
386	"	46. 9	"	6	1000	6023	770	C	74	0.9	OH	(") "	-	20	-	" (")	"	20	-
387	宮 崎	45. 9	"	9	714	推定 2764	推定 432	B	35	0	-	砕 石	マ カ ダ ム	15	-	砕 石	"	15	-
388	"	47.11	"	6	2600	推定 1882	推定 71	A	54.4	0.7	SC	切 込 砕 石 コンクリート 切 込	- - -	20 20 10	-	粒 調 砕 石	粒 度 調 整	"	-
389	"	47. 9	"	5.5	387	推定 424	推定 17	A	31.1	1.5	"	切 込 砕 石	-	10	-	"	"	"	-
390	"	47. 7	"	"	524.85	推定 846	推定 80	A	94.4	"	"	切 込 砕 石 切 込 砕	- -	20 35	-	"	"	"	-
391	"	46.11	"	6	740	推定 1909	推定 245	B	41.7	1.1	"	切 込 砕 石	-	20	-	標準安定処理	加 熱 混 合	10	AS3.8%
392	鹿 児 島	44. 8	"	12	440	1914	336	B	18.6	1.18	(SM) S	(50mm以下) クラッシャーラン	マ カ ダ ム	25	-	(40mm以下) 粒 調 砕 石	マ カ ダ ム	"	-
393	"	46. 9	4	25	772.7	14317	1077	C	23.2	0~1.0	CL, SM	(") "	マカダム・タイヤ	35	-	(") "	マカダム・タイヤ	15	-
394	"	46.12	2	14	610	4787	659	C	19.2	1.2	(SM) S	(") "	-	15	-	(") "	-	"	-
395	"	46.10	"	6.5	100	1530	161	A	66.4	-	OH	切 込 砕 石	-	16	-	"	粒 度 調 整	10	-
396	"	47. 2	"	"	140	606	71	A	72	-	CL	"	-	"	-	"	"	"	-
397	"	44. 2	"	5.5	100	4003	1081	C	36.3	-	SC	レ ク ス 切 込 砕 石	レ ク ス 路 盤	20 10	-	粒 調 砕 石 ストリートアスファルト	粒 度 調 整 安 定 処 理	10 12	-
398	"	45.10	"	6.5	"	2329	237	B	54.2	1.0	CL	切 込 砕 石	-	15	-	粒 調 砕 石	粒 度 調 整	10	-
399	"	46.12	"	6.0	300	689	215	B	68.7	0.87	MH	" レ ク ス	- レ ク ス 路 盤	10 10	-	"	"	"	-
400	"	46.10	"	"	"	549	312	B	59.7	0.5	"	切 込 砕 石	-	16	-	"	"	"	-

No	中 間 層 基 層				表 層				現 況								輸 送 電 気 計 画 厚	T A
	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考	ひ び 割 れ 率	シ ー ル コ ー ト 率	ポ ー ト ホ ー ル パ ー テ ン テ ン 率	洗 動	排 水 の 良 否	た わ み 量				
														測 定 年 月	た わ み 量		cm	cm
381	粗粒度アスコン	-	5	-	密粒度アスコン	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	39.5
382	-	-	-	-	砕 石	加 熱 混 合	"	AS6.25%	5 以下	5 以下	0	全くない	良	48.1	1.1	5	63	25
383	-	-	-	-	"	"	"	AS6.3%	"	"	"	"	"	"	1.2	"	61	21
384	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5.1%	(80~100) 密粒度アスコン	"	"	AS5.9%	"	"	"	"	"	-	-	-	60	31
385		"	"	-	"	"	"	-	-	-	"	少 ない	"	-	-	-	42	19
386		"	"	-	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	22
387		標準安定処理	10	AS3.7%	"	-	"	AS6.1%	5 以下	5 以下	0	全くない	良	-	-	-	45	"
388	(80~100) "	加 熱 混 合	5	AS5.5%	(80~100) "	加 熱 混 合	"	AS .2%	"	"	"	"	"	48.2	0.11	5	75	-
389	-	-	-	-	(") "	"	"	AS6.3%	"	"	"	"	"	-	-	-	30	12.75
390	-	-	-	-	"	"	"	AS6.1%	"	"	"	"	"	-	-	-	75	22.75
391	-	-	-	-	"	"	"	"	"	"	"	"	"	-	-	-	35	18
392	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS4.6%	"	"	"	AS5.7%	"	"	0~10	少 ない	"	-	-	-	45	19.75
393	"	"	10	AS5.3%	"	"	"	AS6.1%	"	"	"	全くない	"	-	-	-	65	29
394	"	"	"	AS4.5%	"	"	"	AS5.5%	"	"	0	"	"	-	-	-	45	24
395	"	"	5	AS5.5%	"	"	"	AS6.5%	"	"	"	"	"	-	-	-	36	17.5
396	-	-	-	-	"	"	"	AS6.6%	-	-	"	"	"	-	-	-	31	12.5
397	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5.5%	密粒度アスコン	"	"	AS6%	5 以下	5 以下	0	"	"	-	-	-	62	29.6
398	"	"	"	-	"	"	"	-	"	"	"	"	"	-	-	-	35	21.25
399	(80~100) "	"	"	AS5.5%	(80~100) "	"	"	AS6.5%	"	"	"	"	"	-	-	-	40	18
400	-	-	-	-	(") "	"	"	"	"	"	"	少 ない	"	-	-	-	31	12.5

No	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量			路床土			下層路盤				上層路盤			
							合計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自然 含水比	設計 CBR	記号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
401	鹿児島	47.9	2	6.5	100	1286	224	B	59.5	1.5	CH	切込砕石	-	"	-	粒調砕石	粒度調整	10	-	
402	"	46.3	"	6	140	1167	152	A	60.11	2.0	"	レラス 切込砕石	レラス路盤 -	45 15	-	"	"	"	-	
403	"	45.11	"	"	150	1512	158	A	79.22	-	"	"	"	10 10	-	"	"	"	-	
404	"	44.2	"	6.5	100	1618	254	B	60.8	1.0	"	"	置換・除去 機械転圧	45 20	-	既作安定処理	加熱混合	"	AS4%	
405	"	45.11	"	"	240	1935	343	B	49.4	-	"	切込砕石	-	20	-	粒調砕石	粒度調整	"	-	
406	"	46.2	"	5.5	200	1626	166	A	82.0	10.0	"	レラス 切込砕石	レラス路盤 -	10 10	-	"	"	"	-	
407	"	45.12	"	6.5	300	452	124	A	49.0	0.81	"	切込砕石	-	16	-	"	"	"	-	
408	"	46.10	"	6	200	1042	233	B	39.42	1.04	"	"	-	"	-	"	"	"	-	
409	"	45.2	"	"	"	720	143	A	22.48	2	CL	"	-	50	-	"	"	15	-	
410	"	46.1	"	"	"	"	"	A	23.52	"	"	"	-	"	-	"	"	"	-	
411	徳島	45.2	"	5.5	300	(46) 801	(46) 160	A	-	"	-	クラッシャー	-	30	-	スラッグ AS安定処理(80~100)	粒度調整 加熱混合	15 10	AS4%	
412	"	46.1	"	"	"	(46) 1552	(46) 171	A	-	-	-	"	-	25	-	" (")	"	8 6	"	
413	"	44.2	"	6	"	(46) 1282	(46) 96	A	-	2	-	"	-	30	-	" (")	"	20 12	"	
414	"	45.11	"	6.5	"	5003	467	B	-	"	-	"	-	35	-	" (")	"	18 7	"	
415	"	43.12	"	"	"	(46) 1966	(46) 382	B	-	1.8	-	砂利交り砂 "	砂利交り砂 セメント安定処理	40 15	-	スラッグ	粒度調整	15	-	
416	"	44.2	"	5.5	"	(46) 622	(46) 46	A	-	1.2	-	クラッシャー	-	45	-	"	"	20	-	
417	"	47.1	"	6.5	"	4314	940	C	-	2.8	-	"	-	44	-	スラッグ AS安定処理(80~100)	粒度調整 加熱混合	15 6	AS4%	
418	"	46.1	"	5.5	"	1482	78	A	-	2	-	"	-	30	-	スラッグ	粒度調整	15	-	
419	佐賀	45.12	"	5.5	612	推定 610	推定 60	A	17.42	1.5	CH	"	-	30	-	クラッシャー + 砕石ダスト	"	25	-	
420	"	46.10	"	"	232	"	"	A	23.1	1.6	"	"	-	10	-	山砂+セメント クラッシャー+砕石ダスト	セメント安定処理 粒度調整	15 15	-	

No	中 間 層 基 層				表 層				現 況								輸 電 合 計 厚	T A
	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考	ひび われ率	シール コート率	ポットホール パンチング率	流 動	排水の 良 否	たわみ量				
														規定値	月	たわみ値		
401	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5.8%	(89)	加 熱 混 合	5	AS6.6%	5以下%	5以下%	0%	全くない	良	-	-	-	36	17.5
402	-	-	-	-	(80~100)	"	"	-	"	"	"	少 ない	"	-	-	-	75	21.25
403	-	-	-	-	(")	"	"	-	"	"	"	全くない	"	-	-	-	35	13
404	-	-	-	-	(89)	"	"	AS6%	"	"	"	"	"	-	-	-	35	18
405	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5.8%	(80~100)	"	"	AS6.4%	"	"	0~10	少 ない	-	-	-	-	40	18.5
406	-	-	-	-	"	"	"	-	"	"	0	"	良	-	-	-	35	13
407	-	-	-	-	"	"	"	AS6.25%	"	"	0~10	全くない	"	-	-	-	31	12.5
408	-	-	-	-	"	"	"	-	"	"	0	"	"	-	-	-	"	"
409	-	-	-	-	"	"	"	-	"	"	"	"	"	-	-	-	70	21
410	-	-	-	-	"	"	"	-	"	"	"	"	"	-	-	-	"	"
411	-	-	-	-	(80~100)	"	"	AS6.3%	"	"	0~10	少 ない	"	-	-	-	60	29
412	-	-	-	-	(")	"	"	"	5~20	"	"	"	"	-	-	-	44	20.4
413	-	-	-	-	(")	"	"	"	5以下	"	"	"	"	-	-	-	67	29.1
414	-	-	-	-	(")	"	"	"	"	"	0	全くない	"	-	-	-	65	29.2
415	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5.2%	(")	"	"	"	"	"	"	少 ない	"	-	-	-	80	36.5
416	-	-	-	-	(")	"	"	"	5~20	"	0~10	"	"	-	-	-	70	27.2
417	-	-	-	-	(")	"	"	"	5以下	5~20	0	全くない	"	-	-	-	"	29
418	-	-	-	-	(")	"	"	"	"	5以下	"	少 ない	"	-	-	-	50	21
419	-	-	-	-	密粒度アスコン	"	"	-	"	"	0	全くない	"	48.1	0.95	5	60	21.25
420	-	-	-	-	(60~80)	"	"	-	"	"	"	"	"	"	1.07	"	45	21

No	施工場所	施工年度	車線	巾	員	延長	現在の交通量		路床土				下 層 路 盤				上 層 路 盤			
							合 計 交通量	大型車 交通量	交通 区分	自 然 含水比	計 算 CBR	記 号	材 料	工 法	厚さ	備 考	材 料	工 法	厚さ	備 考
421	佐 賀	44.11	2	5.5	320		推定	推定	A	34.4	1.4	CH	クラッシュラン	-	10	-	山砂+セメント クラッシュラン+砕石ダスト	セメント安定処理 粒 度 調 整	15	-
422	"	43.9	"	5.5	127		"	"	A	33.1	0.8	"	"	-	20	-	"	"	15	-
423	"	45.12	"	6.5	150		1942	304	B	40.6	1.5	"	クラッシュラン 山砂+セメント 砕 石	砕 石 土 イ ル セ メ ン ト 粒 度 調 整	10 15 15	-	クラッシュラン+砂 +石粉アスファルト	AS 安定処理	10	AS4.2%
424	"	45.1	"	"	"		"	"	B	38.7	"	OH	クラッシュラン 土+セメント 砕 石	砕 セ メ ン ト 安 定 処 理 粒 度 調 整	10 15 15	-	"	加熱AS安定処理	"	"
425	"	"	"	"	"		960	150	A	34.7	1.9	MH	クラッシュラン	-	10	-	山砂+セメント 砕石+砕石スクリーニングス	セメント安定処理 粒 度 調 整	15 15	-
426	"	44.1	"	"	"		"	"	A	35.1	1.31	"	"	"	"	-	"	"	"	-
427	"	"	"	"	"		5590	951	C	31.5	0.6	CH	通断層：砂 クラッシュラン	-	20 22	-	クラッシュラン+砕石ダスト	"	20 10	-
428	"	43.1	"	"	"		"	"	B	34.7	0.8	"	砂 クラッシュラン	-	20 25	-	"	"	20 20	-
429	"	44.2	"	"	"		775	135	A	45	"	OH	"	-	20 10	-	"	"	15 15	-
430	"	45.10	"	"	"		"	"	A	42.5	1.7	CH	クラッシュラン	-	15	-	"	"	"	-
431	"	43.11	"	"	137		"	"	A	46.7	2.2	"	砂 切込砕石	-	20 20	-	"	"	15 10	-
432	愛 知	47.12	"	6.0	100		4592	894	C	11.1	2.0	CL	(50~60) 鉱 部 バ ラ ス	-	50	-	(80~100) AS 安定処理	加 熱 混 合	12	AS4%
433	"	"	"	5.5	"		1557	161	B	20.6	2.0	SC	(50~60) 切込砕石	-	42	-	(") "	"	7	"
434	"	47.3	"	6.5	"		19002	2588	D	-	2.0	OL	(") "	-	12	-	(") "	"	14	"
435	"	47.6	"	5.5	"		6538	889	C	30.25	1.4	"	(") "	-	16	-	(") "	"	10	"
436	"	46.12	"	6.0	"		881	178	B	17.21	1.6	"	(") "	-	"	-	(") "	"	7	"
437	"	47.12	"	"	"		3308	294	B	23	1.7	CH	(") "	-	15	-	"	"	"	"
438	"	"	"	"	"		2388	221	B	14.79	2.3	OL	(") "	-	20	-	"	"	10	"
439	"	47.8	"	"	"		2452	174	B	28.9	1.2	ML	(") "	-	30	-	"	"	"	"
440	"	46.12	"	"	"		1489	205	B	49.1	0	CL	(") "	-	14	-	"	"	5	"

No.	中 間 層 基 層				表 面 層				現 況							輪 荷 重	舗 装 合 計 厚	T.A
	材 料	工 法	厚 さ	備 考	材 料	工 法	厚 さ	備 考	ひび われ率	シール コート率	ポットホール パッチング率	泥 動	排水の 良 否	たわみ量				
														測定年月	たわみ量 mm			
421	-	-	-	-	(60~80) 密粒度アスコン	加 熱 混 合	5	-	5以下 %	5以下 %	0 %	全くない	良	48.1	0.82	5	45	21
422	-	-	-	-	(") "	"	"	-	"	"	"	"	-	"	0.7	"	50	21.75
423	(80~120) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5%	(80~120) "	"	"	AS5.6%	"	"	"	少 ない	良	"	0.82	"	60	31.5
424	(") "	"	"	"	(") "	"	"	AS5.8%	"	"	"	"	"	"	0.93	"	"	"
425	-	-	-	-	"	"	"	AS6%	"	"	"	全くない	"	"	1.69	"	45	21
426	-	-	-	-	"	"	"	AS5.8%	"	"	"	"	"	"	1.79	"	"	"
427	(60~80) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	15	-	(60~80) "	"	"	-	"	"	"	"	"	"	0.51	"	72	40
428	(") "	"	5	-	(") "	"	"	-	"	"	0~10	少なそ	否	"	0.52	"	75	34.25
429	-	-	-	-	"	"	"	AS6%	"	"	0	全くない	良	"	2.62	"	45	21
430	-	-	-	-	"	"	"	AS5.8%	"	"	"	"	"	"	1.59	"	50	22.25
431	-	-	-	-	"	"	"	AS6.5%	"	"	"	"	"	"	1.75	"	50	21.75
432	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5%	(80~100) "	"	"	AS5.7%	"	"	"	"	"	"	0.66	"	72	39.6
433	-	-	-	-	(") "	"	"	AS5.9%	"	"	"	"	"	"	0.54	"	54	21.1
434	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS5%	(") "	"	"	AS6%	"	"	"	"	"	"	0.30	"	36	24.2
435	(") "	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	0.40	"	"	22
436	-	-	-	-	"	"	"	AS5.8%	"	"	"	"	"	"	0.46	"	28	14.6
437	粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS4.8%	"	"	"	AS5.9%	"	"	"	"	"	"	0.26	"	30	17.75
438	-	-	-	-	"	"	"	AS5.8%	"	"	"	"	"	"	0.38	-	35	18
439	(80~100) 粗粒度アスコン	加 熱 混 合	5	AS4.7%	(80~100) "	"	"	AS5.7%	"	"	"	"	"	"	0.19	5	50	25.5
440	"	"	"	AS5%	"	"	"	AS6%	"	"	"	"	"	"	0.604	"	29	17.5

[illegible]